

廃棄物統計の精度向上及び迅速化のための  
検討調査報告書

平成 26 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部



# 目次

1 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 検討内容と検討成果	2
1.3 循環利用量調査改善検討会での検討経過	4
2 迅速化対応	7
2.1 廃棄物等循環利用量と物質フローとの関連性	7
2.2 廃棄物等循環利用量の算出フロー	8
2.3 循環利用量の算出に必要となる統計資料	8
2.4 循環利用量の算出スケジュール	11
2.5 平成 23 年度確定値の算出	13
2.6 平成 24 年度速報値算出時に推計を行った品目(廃棄物等の「等」のアルミ缶)	24
3 精度向上対応	34
3.1 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成 23 年度確定値の算出方法	34
3.2 平成 23 年度確定値における廃棄物等の「等」の発生量算出時に行う一般廃棄物(災害廃棄物)の重複排除について	52
3.3 一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について	62
3.4 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成 19 年度値・平成 20 年度値・平成 21 年度値・平成 22 年度値及び平成 23 年度値の比較結果	72
4 インベントリ対応	75
4.1 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成 23 年度確定値の取りまとめ内容	75
4.2 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成 24 年度速報値の算出方法及び算出結果	83
4.3 わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の量の平成 23 年度確定値、温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成 23 年度確定値及び平成 24 年度速報値の算出結果	98
4.4 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正について	103
4.5 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等について	114
5 参考資料	117
5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について	117
5.2 平成 24 年度速報値(廃棄物等の「等」のアルミ缶)の算出手法と算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定手順	118



# 1 調査の概要

## 1.1 調査の目的

廃棄物等<sup>1</sup>循環利用量実態調査は、循環基本計画の目標値の設定、進捗状況の点検及び京都議定書に定められた温室効果ガス排出量削減目標の達成度を評価するためのわが国の温室効果ガス排出量・吸収量（以下、インベントリと称す）算定に活用されている。

現行の廃棄物等循環利用量実態調査及び関連する廃棄物統計調査には、全国値として公表されるまでに2年を要していること、循環利用量の算定に用いる産業廃棄物統計値と産業界等による調査結果との間に乖離が見られること、インベントリの更新に必要なデータの精度向上、などの課題がある。

これらの課題の改善に向け、平成20年度以降5年間、循環利用量調査改善検討会を設置し、検討を行ってきた。本年度はこれまでの検討結果を踏まえつつ、次の事項について検討を行った。

### （迅速化対応）

- ・平成23年度確定値（災害廃棄物を含む）の算出方法及び算出結果について
- ・平成24年度速報値（災害廃棄物を含む）の算出方法及び算出結果について
- ・平成24年度速報値算出時に推計を行った品目（廃棄物等の「等」のアルミ缶）の算出結果について

### （精度向上対応）

- ・廃棄物分野における温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供した平成23年度速報値（災害廃棄物を含む）と平成23年度確定値（災害廃棄物を含む）の比較について
- ・一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について
- ・環境省統計、経済産業省統計、経団連統計等関連統計における産業廃棄物の最終処分量の比較について

### （インベントリ対応）

- ・温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する取りまとめ内容について
- ・温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成23年度確定値及び平成24年度速報値の算出方法及び算出結果について
- ・動植物性残さのうち、コンポスト化に向かう量の算出方法について
- ・副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等について

---

<sup>1</sup>廃棄物等循環利用量実態調査における『廃棄物』、『等』、『廃棄物等』の定義については、p. 117 「5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について」を参照

## 1.2 検討内容と検討成果

次の具体的事項について検討を行い、以下の成果を得た。

### (1) 迅速化対応

#### 【検討の内容】

- ・廃棄物等の「等」の推計方法に関する経済活動指標と発生量の関係について検討した。

#### 【得られた成果】

- ・平成23年度の循環利用量（確定値）を算出した。
- ・平成24年度の循環利用量（速報値）を算出した。
- ・廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値の推計に関し、推計に用いるアルミ缶材出荷量及び使用済み飲料缶（UBC）価格の関係について確認し、アルミ缶の平成24年度速報値を算出した。

### (2) 精度向上対応

#### 【検討の内容】

- ・一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出方法の見直しについて検討した。
- ・平成23年度確定値における廃棄物等の「等」の発生量算出時に行う一般廃棄物（災害廃棄物）と循環利用量の算出に用いる統計資料との重複排除の方法について検討した。
- ・循環利用量調査で推計しているペットボトルの焼却処理量等の量とPETボトルリサイクル推進協議会推計値について比較した。
- ・環境省統計と経団連統計等関連統計を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値、平成23年度値について比較した。

#### 【得られた成果】

- ・一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値を算出するにあたり、収集区分別内訳比率の適用方法及び品目別内訳比率の設定を見直した。
- ・廃棄物等の「等」の発生量算出時に行う一般廃棄物（災害廃棄物）と循環利用量の算出に用いる統計資料との重複排除の方法を定め、平成23年度確定値及び平成24年度速報値に適用した。
- ・本調査及びPETボトルリサイクル推進協議会推計値の差について整理する共に、本調査におけるペットボトルの海外輸出分の扱いについて確認した。
- ・環境省統計と経団連統計等関連統計を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値、平成23年度値の比較・整理することでその差を明らかにするとともに、関連する過去データの修正状況も整理した。

### (3) インベントリ対応

#### 【検討の内容】

- ・物質フロー及び廃棄物分野におけるGHGインベントリ算出用に提供するため、一般廃棄物（災害廃棄物）の取りまとめ内容について検討した。
- ・温室効果ガス排出インベントリに提供する動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の見直しを検討した。
- ・副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量について、現状の取扱いについて検討した。

#### 【得られた成果】

- ・物質フロー作成用及び廃棄物分野におけるGHGインベントリ算出用に平成23年度確定値を提供するため、平成23年度確定値の取りまとめを行った。
- ・廃棄物分野におけるGHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物）の平成24年度速報値における取りまとめ内容を定めた。
- ・廃棄物分野におけるGHGインベントリ算出用に平成24年度速報値を提供するため、平成24年度速報値の取りまとめを行った。
- ・温室効果ガス排出インベントリに提供する動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出に「食品循環資源の再生利用等実態調査」の結果を活用することとした。また算出方法を変更することで、把握精度が向上することを確認した。
- ・副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量について、循環利用量調査における把握状況を確認するとともに、廃棄物分野におけるGHGインベントリにおける排出係数の扱いを整理した。

### 1.3 循環利用量調査改善検討会での検討経過

循環利用量調査改善検討会における検討委員名簿は以下のとおりである。

#### (1) 委員名簿

##### (委員)

座長	松本 亨	北九州市立大学国際環境工学部 教授
	小島 政章	株式会社竹中工務店生産本部技師長
	近藤 康之	早稲田大学政治経済学術院 教授
	阪口 修	一般社団法人 プラスチック循環利用協会 調査研究部長
	立尾 浩一	一般財団法人日本環境衛生センター東日本支局環境工学部調査課 課長
	谷川 昇	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 調査部長
	橋本 征二	立命館大学理工学部環境システム工学科 教授
	古山 輝夫	新日鐵住金株式会社 環境部 環境技術室 主幹
	細川 浩之	一般社団法人 セメント協会 生産・環境部門 リーダー
	宮城 英徳	宮城県環境生活部震災廃棄物対策課 技術副参事
	茂木 敏	東京都環境局廃棄物対策部資源循環推進課 処理技術担当 係長

##### (環境省)

望月 時男	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環指標情報分析官
宮本 修治	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課課長補佐 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課 地球環境局総務課低炭素社会推進室

##### (厚生労働省)

健康局水道課

##### (農林水産省)

大臣官房統計部統計企画管理官付

##### (経済産業省)

産業技術環境局リサイクル推進課

##### (国土交通省)

水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

##### (事務局)

株式会社 数理計画

## (2) 検討経過

循環利用量調査改善検討会の検討経過(開催日程及び議題)は表1のとおりである。

表 1 平成25年度循環利用量調査改善検討会 検討経過

開催日程	議 題
第1回 平成25年7月31日(水) 15:00~17:00	(1) 平成25年度循環利用量調査改善検討会実施計画案について (2) 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成23年度確定値の算出について (2)-1 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成23年度確定値の取りまとめ内容(案) (2)-2 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成23年度確定値の算出方法(案) (3) ペットボトルの焼却処理量について
第2回 平成25年11月13日(水) 15:00~17:00	(1) 廃棄物等発生量の平成23年度の確定値について (2) 平成23年度の確定値の取りまとめ内容、温室効果ガスインベントリ算出用に提供する廃棄物等の平成23年度確定値の算出結果及び温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成24年度廃棄物等の量(速報値)の算出にあたって必要となる関連統計の入手状況・見込みについて (3) 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値及び平成23年度値の比較結果について
第3回 平成26年2月5日(水) 15:00~17:00	(1) 第2回循環利用量調査改善検討会の委員指摘事項への回答 (2) 温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成24年度廃棄物等の量(速報値)の算出にあたって必要となる関連統計の入手状況・見込み (3) 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成24年度速報値の算出方法について (4) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値の推計結果
第4回 平成26年3月14日(金) 15:00~17:00	(1) 第3回循環利用量調査改善検討会の委員指摘事項への回答 (2) 廃棄物等発生量の平成24年度速報値の算出結果 (3) 温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成24年度速報値の算出結果 (4) 平成25年度循環利用量調査改善検討会報告書(案)

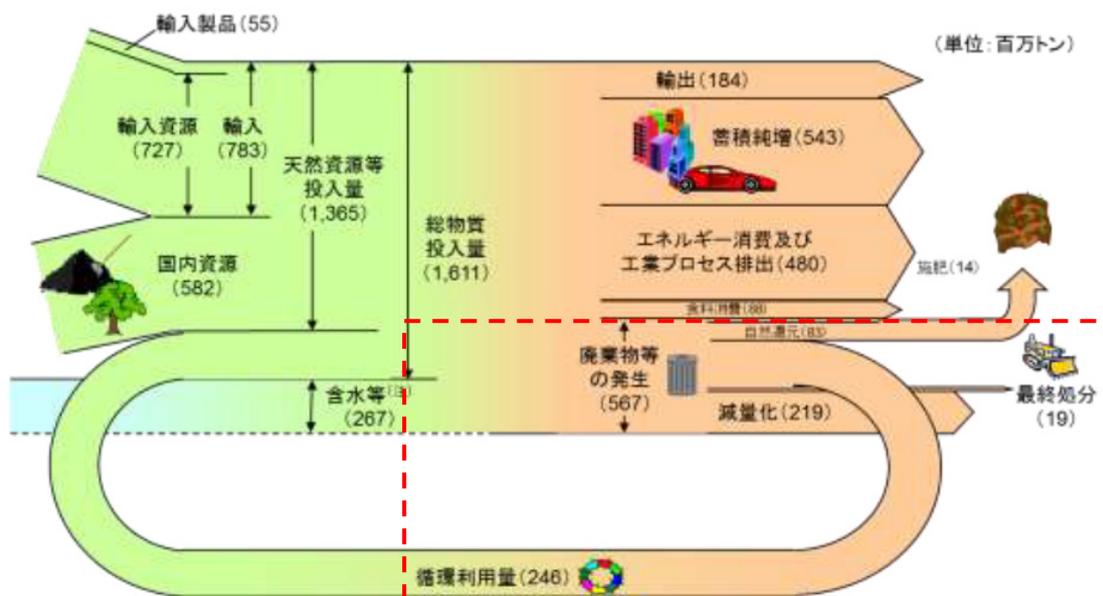


## 2 迅速化対応

### 2.1 廃棄物等循環利用量と物質フローとの関連性

廃棄物等循環利用量は、「循環型社会形成推進基本計画の策定及び毎年度の進捗状況点検等」（以下、「循環資源フロー」という。）、「廃棄物分野における温室効果ガス排出量削減目標の達成度を評価する資料」（インベントリ算定資料）、環境白書等に活用される。

平成22年度のわが国の物質フローは次のとおりであり、本調査は破線部分を算出している。



※出典 「第三次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第4回点検結果について」(平成 25 年 5 月、環境省)

図 1 平成 22 年度のわが国物質フロー

## 2.2 廃棄物等循環利用量の算出フロー

廃棄物等循環利用量の算出フローは図 2のとおりである。

一般廃棄物（ごみ、し尿）は「一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）」を、産業廃棄物は「産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）」を用いて廃棄物量を把握し、把握できない「有償物」等や焼却量、詳細な循環資源の内容については他の業界等の統計データを活用することで、廃棄物等の循環利用量を算出している。

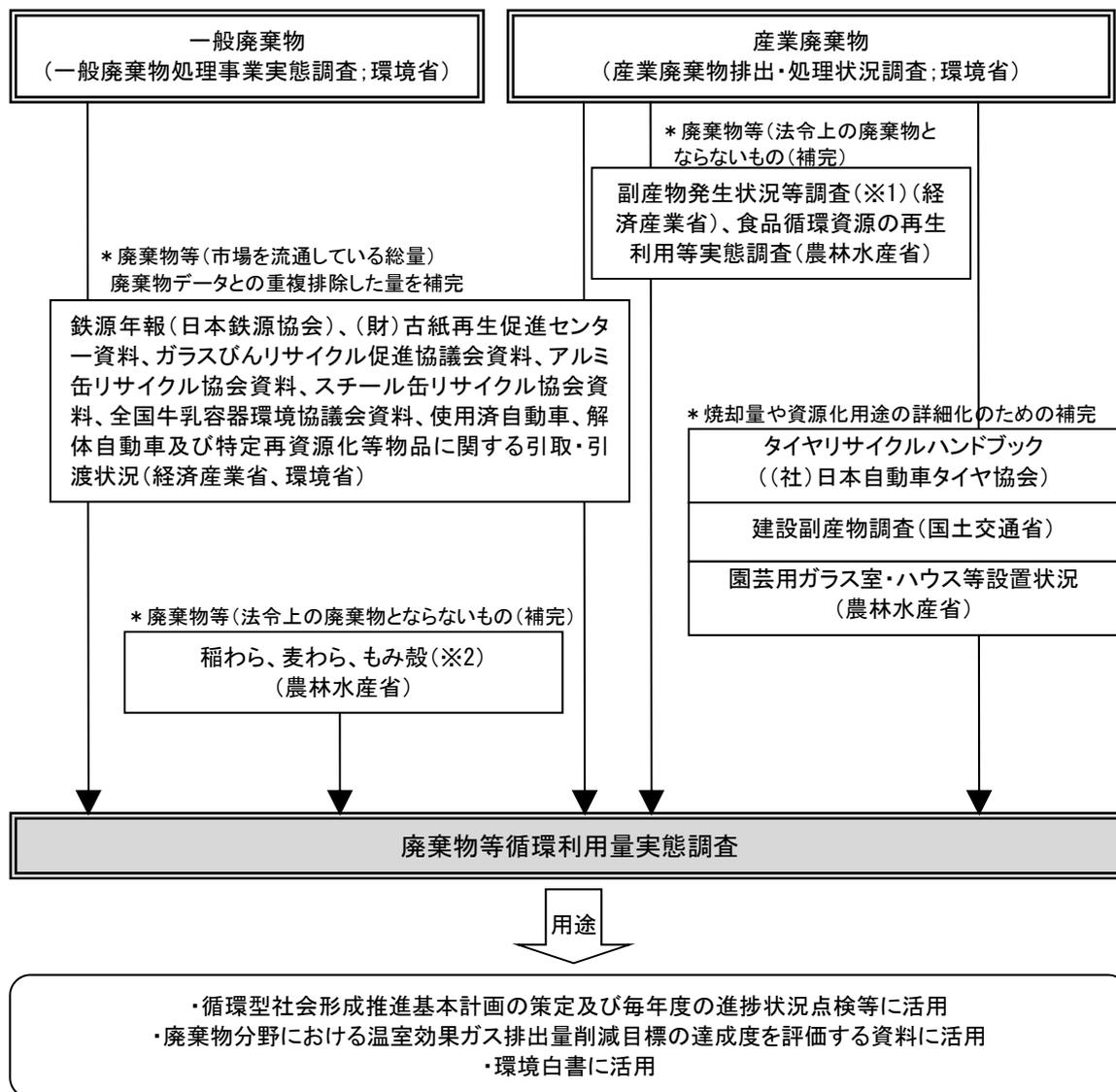


図 2 廃棄物等循環利用量の算出フロー

※1.「副産物発生状況等調査」は「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査」(経済産業省)をいい、平成 25 年度まで毎年度実施されてきている。

※2.家畜ふん尿など量の大きなものは産業廃棄物統計に含まれている。

## 2.3 循環利用量の算出に必要な統計資料

循環利用量の算出にあたっては表 2に整理した統計資料を利用した。

表 2 循環利用量の算出に必要な統計データ

用途	循環利用量算定に必要な統計資料名		循環利用量の算出に 用いる統計データ	循環利用量算出における統計データの活用方法	
基本 データ	A	一般廃棄物処理事業実態調査	環境省	排出量、処理量全般	基本統計として活用
	B	産業廃棄物排出・処理状況調査	環境省	排出量、処理量全般	基本統計として活用
未把握の 補完	1	副産物発生状況等調査	経済産業省	燃えがら、汚泥(スラッジ)、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性 残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラ ス・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動 物の死体、ばいじん	廃棄物等のうち有償物量を算出・加算
	2	生産局生産流通振興課資料	農林水産省	稲わら、もみ殻、麦わら	全量加算(業種指定以外のため産業廃棄物に含まれず)
未把握・ 資源化用 途詳細化	3	鉄源年報	日本鉄源協会	産業機械類等に由来する金属スクラップ	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	4	資源統計年報	経済産業省	産業機械類等に由来する金属スクラップ	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	5	(財)古紙再生促進センター資料		古紙	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	6	ガラスびんリサイクル促進協議会資料		ガラスびん	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	7	アルミ缶リサイクル協会資料		アルミ缶	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	8	スチール缶リサイクル協会資料		スチール缶	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	9	全国牛乳容器環境協議会資料		飲料用紙容器	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	10	(社)日本自動車工業会資料		廃自動車	有償物である回収金属量を算出・加算
	11	タイヤリサイクルハンドブック	日本自動車タイヤ協会	廃タイヤ	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
	12	食品循環資源の再生利用等実態調査	農林水産省	食品廃棄物	有償物量及び産業廃棄物以外(指定業種外)を算出・加算
	13	建設副産物調査	国土交通省	アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生 木材、建設汚泥、建設混合廃棄物	産業廃棄物との重複分の確認用に引用
14	園芸用施設及び農業用廃プラスチックに 関する調査	農林水産省	農業用プラスチック	詳細表で産業廃棄物内訳として引用	
ごみ品目 別の按分 比の設定	15	容器包装排出実態調査	環境省	家庭系ごみ品目別割合	家庭系一般廃棄物(粗大ごみ以外)の品目別細分化に活用
	16	事業系ごみ組成調査	東京二十三区清掃一部 事務組合	事業系ごみ品目別割合	事業系一般廃棄物の品目別細分化に活用
	17	ごみ処理施設構造指針解説	(社)全国都市清掃会議	粗大ごみ品目別割合	家庭系一般廃棄物(粗大ごみ)の品目別細分化に活用



## 2.4 循環利用量の算出スケジュール

循環利用量の値は、平成23年度確定値及び平成24年度速報値をそれぞれ11月中旬、3月中旬に算出した。詳細なスケジュール図 3に示した。

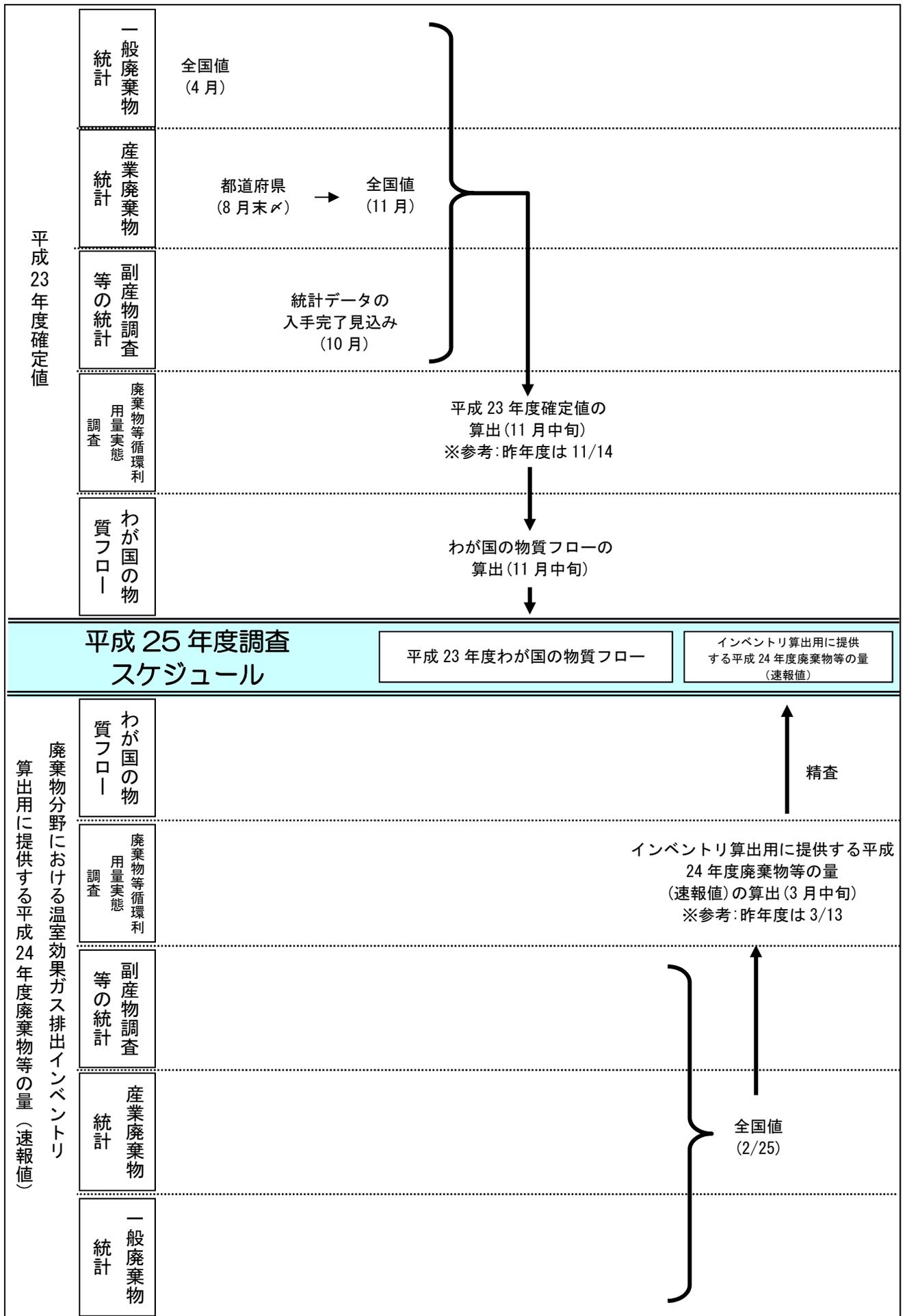


図3 平成25年度廃棄物等循環利用量算出スケジュール

## 2.5 平成23年度確定値の算出

### (1) 廃棄物等発生量の平成23年度の確定値

平成23年度における廃棄物等(一般廃棄物(災害廃棄物)を含む)の発生量の合計は56,231万トン/年であった。その内訳として、一般廃棄物のごみ(災害廃棄物を除く)の発生量は4,557万トン/年(全体の約8%)、一般廃棄物のし尿(し尿・浄化槽汚泥)の発生量は2,117万トン/年(全体の約4%)、一般廃棄物(災害廃棄物)の発生量は430万トン/年(全体の約1%)、産業廃棄物の発生量は38,121万トン/年(全体の約68%)、廃棄物統計外の廃棄物等の「等」の発生量は11,006万トン/年(全体の約20%)であった。

表 3 廃棄物等発生量の平成23年度の確定値<sup>2</sup>

廃棄物等の発生 56,231万t/年		一般廃棄物		産業廃棄物		「等」	
		計		計		計	
		7,104		38,121		11,006	
		4,557		燃え殻	184	ガラスびん	135
ごみ小計		4,557		汚泥	16,613	アルミ缶	4
紙		1,731		廃油	312	スチール缶	42
金属		172		廃酸	275	飲料用紙容器	4
ガラス		134		廃アルカリ	189	古紙	1,099
ペットボトル		52		廃プラスチック類	571	自動車	241
プラスチック		386		紙くず	112	稲わら	852
厨芥		1,454		木くず	623	麦わら	106
繊維		158		繊維くず	8	もみがら	186
木竹草類等		333		動植物性残さ	284	(副産物)廃油	27
陶磁器類等		137		ゴムくず	3	(副産物)廃プラスチック類	37
災害廃棄物		430		金属くず	724	(副産物)紙くず	492
し尿		2,117		ガラスくず陶磁器くず	636	(副産物)木くず	149
				鉱さい	1,549	(副産物)動植物性残さ	136
				がれき類	5,984	(副産物)金属くず	512
				ばいじん	1,590	(副産物)ガラスくず陶磁器くず	66
				動物のふん尿	8,446	(副産物)鉱さい	3,605
				動物の死体	17	(副産物)動物のふん尿	0.4
						(副産物)動物の死体	0.1
						(副産物)ばいじん	196
						産業機械等に由来する金属スクラップ	3,115

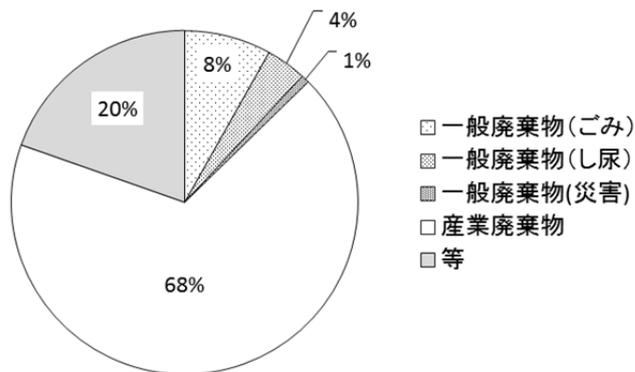


図 4 廃棄物等の発生状況(平成 23 年度確定値)

<sup>2</sup> 廃棄物等の「等」の自動車は、使用済み自動車の解体に伴い発生し、回収された鉄・非鉄金属のうち、廃棄物統計では把握されていない鉄・非鉄金属の量(破砕業者及び解体業者からの引取量)を集計している。(以降の廃棄物等の「等」の自動車についても全て同じ定義)

(2) 廃棄物等の「等」の発生量の平成23年度の確定値

廃棄物等発生量のうち廃棄物等の「等」の平成23年度確定値は表4のとおりである。また、算出方法の詳細は次ページのとおりである。

表 4 廃棄物等の「等」の発生量の平成23年度の確定値

(単位:千t/年)

		算出方法分類	H23確定値		
			廃棄物等の量 A	副産物調査にあっては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあっては廃棄物及び他の項目との重複量 B	「等」の量 C=A-B
副産物調査	燃えがら	①	1,345	1,758	0
	汚泥(スラッジ)		15,479	61,906	0
	廃油		2,761	2,494	267
	廃酸		2,342	2,701	0
	廃アルカリ		1,341	1,792	0
	廃プラスチック類		3,497	3,125	372
	紙くず		5,704	785	4,919
	木くず		2,638	1,143	1,495
	繊維くず		17	22	0
	動植物性残さ		4,174	2,811	1,363
	ゴムくず		16	23	0
	金属くず		10,880	5,760	5,120
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		4,607	3,948	659
	鋳さい		51,214	15,169	36,045
	がれき類		195	1,393	0
	動物のふん尿		4	0	4
動物の死体	1	0	1		
ばいじん	17,727	15,765	1,962		
古紙	②	21,615	10,621	10,994	
産業機械類等に由来する金属スクラップ		47,483	16,335	31,148	
稲わら	③	-	-	8,522	
麦わら		-	-	1,062	
もみがら		-	-	1,861	
ガラスびん	④	-	-	1,347	
アルミ缶		-	-	39	
スチール缶		-	-	424	
飲料用紙容器		-	-	42	
自動車		-	-	2,411	
合 計				110,057	

(算出方法分類)

- ① 副産物調査の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ② 副産物調査以外の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ③ 国内で発生した全量(統計値の全量)を廃棄物等の「等」とみなす。
- ④ 統計値のうちの一部の数値を廃棄物等の「等」とみなす。

※ 各品目の(A)廃棄物等の量は次の統計資料による。

- ・副産物調査:経済産業省「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査」
- ・廃自動車:経済産業省・環境省「使用済自動車、解体自動車及び特定再資源化物品に関する引取・引渡状況の公表について」
- ・稲わら、麦わら、もみがら:農林水産省生産局生産流通振興課資料
- ・その他:関連業界団体公表の統計資料

表 5 廃棄物等の「等」の発生量の平成23年度の確定値の算出方法

算出方法	分類	A 廃棄物等の量		B 副産物調査にあっては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあっては廃棄物及び他の項目との重複量		C「等」の量 (=A-B)		重複排除の考え方(*14)				
		量	説明	量	説明	量	説明					
副産物調査	燃えがら	1,345	経産省副産物調査発生量	*1	1,758	産廃統計排出量のうち製造業、電気・ガス業分	*2	0	付加価値の高い副産物で、発生段階で未処理かつ有償で市場を流通しているものが存在しており、これらは廃棄物統計に含まれていない。			
	汚泥	15,479	"	*1	61,906	"	*2	0				
	廃油	2,761	"	*1	2,494	"	*2	267				
	廃酸	2,342	"	*1	2,701	"	*2	0				
	廃アルカリ	1,341	"	*1	1,792	"	*2	0				
	廃プラスチック類	3,497	"	*1	3,125	"	*2	372				
	紙くず	5,704	"	*1	785	"	*2	4,919				
	木くず	2,638	"	*1	1,143	"	*2	1,495				
	繊維くず	17	"	*1	22	"	*2	0				
	動植物性残さ	4,174	"	*1	2,811	"	*2	1,363				
	ゴムくず	16	"	*1	23	"	*2	0				
	金属くず	10,880	"	*1	5,760	"	*2	5,120				
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4,607	"	*1	3,948	"	*2	659				
	鋸さい	51,214	"	*1	15,169	"	*2	36,045				
	がれき類	195	"	*1	1,393	"	*2	0				
動物のふん尿	4	"	*1	0	"	*2	4					
動物の死体	1	"	*1	0	"	*2	1					
ばいじん	17,727	"	*1	15,765	"	*2	1,962					
古紙	小計	21,615	小計		10,621	小計		10,994	家庭から持ち紙交換業者によって回収される量や事業所から専門買出人、坪上業者によって回収される量については廃棄物統計に含まれていない。			
		16,949	古紙消費量	*3	4,919	一般廃棄物の紙リサイクル量	*4	一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)との重複排除				
		233	製紙原料以外の分野における古紙利用製品の生産・古紙利用量	*3	741	産業廃棄物の紙くずマテリアルリサイクル量	*5	産業廃棄物との重複排除				
		4,432	古紙の輸出量	*3	42	飲料用紙容器の「等」の量		飲料用紙容器との重複排除				
産業機械類等に由来する金属スクラップ	小計	47,483	小計		16,335	小計		31,148	副産物調査では、主として副産物(平常時に発生するもの)が把握対象となっているため産業由来のスクラップのうち、機械類・建築からのスクラップがカウントされていないと考えられる。			
	②	14,103	自家発生鉄スクラップ	*6	979	一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の金属マテリアルリサイクル量	*4	一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)との重複排除				
		6,503	加工スクラップ	*6	7,074	産業廃棄物の金属くずマテリアルリサイクル量	*5	産業廃棄物との重複排除				
		23,153	老廃スクラップ	*6	39	アルミ缶の「等」の量		アルミ缶との重複排除				
		511	輸入スクラップ	*6	424	スチール缶の「等」の量		スチール缶との重複排除				
		3,213	アルミニウムくず、アルミニウム滓、銅くず、再生亜鉛	*7	2,411	自動車の「等」の量		自動車との重複排除				
					5,120	副産物調査の金属くずの「等」量		副産物調査の金属くずとの重複排除				
					273	一般廃棄物(災害廃棄物)の金属くずのマテリアルリサイクル量	*4	一般廃棄物(災害廃棄物)との重複排除	一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のうち金属くずの直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。			
					9	一般廃棄物(災害廃棄物)の自動車のマテリアルリサイクル量	*4	一般廃棄物(災害廃棄物)との重複排除	一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のうち自動車の直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、「等」の廃自動車と同様鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。			
					6	一般廃棄物(災害廃棄物)の「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を品目別に按分した推計結果のうち金属くずのマテリアルリサイクル量	*4	一般廃棄物(災害廃棄物)との重複排除	一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のうち「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」のうち、金属くずの直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。			
稲わら	③	-	-		-	8,522	H17稲わら量より作付面積でH21量を推計	*8	農業から発生する稲わら、麦わら、もみがらは副産物であるため廃棄物統計には含まれていない。			
麦わら		-		-	1,062	H17麦わら量より収穫量でH21量を推計	*8					
もみがら		-		-	1,861	H17もみがら量より作付面積でH21量を推計	*8					
ガラスびん	小計	-	-		-	1,347	小計		1,117	リターナブルびん使用量	*9	酒販売店・スーパー等を経由して回収されるリターナブルびんは廃棄物統計には含まれていない。
		-	-		-	230	事業系回収量のうち廃棄量を差し引いた量	*9				
アルミ缶	小計	-	-		-	39	小計		24	ボトラー・清掃事業者からの回収量	*10	事業所から排出されるアルミ缶のうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
		-	-		-	15	拠点回収(スーパー、コンビニ等)量	*10				
スチール缶	④	-	-		-	424	民間処理業者回収量	*11	42	小計		事業所から排出されるスチール缶のうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
飲料用紙容器	小計	-	-		-	33	店頭回収(スーパー等)量	*12				
		-	-		-	9	事業系回収(学校給食)量	*12	学校給食からの回収量については廃棄物統計に含まれていない。			
自動車	小計	-	-		-	2,411	小計		2,288	解体業者からの引取量	*13	使用済み自動車のうち、輸出される自動車については発生量に含めない。ASR以降については産業廃棄物としては産業廃棄物統計に含まれる。
		-	-		-	123	解体業者からの引取量	*13				

\*1 産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生生物)発生状況等に関する調査(経済産業省)による  
 \*2 産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)による  
 \*3 古紙需給統計(古紙再生促進センター)による  
 \*4 一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)を用いて求めた値  
 \*5 産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)を用いて求めた値  
 \*6 鉄源年報(日本鉄源協会)による  
 \*7 生産動態統計(鉄鋼、非鉄金属、金属製品)(経済産業省)による  
 \*8 農林水産省生産局生産流通振興課資料を用いて算出  
 \*9 ガラスびんのマテリアル・フロー図(ガラスびんリサイクル促進協議会)による  
 \*10 アルミ缶再生利用フロー(アルミ缶リサイクル協会)による  
 \*11 スチール缶リサイクルの全体フロー(スチール缶リサイクル協会)による  
 \*12 紙パックマテリアルフロー(全国牛乳容器環境協議会)による  
 \*13 使用済み自動車、解体自動車及び特定再資源化等物品に関する引取・引渡状況(経済産業省、環境省)による



(3) 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移

平成19年度から平成23年度までの5ヶ年分の廃棄物等発生量の推移を表6に示した。平成23年度における廃棄物等(一般廃棄物(災害廃棄物)を除く)の発生量の合計は平成22年度に比べ9,786千t/年減少した。減少量が最も大きかったのは産業廃棄物の汚泥(平成22年度より3,753千t/年)減少であった。一方、増加量が最も大きかったのは産業廃棄物のがれき類(平成22年度より1,575千t/年増加)であった。

表 6 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移

品目	単位千t/年					前々年との差 (H23-H21)	対前々年比 (H23の)	前年との差 (H23-H22)	対前年比 (H23のH22比)
	H19	H20	H21	H22	H23				
一般廃棄物	74,369	71,315	69,066	67,482	66,745	-2,321	96.64	-737	98.91
ごみ小計	50,870	48,109	46,457	45,548	45,572	-885	98.10	25	100.05
紙	18,916	17,944	16,737	16,995	17,315	578	103.45	320	101.88
金属	1,484	1,549	1,549	1,620	1,720	170	110.98	99	106.12
ガラス	1,600	1,586	1,502	1,391	1,343	-159	89.39	-48	96.57
ペットボトル	560	464	425	496	523	98	123.05	27	105.43
プラスチック	4,324	4,595	4,073	3,719	3,861	-213	94.78	142	103.81
厨芥	16,434	15,334	14,994	14,237	14,539	-455	96.97	302	102.12
繊維	1,643	1,919	2,078	1,830	1,580	-498	76.05	-249	86.36
木竹草類等	4,611	3,822	3,959	3,707	3,327	-633	84.02	-380	89.74
陶磁器類等	1,298	895	1,139	1,553	1,366	226	119.85	-188	87.92
し尿	23,499	23,206	22,609	21,934	21,173	-1,436	93.65	-762	96.53
産業廃棄物	419,425	403,661	389,746	385,988	381,206	-8,540	97.81	-4,782	98.76
燃え殻	2,028	2,053	1,821	1,835	1,836	15	100.84	1	100.07
汚泥	185,305	176,114	173,629	169,885	166,132	-7,497	95.68	-3,753	97.79
廃油	3,610	3,617	3,048	3,251	3,118	-70	102.31	-133	95.91
廃酸	5,662	2,721	2,542	2,483	2,752	210	108.27	269	110.83
廃アルカリ	2,777	2,648	1,867	2,563	1,889	22	101.19	-674	73.70
廃プラスチック類	6,428	6,445	5,665	6,185	5,710	-45	100.79	-476	92.31
紙くず	1,466	1,383	1,265	1,153	1,118	-147	88.37	-35	96.96
木くず	5,971	6,262	6,294	6,121	6,233	-61	99.02	112	101.83
繊維くず	75	74	69	79	79	10	114.68	0	100.04
動植物性残さ	3,145	3,318	3,001	3,027	2,838	-163	94.55	-189	93.75
ゴムくず	62	41	27	32	32	5	118.29	-0	99.42
金属くず	11,461	8,766	7,830	7,246	7,242	-588	92.50	-4	99.94
ガラスくず陶磁器くず	5,183	6,174	5,411	6,031	6,361	950	117.56	330	105.48
鉱さい	20,715	18,440	14,109	16,006	15,493	1,383	109.80	-513	96.79
がれき類	60,900	61,189	58,921	58,264	59,839	918	101.56	1,575	102.70
ばいじん	16,964	16,550	15,923	16,823	15,903	-20	99.87	-920	94.53
動物のふん尿	87,476	87,698	88,162	84,847	84,459	-3,703	95.80	-388	99.54
動物の死体	197	168	161	156	172	12	107.27	16	110.33
「等」	97,110	104,103	100,338	114,323	110,057	9,720	109.69	-4,266	96.27
ガラスびん	1,830	1,173	1,556	1,472	1,347	-209	86.55	-125	91.49
アルミ缶	66	43	35	36	39	4	111.43	3	108.33
スチール缶	450	454	420	420	424	4	100.95	4	100.95
飲料用紙容器	41	43	44	43	42	-2	96.35	-1	98.14
古紙	10,242	11,749	10,731	11,090	10,994	263	102.45	-96	99.14
自動車	2,881	2,855	3,229	3,022	2,411	-818	74.68	-611	79.79
稲わら	9,070	8,798	8,782	8,803	8,522	-260	97.04	-281	96.81
麦わら	1,013	1,038	1,041	1,038	1,062	21	102.03	24	102.30
もみがら	1,951	1,922	1,918	1,923	1,861	-57	97.04	-61	96.81
(副産物)燃え殻		15				0		0	
(副産物)廃油	466	647	255	273	267	12	104.67	-5	98.00
(副産物)廃酸			101	9		-101	0.00	-9	0.00
(副産物)廃プラスチック類		140	150	723	372	221	247.40	-352	51.37
(副産物)紙くず	5,626	4,822	5,258	5,118	4,919	-340	93.54	-199	96.11
(副産物)木くず	19	1,356	777	921	1,495	718	192.42	574	162.30
(副産物)繊維くず		3	43	7		-43	0.00	-7	0.00
(副産物)動植物性残さ		1,365		2,017	1,363	1,363		-655	67.54
(副産物)金属くず	4,269	5,726	3,955	5,934	5,120	1,166	129.47	-814	86.28
(副産物)ガラスくず陶磁器くず		582	2,810	323	659	-2,152	23.44	336	203.78
(副産物)鉱さい	33,002	29,455	32,179	37,731	36,045	3,866	112.01	-1,686	95.53
(副産物)動物のふん尿			3	4	4	1	133.33	0	100.00
(副産物)動物の死体			1	1	1	0	100.00	0	100.00
(副産物)ばいじん	1,795	1,461	1,060	1,250	1,962	901	185.00	711	156.90
産業機械等に由来する金属スクラップ	22,629	28,697	24,469	32,162	31,148	6,678	127.29	-1,014	96.85
計	590,904	579,079	559,149	567,794	558,008	-1,141	99.80	-9,786	98.28

※平成23年度における一般廃棄物(災害廃棄物)の量は表6の数値に含まれていない。

平成19年度から平成23年度までの5ヶ年分の廃棄物等発生量に関し、一般廃棄物、産業廃棄物、等及び合計それぞれについて、循環利用量、減量化量、最終処分量及び自然還元量（産業廃棄物と等のみ）をとりまとめ、その推移を表7に示した。平成22年度値と比較すると、一般廃棄物（ごみ）と産業廃棄物の減量化量が増加しているが、その他の量はいずれも減少している。

表 7 廃棄物等の発生量、循環利用量、減量化量、最終処分量、自然還元量の過去5年分の推移

品目	単位千t/年					前々年との差 (H23-H21)	対前々年比 (H23の H21比)	前年との差 (H23-H22)	対前年比 (H23の H22比)
	H19	H20	H21	H22	H23				
一般廃棄物	74,369	71,315	69,066	67,482	66,745	-2,321	96.64	-737	98.91
ごみ小計	50,870	48,109	46,457	45,548	45,572	-885	98.10	25	100.05
紙	18,916	17,944	16,737	16,995	17,315	578	103.45	320	101.88
金属	1,484	1,549	1,549	1,620	1,720	170	110.98	99	106.12
ガラス	1,600	1,586	1,502	1,391	1,343	-159	89.39	-48	96.57
ペットボトル	560	464	425	496	523	98	123.05	27	105.43
プラスチック	4,324	4,595	4,073	3,719	3,861	-213	94.78	142	103.81
厨芥	16,434	15,334	14,994	14,237	14,539	-455	96.97	302	102.12
繊維	1,643	1,919	2,078	1,830	1,580	-498	76.05	-249	86.36
木竹草類等	4,611	3,822	3,959	3,707	3,327	-633	84.02	-380	89.74
陶磁器類等	1,298	895	1,139	1,553	1,366	226	119.85	-188	87.92
し尿	23,499	23,206	22,609	21,934	21,173	-1,436	93.65	-762	96.53
産業廃棄物	419,425	403,661	389,746	385,988	381,206	-8,540	97.81	-4,782	98.76
燃え殻	2,028	2,053	1,821	1,835	1,836	15	100.84	1	100.07
汚泥	185,305	176,114	173,629	169,885	166,132	-7,497	95.68	-3,753	97.79
廃油	3,610	3,617	3,048	3,251	3,118	70	102.31	-133	95.91
廃酸	5,662	2,721	2,542	2,483	2,752	210	108.27	269	110.83
廃アルカリ	2,777	2,648	1,867	2,563	1,889	22	101.19	-674	73.70
廃プラスチック類	6,428	6,445	5,665	6,185	5,710	45	100.79	-476	92.31
紙くず	1,466	1,383	1,265	1,153	1,118	-147	88.37	-35	96.96
木くず	5,971	6,262	6,294	6,121	6,233	-61	99.02	112	101.83
繊維くず	75	74	69	79	79	10	114.68	0	100.04
動植物性残さ	3,145	3,318	3,001	3,027	2,838	-163	94.55	-189	93.75
ゴムくず	62	41	27	32	32	5	118.29	-0	99.42
金属くず	11,461	8,766	7,830	7,246	7,242	-588	92.50	-4	99.94
ガラスくず陶磁器くず	5,183	6,174	5,411	6,031	6,361	950	117.56	330	105.48
鋳さい	20,715	18,440	14,109	16,006	15,493	1,383	109.80	-513	96.79
がれき類	60,900	61,189	58,921	58,264	59,839	918	101.56	1,575	102.70
ばいじん	16,964	16,550	15,923	16,823	15,903	-20	99.87	-920	94.53
動物のふん尿	87,476	87,698	88,162	84,847	84,459	-3,703	95.80	-388	99.54
動物の死体	197	168	161	156	172	12	107.27	16	110.33
等	97,110	104,103	100,338	114,323	110,057	9,720	109.69	-4,266	96.27
ガラスびん	1,830	1,173	1,556	1,472	1,347	-209	86.55	-125	91.49
アルミ缶	66	43	35	36	39	4	111.43	3	108.33
スチール缶	450	454	420	420	424	4	100.95	4	100.95
飲料用紙容器	41	43	44	43	42	-2	96.35	-1	98.14
古紙	10,242	11,749	10,731	11,090	10,994	263	102.45	-96	99.14
自動車	2,881	2,855	3,229	3,022	2,411	-818	74.68	-611	79.79
稲わら	9,070	8,798	8,782	8,803	8,522	-260	97.04	-281	96.81
麦わら	1,013	1,038	1,041	1,038	1,062	21	102.03	24	102.30
もみがら	1,951	1,922	1,918	1,923	1,861	-57	97.04	-61	96.81
(副産物)燃え殻		15				0		0	
(副産物)廃油	466	647	255	273	267	12	104.67	-5	98.00
(副産物)廃酸		101		9		-101	0.00	-9	0.00
(副産物)廃プラスチック類		140	150	723	372	221	247.40	-352	51.37
(副産物)紙くず	5,626	4,822	5,258	5,118	4,919	-340	93.54	-199	96.11
(副産物)木くず	19	1,356	777	921	1,495	718	192.42	574	162.30
(副産物)繊維くず		3	43	7		-43	0.00	-7	0.00
(副産物)動植物性残さ		1,365		2,017	1,363	1,363		-655	67.54
(副産物)金属くず	4,269	5,726	3,955	5,934	5,120	1,166	129.47	-814	86.28
(副産物)ガラスくず陶磁器くず		582	2,810	323	659	-2,152	23.44	336	203.78
(副産物)鋳さい	33,002	29,455	32,179	37,731	36,045	3,866	112.01	-1,686	95.53
(副産物)動物のふん尿		3	4	4	4	1	133.33	0	100.00
(副産物)動物の死体		1	1	1	1	0	100.00	0	100.00
(副産物)ばいじん	1,795	1,461	1,060	1,250	1,962	901	185.00	711	156.90
産業機械等に由来する金属スクラップ	22,629	28,697	24,469	32,162	31,148	6,678	127.29	-1,014	96.85
計	590,904	579,079	559,149	567,794	558,008	-1,141	99.80	-9,786	98.28

※平成23年度における一般廃棄物(災害廃棄物)の量は表7の数値に含まれていない。

(4) 廃棄物等循環利用量の平成23年度確定値の算出結果（廃棄物統計別）

平成23年度における廃棄物等（一般廃棄物（災害廃棄物）を除く）の循環利用量の詳細を次頁以降に示した。

表 8 廃棄物等循環利用量の平成23年度確定値(1)

(単位:千/年)	合計	一般廃棄物(ごみ)										し尿				産業廃棄物		
		小計	紙	金属	ガラス	ペットボ トル	プラスチ ック	厨芥	繊維	木竹草類 等	陶磁器類 等	小計	燃え殻	汚泥	有機性汚 泥			
<b>1. 発生量</b>																		
発生量	558,008	45,572	17,315	1,720	1,343	523	3,861	14,539	1,580	3,327	1,366	21,173	381,206	1,836	166,132	120,591		
<b>2. 区分パターン1</b>																		
発生量	558,008	45,572	17,315	1,720	1,343	523	3,861	14,539	1,580	3,327	1,366	21,173	381,206	1,836	166,132	120,591		
直接循環利用量	111,800	4,627	3,929	173	233	72	86	82	168	82		168	11,566	69	1,124			
直接リユース小計	942	51			51													
製品リユース	942	51			51													
部品リユース																		
直接マテリアルリサイクル小計	110,858	4,776	3,929	173	182	72	86	82	168	82		168	11,566	69	1,124			
燃料化(注1)	619	18					18								164			
製品化(コホスト)																		
製品化(建設資材)	19,757														2,492			
素材原料(鉄・非鉄金属)	34,785	173		173											3,464			
素材原料(その他製品原料)	50,190	4,567	3,929		162	72	50	82	168	82					3,705	69		
土壌改良・還元・土地造成	5,299											168	1,551			1,124		
中和剤など	190													190				
高炉還元(注2)	18	18					18											
直接自然還元量(注3)	77,519												71,620					
直接最終処分量	6,388	593	127	97	65	7	69	61	6	19	141	61	5,734	437	956			
埋立処分	6,388	593	127	97	65	7	69	61	6	19	141	61	5,734	437	956			
海洋投入処分																		
自家処理量(注5)	37	37	13	1	1	1	3	13	1	3	1							
プロセス1の量(中間処理等の量)	362,264	40,116	13,246	1,448	1,043	443	3,703	14,383	1,404	3,222	1,224	20,943	292,286	1,330	164,052	120,591		
減量化量	220,292	31,340	11,140			206	2,802	13,061	1,256	2,674		20,832	167,361	121	152,665	113,591		
焼却による減量化量	44,393	30,834	11,023			206	2,702	12,802	1,250	2,652		692	12,108		7,238	7,238		
脱水・乾燥による減量化量	149,371	506	118			100	259	6	23			389	148,476	121	145,428	106,353		
濃縮による減量化量	26,529											19,752	6,777					
処理後循環利用量	126,209	4,548	990	805	621	232	822	833	79	126	39	69	118,220	1,155	9,007	5,762		
処理後リユース小計	928												148					
製品リユース	148												148					
部品リユース	778																	
処理後マテリアルリサイクル小計	125,284	4,548	990	805	621	232	822	833	79	126	39	69	118,072	1,155	9,007	5,762		
燃料化(注1)	7,056	410					75	335					6,646					
製品化(コホスト)	1,990	124						94				1	1,865		743	743		
製品化(建設資材)	67,323												67,323		145	145		
素材原料(鉄・非鉄金属)	6,503	789		789									3,617					
素材原料(その他製品原料)	24,466	3,225	990	16	621	232	747	404	79	96	39		20,743	1,155	1,891	809		
土壌改良・還元・土地造成	16,650											68	16,782		6,229	4,066		
中和剤など	1,096												1,096					
処理後自然還元量(注4)	4,787																	
処理後最終処分量	10,975	4,228	1,115	643	422	5	79	489	69	222	1,184	42	6,705	54	2,379	1,238		
埋立処分	10,975	4,228	1,115	643	422	5	79	489	69	222	1,184	42	6,705	54	2,379	1,238		
海洋投入処分																		
うちプロセス2の量(焼却処理量)	49,894	35,432	12,245	674	321	217	2,863	13,647	1,347	3,120	998	719	12,984		7,756	7,756		
直接焼却	49,894	34,002	11,627	674	321	217	2,850	13,504	1,319	3,008	483		12,984		7,756	7,756		
処理後焼却		1,430	618				13	143	28	112	516	719						
焼却による減量化量	44,393	30,834	11,023			206	2,702	12,802	1,250	2,652		692	12,108		7,238	7,238		
焼却処理後循環利用量	1,086	1,086	348	88	10	7	85	404	39	90	14							
焼却処理後リユース小計																		
製品リユース																		
部品リユース																		
処理後マテリアルリサイクル小計	1,086	1,086	348	88	10	7	85	404	39	90	14							
製品化(建設資材)																		
素材原料(鉄・非鉄金属)	72	72		72														
素材原料(その他製品原料)	1,014	1,014	348	16	10	7	85	404	39	90	14							
土壌改良・還元・土地造成																		
中和剤など																		
焼却処理後最終処分量	3,539	3,512	875	585	312	5	75	441	58	178	984	27						
埋立処分	3,539	3,512	875	585	312	5	75	441	58	178	984	27						
海洋投入処分																		
<b>3. 区分パターン2</b>																		
発生量	558,008	45,572	17,315	1,720	1,343	523	3,861	14,539	1,580	3,327	1,366	21,173	381,206	1,836	166,132	120,591		
循環利用量	238,010	9,375	4,919	979	854	304	908	915	248	208	39	237	129,786	1,224	10,131	5,762		
リユース	1,868	51			51								148					
直接リユース	942	51			51													
処理後リユース	926												148					
マテリアルリサイクル	236,142	9,324	4,919	979	803	304	908	915	248	208	39	237	129,638	1,224	10,131	5,762		
直接マテリアルリサイクル	110,858	4,776	3,929	173	182	72	86	82	168	82		168	11,566	69	1,124			
処理後マテリアルリサイクル	125,284	4,548	990	805	621	232	822	833	79	126	39	69	118,072	1,155	9,007	5,762		
減量化量	220,292	31,377	11,153	1	1	207	2,805	13,074	1,258	2,877		20,832	167,361	121	152,665	113,591		
焼却による減量化量	44,393	30,834	11,023			206	2,702	12,802	1,250	2,652		692	12,108		7,238	7,238		
脱水・乾燥による減量化量	149,371	506	118			100	259	6	23			389	148,476	121	145,428	106,353		
濃縮による減量化量	26,529											19,752	6,777					
自家処理量(注5)	37	37	13	1	1	1	3	13	1	3	1							
最終処分量	17,363	4,821	1,242	740	488	12	147	550	75	241	1,325	103	12,439	491	3,335	1,238		
直接最終処分量	6,388	593	127	97	65	7	69	61	6	19	141	61	5,734	437	956			
処理後最終処分量	10,975	4,228	1,115	643	422	5	79	489	69	222	1,184	42	6,705	54	2,379	1,238		
自然還元量	82,306												71,620					
直接自然還元量(注3)	77,519												71,620					
処理後自然還元量(注4)	4,787																	

注1) 燃料化：破砕・固形化等の処理を経たもの、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出発時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクル量の内数と考え、その量を「燃料化」とする。  
 注2) 高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。  
 注3) 直接自然還元量：家畜ふん尿のうち、何らの処理をされなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。  
 なお、「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元量」として扱っている。  
 注4) 処理後自然還元量：農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、畜舎敷料等に利用後に農地に還元された量を「処理後自然還元量」とする。  
 注5) 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として用いるか、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

表 9 廃棄物等循環利用量の平成23年度確定値(2)

(単位:千t/年)	産業廃棄物																
	汚泥				廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類				紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ		
	有機性汚泥		無機性汚泥					製造業	農業廃材	廃タイヤ	その他廃材						
	下水汚泥	製造業有機性汚泥	上水汚泥	建設業、製造業、農業等無機性汚泥													
<b>1. 発生量</b>	74,788	45,803	45,540	10,858	34,682	3,118	2,752	1,889	5,710	3,118	123	998	1,471	1,118	6,233	79	2,838
<b>2. 区分パターン1</b>	74,788	45,803	45,540	10,858	34,682	3,118	2,752	1,889	5,710	3,118	123	998	1,471	1,118	6,233	79	2,838
発生量	74,788	45,803	45,540	10,858	34,682	3,118	2,752	1,889	5,710	3,118	123	998	1,471	1,118	6,233	79	2,838
直接循環利用量			1,124		1,124	126	172	18	83	57			27	85	47	2	226
直接リユース小計																	
製品リユース																	
部品リユース																	
直接マテリアルリサイクル小計			1,124		1,124	126	172	18	83	57			27	85	47	2	226
燃料化(注1)						126			38	26			12				
製品化(コンクリート)																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)									45	31			15	85	47	2	
土壌改良・還元・土地造成			1,124		1,124												226
中和剤など							172	18									
高炉還元(注2)																	
直接自然還元(注3)																	
直接最終処分量			956		956	42	1	9	291	158	19	39	74	11	70	3	12
埋立処分			956		956	42	1	9	291	158	19	39	74	11	70	3	12
海洋投入処分																	
自家処理量(注5)																	
プロセス1の量(中間処理等の量)	74,788	45,803	43,460	10,858	32,602	2,951	2,579	1,862	5,336	2,904	103	959	1,370	1,022	6,115	75	2,600
減量化量	72,118	41,473	39,075	9,555	29,520	1,786	1,797	1,435	1,519	1,026	9		484	328	1,033	24	889
焼却による減量化量	5,621	1,616				1,786			1,519	1,026	9		484	328	1,033	24	89
脱水・乾燥による減量化量	66,497	39,856	39,075	9,555	29,520												800
濃縮による減量化量							1,797	1,435									
処理後循環利用量	2,193	3,569	3,245	704	2,541	1,078	713	390	2,983	1,361	80	900	642	656	4,852	41	1,657
処理後リユース小計									148			148					
製品リユース									148			148					
部品リユース																	
処理後マテリアルリサイクル小計	2,193	3,569	3,245	704	2,541	1,078	713	390	2,835	1,361	80	752	642	656	4,852	41	1,657
燃料化(注1)						1,078			1,503	621		588	293		4,065		
製品化(コンクリート)																	1,122
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)									1,332	740		163	349	656	787	41	
土壌改良・還元・土地造成			2,163	704	1,459												534
中和剤など							706	390									
処理後自然還元(注4)																	
処理後最終処分量	477	761	1,141	599	542	87	69	37	834	517	14	59	244	38	230	9	54
埋立処分	477	761	1,141	599	542	87	69	37	834	517	14	59	244	38	230	9	54
海洋投入処分																	
うちプロセス2の量(焼却処理量)	5,736	2,020				1,841			1,687	1,140	10		538	346	1,135	26	95
直接焼却	5,736	2,020				1,841			1,687	1,140	10		538	346	1,135	26	95
処理後焼却																	
焼却による減量化量	5,621	1,616				1,786			1,519	1,026	9		484	328	1,033	24	89
焼却処理後循環利用量																	
焼却処理後リユース小計																	
製品リユース																	
部品リユース																	
焼却処理後マテリアルリサイクル小計																	
燃料化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)																	
土壌改良・還元・土地造成																	
中和剤など																	
焼却処理後最終処分量																	
埋立処分																	
海洋投入処分																	
<b>3. 区分パターン2</b>	74,788	45,803	45,540	10,858	34,682	3,118	2,752	1,889	5,710	3,118	123	998	1,471	1,118	6,233	79	2,838
発生量	74,788	45,803	45,540	10,858	34,682	3,118	2,752	1,889	5,710	3,118	123	998	1,471	1,118	6,233	79	2,838
循環利用量	2,193	3,569	4,369	704	3,665	1,204	885	408	3,067	1,418	80	900	669	741	4,899	43	1,882
リユース									148			148					
直接リユース																	
処理後リユース																	
マテリアルリサイクル	2,193	3,569	4,369	704	3,665	1,204	885	408	2,919	1,418	80	752	669	741	4,899	43	1,882
直接マテリアルリサイクル			1,124		1,124	126	172	18	83	57			27	85	47	2	226
処理後マテリアルリサイクル	2,193	3,569	3,245	704	2,541	1,078	713	390	2,835	1,361	80	752	642	656	4,852	41	1,657
減量化量	72,118	41,473	39,075	9,555	29,520	1,786	1,797	1,435	1,519	1,026	9		484	328	1,033	24	889
焼却による減量化量	5,621	1,616				1,786			1,519	1,026	9		484	328	1,033	24	89
脱水・乾燥による減量化量	66,497	39,856	39,075	9,555	29,520												800
濃縮による減量化量							1,797	1,435									
自家処理量(注5)																	
最終処分量	477	761	2,097	599	1,498	128	69	46	1,125	675	34	98	318	49	300	12	67
直接最終処分量			956		956	42	1	9	291	158	19	39	74	11	70	3	12
処理後最終処分量	477	761	1,141	599	542	87	69	37	834	517	14	59	244	38	230	9	54
自然還元量																	
直接自然還元(注3)																	
処理後自然還元(注4)																	

注1) 燃料化：破砕・固形化等の処理を経たのち、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点で把握できることから、マテリアルリサイクル量の内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2) 高炉還元：一般廃棄物（ごみ）のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3) 直接自然還元：家畜ふん尿のうち、何らの処理をされことなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元」とする。

なお、「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元」として扱っている。

注4) 処理後自然還元：農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、畜舎敷料等に利用後に農地に還元された量を「処理後自然還元」とする。

注5) 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として用いるが、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

表 10 廃棄物等循環利用量の平成23年度確定値(3)

発生量	産業廃棄物								廃棄物統計外の個別製品統計データ									
	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	紙くず	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	小計	ガラスびん リサイクル 促進協議 会資料	アルミ布 リサイクル 協会資料	スチール布 リサイクル 協会資料	全国牛乳 容器環境 協議会資 料	(財)古紙 再生促進 センター資 料	環境省、経産 省、国土 交通省、(注) 日本自動車 工業会資料	農林水産省農産園芸 局農産課資料	稲わら	まわら
										ガラスびん	アルミ缶	スチール缶	飲料用紙 容器	古紙	自動車			

1. 発生量

発生量	32	7,242	6,361	15,493	59,839	15,903	84,459	172	110,057	1,347	39	424	42	10,994	2,411	8,522	1,062
-----	----	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-----	---------	-------	----	-----	----	--------	-------	-------	-------

2. 区分パターン1

発生量	32	7,242	6,361	15,493	59,839	15,903	84,459	172	110,057	1,347	39	424	42	10,994	2,411	8,522	1,062
-----	----	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-----	---------	-------	----	-----	----	--------	-------	-------	-------

直接循環利用量	1	3,464	181	3,276	742	1,950		0	95,239	891				10,994			
直接リユース小計									891	891							
製品リユース									891	891							
部品リユース																	
直接マテリアルリサイクル小計	1	3,464	181	3,276	742	1,950		0	94,348					10,994			
燃料化(注1)									437								
製品化(コンポスト)									17,285								
製品化(建設資材)			181	1,569	742				31,148								
素材原料(鉄・非鉄金属)		3,464							41,918					10,994			
素材原料(その他製品原料)	1			1,506		1,950			3,500								
土壌改良・還元・土地造成				201				0									
中和剤など																	
高炉還元(注2)																	
直接自然還元(注3)							71,620		5,900							5,596	304
埋立処分	2	40	566	735	771	1,785	1	1									
埋立処分	2	40	566	735	771	1,785	1	1									
海洋投入処分																	
自家処理量(注5)																	
プロセス1の量(中間処理等の量)	29	3,738	5,614	11,481	58,326	12,167	12,839	171	8,918	456	39	424	42		2,411	2,926	759
減量化量	8					2,127	3,545	84	759							236	282
焼却による減量化量	8							84	759							236	282
脱水・乾燥による減量化量						2,127											
脱水・乾燥による減量化量							3,545										
蒸縮による減量化量																	
処理後循環利用量	17	3,610	4,699	11,030	57,196	9,794	9,259	83	3,372	456	39	424	42		2,411		
処理後リユース小計									778						778		
製品リユース									778						778		
部品リユース																	
処理後マテリアルリサイクル小計	17	3,610	4,699	11,030	57,196	9,794	9,259	83	2,595	456	39	424	42		1,634		
燃料化(注1)																	
製品化(コンポスト)																	
製品化(建設資材)			4,699	5,283	57,196												
素材原料(鉄・非鉄金属)		3,610							2,097		39	424			1,634		
素材原料(その他製品原料)	17			5,070		9,794			498	456		42					
土壌改良・還元・土地造成				677			9,259	83									
中和剤など																	
処理後自然還元(注4)									4,787							2,690	477
埋立処分	5	128	915	451	1,130	246	35	4									
埋立処分	5	128	915	451	1,130	246	35	4									
海洋投入処分																	
うちプロセス2の量(焼却処理量)	8							89	759							236	282
直接焼却	8							89	759							236	282
処理後焼却																	
焼却による減量化量	8							84	759							236	282
焼却処理後循環利用量																	
焼却処理後リユース小計																	
製品リユース																	
部品リユース																	
処理後マテリアルリサイクル小計																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)																	
土壌改良・還元・土地造成																	
中和剤など																	
焼却処理後最終処分量																	
埋立処分																	
海洋投入処分																	

3. 区分パターン2

発生量	32	7,242	6,361	15,493	59,839	15,903	84,459	172	110,057	1,347	39	424	42	10,994	2,411	8,522	1,062
-----	----	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-----	---------	-------	----	-----	----	--------	-------	-------	-------

循環利用量	17	7,074	4,880	14,306	57,938	11,744	9,259	84	98,611	1,347	39	424	42	10,994	2,411		
リユース									1,669	891					778		
直接リユース									891	891							
処理後リユース									778						778		
マテリアルリサイクル	17	7,074	4,880	14,306	57,938	11,744	9,259	84	96,942	456	39	424	42	10,994	1,634		
直接マテリアルリサイクル	1	3,464	181	3,276	742	1,950		0	94,348					10,994			
処理後マテリアルリサイクル	17	3,610	4,699	11,030	57,196	9,794	9,259	83	2,595	456	39	424	42		1,634		
減量化量	8					2,127	3,545	84	759							236	282
焼却による減量化量	8							84	759							236	282
脱水・乾燥による減量化量						2,127											
脱水・乾燥による減量化量							3,545										
蒸縮による減量化量																	
自家処理量(注5)																	
最終処分量	7	168	1,481	1,186	1,901	2,032	36	5									
直接最終処分量	2	40	566	735	771	1,785	1	1									
処理後最終処分量	5	128	915	451	1,130	246	35	4									
自然還元量							71,620		10,687							8,208	780
直接自然還元(注3)							71,620		5,900							5,596	304
処理後自然還元(注4)									4,787							2,690	477

注1)燃料化：焼却・固形化等の処理を経たのち、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクル量の内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2)高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3)直接自然還元量：畜舎ふん尿のうち、何らの処理をされることなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される稲わら、まわら、もみらのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。

なお、「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元量」として扱っている。

注4)処理後自然還元量：農業から排出される稲わら、まわら、もみらのうち、畜舎敷料等に利用後に農地に還元された量を「処理後自然還元量」とする。

注5)自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として用いるか、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

表 11 廃棄物等循環利用量の平成23年度確定値(4)

(単位:千t/年)													
廃棄物統計外の個別製品統計データ												鉄源年報、 生産動態 統計	
副産物発生状況等調査: 経済産業省													
農林水産 省農産園 芸局農産 課資料	もみから	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	動植物性 残さ	金属くず	ガラス陶磁 器	鉱さい	動物のふ ん尿	動物の死 体		ばいじん
<b>1. 発生量</b>													
発生量	1,861	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148
<b>2. 区分パターン1</b>													
発生量	1,861	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148
直接循環利用量	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148	
直接リユース小計													
製品リユース													
部品リユース													
直接マテリアルリサイクル小計	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148	
燃料化(注1)	267	170											
製品化(コンポスト)													
製品化(建設資材)									17,265				
素材原料(鉄・非鉄金属)													31,148
素材原料(その他製品原料)			202	4,919	1,495		5,120	659	16,568			1,962	
土壌改良・還元・土地造成						1,363			2,212				
中和剤など													
高炉還元(注2)													
直接自然還元量(注3)													
直接最終処分量													
埋立処分													
海洋投入処分													
自家処理量(注5)													
プロセス1の量(中間処理等の量)	1,861												
減量化量	241												
焼却による減量化量	241												
脱水・乾燥による減量化量													
濃縮による減量化量													
処理後循環利用量													
処理後リユース小計													
製品リユース													
部品リユース													
処理後マテリアルリサイクル小計													
燃料化(注1)													
製品化(コンポスト)													
製品化(建設資材)													
素材原料(鉄・非鉄金属)													
素材原料(その他製品原料)													
土壌改良・還元・土地造成													
中和剤など													
処理後自然還元量(注4)	1,620												
処理後最終処分量													
埋立処分													
海洋投入処分													
うちプロセス2の量(焼却処理量)	241												
直接焼却													
処理後焼却	241												
焼却による減量化量	241												
焼却処理後循環利用量													
焼却処理後リユース小計													
製品リユース													
部品リユース													
焼却処理後マテリアルリサイクル小計													
製品化(建設資材)													
素材原料(鉄・非鉄金属)													
素材原料(その他製品原料)													
土壌改良・還元・土地造成													
中和剤など													
焼却処理後最終処分量													
埋立処分													
海洋投入処分													
<b>3. 区分パターン2</b>													
発生量	1,861	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148
循環利用量	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148	
リユース													
直接リユース													
処理後リユース													
マテリアルリサイクル	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148	
直接マテリアルリサイクル	267	372	4,919	1,495	1,363	5,120	659	36,045	4	1	1,962	31,148	
処理後マテリアルリサイクル													
減量化量	241												
焼却による減量化量	241												
脱水・乾燥による減量化量													
濃縮による減量化量													
自家処理量(注5)													
最終処分量													
直接最終処分量													
処理後最終処分量													
自然還元量	1,620												
直接自然還元量(注3)													
処理後自然還元量(注4)	1,620												

注1 燃料化：破砕・固形化等の処理を経たのち、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクルの内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2 高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3 直接自然還元量：畜畜ふん尿のうち、何らの処理をされることなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。

なお、「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元量」として扱っている。

注4 処理後自然還元量：農業から排出される稲わら、麦わら、もみからのうち、畜畜敷料等に利用後に農地に還元された量を「処理後自然還元量」とする。

注5 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として用いるか、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

## 2.6 平成24年度速報値算出時に推計を行った品目（廃棄物等の「等」のアルミ缶）

平成 24 年度速報値を算出するにあたり、廃棄物等の「等」のアルミ缶の統計値が入手できない見込みであることから、平成 24 年度で定めた方法で等のアルミ缶の量を推計した。アルミ缶を推計するにあたっては、「アルミ缶材出荷量」を経済活動指標として用いる方法と、「使用済み飲料缶 (UBC) 価格」を経済活動指標として用いる方法がある。これらの経済活動指標について以下の検討を行うとともに、等のアルミ缶の平成 24 年度速報値を推計した。

### (1) アルミ缶材出荷量について

現在、アルミ缶の活動指標として用いている「アルミ缶材出荷量」の定義等は以下のとおりである。

#### 【アルミ缶材出荷量の定義・把握方法】

- ・公表元：一般社団法人 日本アルミニウム協会
- ・定義：
  - ・「アルミ缶材出荷量」は、日本国内のアルミ圧延メーカーからアルミ缶材向けに国内出荷されたアルミ圧延品の量。
    - ・海外から輸入されたアルミ圧延品の量は含んでいない。
    - ・海外に輸出されるアルミ圧延品の量は含んでいない。
- ・把握方法：日本国内のアルミ圧延メーカーに対して行った調査により把握（協会非会員を含む。全国値に対するカバー率は 95%程度。）

※日本アルミニウム協会へのヒアリング結果より。

### (2) 国産アルミ缶出荷重量、輸入アルミ缶重量、輸出アルミ缶重量について

アルミ缶リサイクル協会では、アルミ圧延品を加工して国内で生産されたアルミ缶の出荷重量、輸出されるアルミ缶重量、輸入されるアルミ缶重量について推計を行っている。各値の把握方法等は以下のとおりである。

#### 【国産アルミ缶出荷重量、輸入アルミ缶重量、輸出アルミ缶重量の把握方法】

- ・公表元：アルミ缶リサイクル協会
- ・把握方法：対象年の 1 月 1 日～12 月 31 の国産缶出荷缶数、輸入缶数および輸出缶数を他機関の調査報告及び統計資料から把握。上記で得られた缶数に、アルミ缶リサイクル協会が行なった調査及び統計資料から得られた1缶あたりの重量をかけて算出。

※「平成 24 年 (2012 年) 度飲料用アルミ缶リサイクル率 (再生利用率) について」(アルミ缶リサイクル協会) より。

### (3) アルミ缶材出荷量と輸出入されるアルミ缶重量の比較

平成 18～24 年度のアルミ缶材出荷量と、アルミ缶リサイクル協会が推計した国産アルミ缶出荷重量、輸入アルミ缶重量、輸出アルミ缶重量の推移を下記図 5、表 12 に整理した。輸入アルミ缶重量は、アルミ缶材出荷量の 0.9～2.7%程度（国産アルミ缶出荷重量の 1.2～3.8%程度）、輸出アルミ缶重量はアルミ缶材出荷量の 0.1～0.3%程度（国産アルミ缶出荷重量の 0.2～0.4%程度）であった。

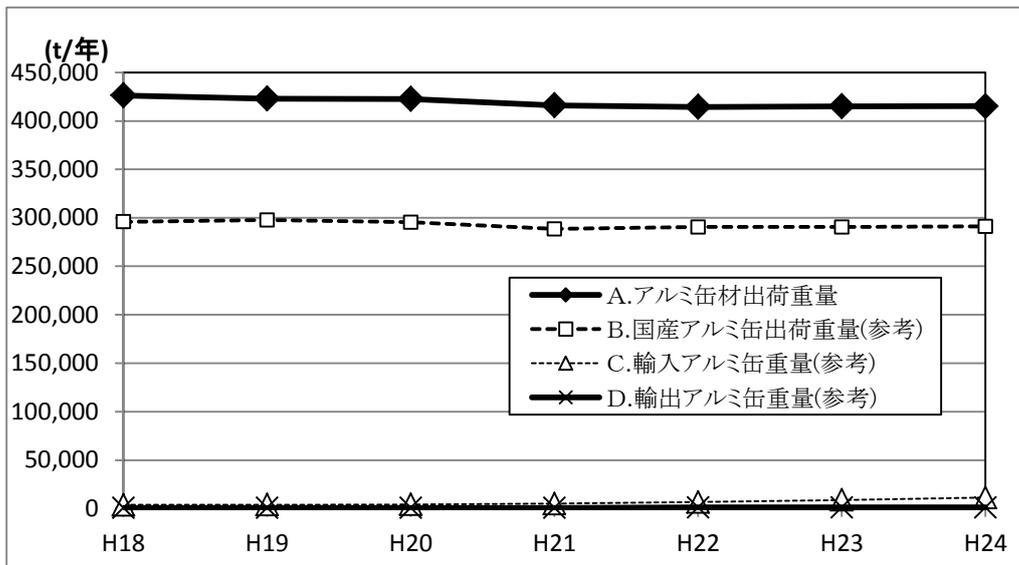


図 5 アルミ缶材出荷重量、国産アルミ缶出荷重量、輸出入アルミ缶重量の推移

表 12 アルミ缶材出荷重量、国産アルミ缶出荷重量、輸出入アルミ缶重量の推移 単位:t/年

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
①アルミ缶材出荷量	426,225	422,950	422,567	415,987	414,432	415,027	415,317
②国産アルミ缶出荷重量(参考)	295,921	297,781	295,361	288,521	290,460	290,526	291,156
③輸入アルミ缶重量(参考)	3,640	3,780	4,200	5,040	6,720	8,820	11,200
(③/①)	0.9%	0.9%	1.0%	1.2%	1.6%	2.1%	2.7%
(③/②)	1.2%	1.3%	1.4%	1.7%	2.3%	3.0%	3.8%
④輸出アルミ缶重量(参考)	561	561	561	561	1,122	1,122	1,122
(④/①)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.3%
(④/②)	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.4%	0.4%

出典)・アルミ缶材出荷量:日本アルミニウム協会資料

・国産アルミ缶出荷重量、輸入アルミ缶重量、輸出アルミ缶重量:「飲料用アルミ缶リサイクル率(再生利用率)について」(アルミ缶リサイクル協会) ※缶数に1缶あたりの設定重量を乗じて求めた推計値

注) 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量推計の経済活動指標としている「A.アルミ缶材出荷量」は成型前の缶材の出荷重量であり、アルミ缶リサイクル協会が推計している「B.国産アルミ缶出荷重量」は、アルミ缶に成型後の出荷重量である。日本アルミニウム協会へのヒアリングによると、アルミ缶材からアルミ缶を製造する際には、20%程度の材料のロスが生じるとのことである。

「B.国産アルミ缶出荷重量」は、1缶あたりの推定重量に一律にアルミ缶出荷本数を乗じて推計した推計値である。対して「A.アルミ缶材出荷量」は年度ごとに圧延メーカーに対する調査で把握(カバー率95%)した実績値であることから、経済活動指標としては調査で把握された実績値である「A.アルミ缶材出荷量」を選定した。

#### (4) 等のアルミ缶の発生量の変動要因

廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量が平成 17 年度、平成 19 年度でピークを示している理由を確認するため、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の推移を図 6 に、推計に用いた経済活動指標の使用済み飲料缶の価格の推移を図 7 に、アルミ缶材出荷量の推移を図 8 に示した。平成 18 年度以降では、廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量は、1 年前の使用済み飲料缶価格の推移と概ね整合している。ただし廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の平成 17 年度のピークと平成 16 年度の使用済み飲料缶価格は整合していない。

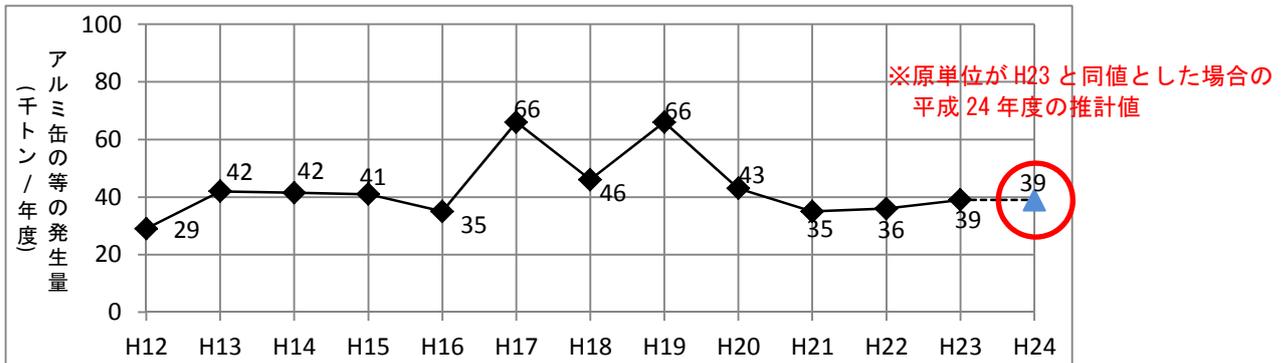
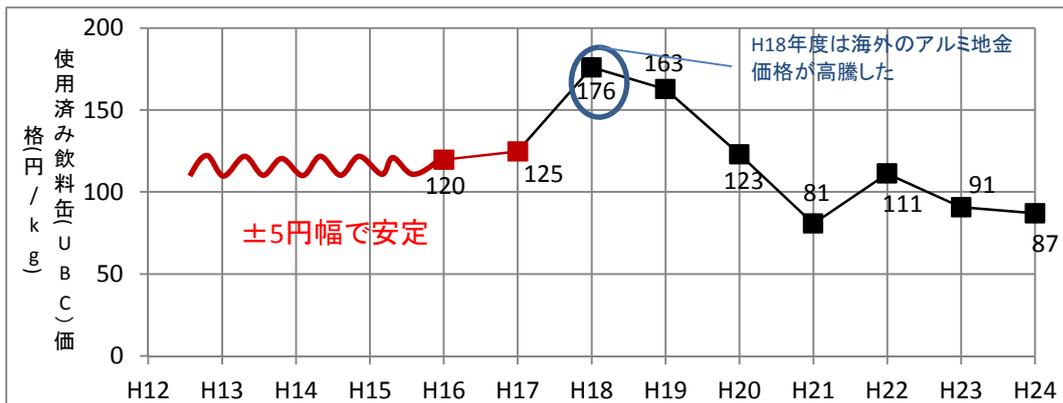


図 6 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量



(注) 日刊市況通信社へのヒアリングから、①H17 年値から H18 年値は 50 円程度上昇(海外のアルミ地金価格高騰のため)、②H16 年値から H17 年値は 5 円程度上昇、③H16 年値以前は±5 円で安定との回答があった。

図 7 使用済み飲料缶価格

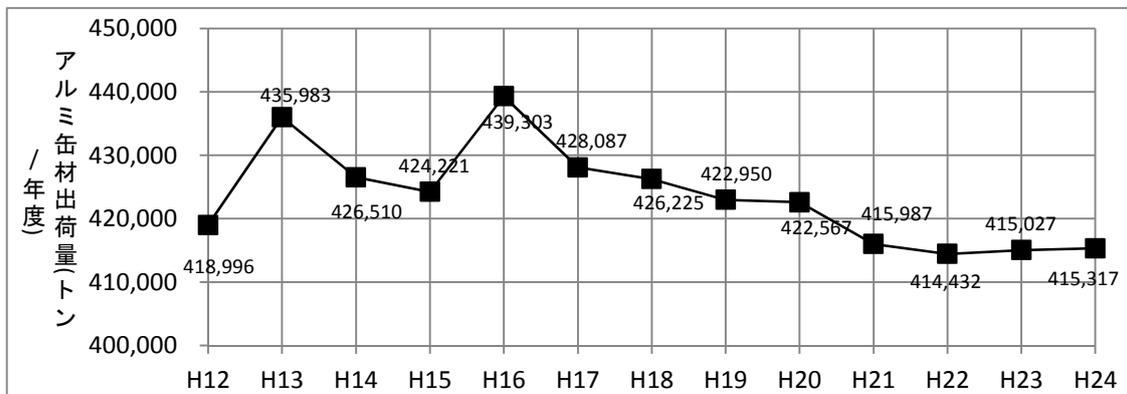


図 8 アルミ缶材出荷量の推移(推計に利用した経済活動指標)

(5) 「輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量」及び「使用済み飲料缶価格（1年度遅らせて適用）」を経済活動指標とした廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値推計

#### (7) 概要

経済活動指標(①アルミ缶材出荷量、②使用済み飲料缶(UBC)価格)に加え、輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量を経済活動指標として、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値の推計を行う。

また平成18年度以降、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量と1年前の使用済み飲料缶価格の推移が概ね整合していたことから、使用済み飲料缶(UBC)価格について、価格が市場に与える影響のタイムラグを考慮し、1年度遅らせて指標を適用し、推計を行う。

#### (イ) 「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値算出に使用する基データ

##### 活動量

循環利用量調査で算出した「等」のアルミ缶の平成18年度～平成23年度の発生量確定値

##### 経済活動指標

経済活動指標として以下の4つの経済活動指標で今後、推計を行い、より推計結果が良好な(=乖離率が低い)経済活動指標を選択することとする。

経済活動指標①：アルミ缶材出荷量

経済活動指標②：使用済み飲料缶(UBC)価格

経済活動指標③：アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)※

経済活動指標④：使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)

※アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)=アルミ缶材出荷量(一般社団法人 日本アルミニウム協会)

－輸出アルミ缶重量(アルミ缶リサイクル協会)+輸入アルミ缶重量(アルミ缶リサイクル協会)

(ウ) 平成24年度速報値算出に用いる原単位についての外れ値の検討

「等」のアルミ缶の平成24年度速報値算出を行うにあたり、算出に用いる平成18年度から平成22年度間の原単位（＝活動量／経済活動指標）について<sup>3</sup>、表13～表16に示したとおり外れ値候補の有無について検討を行った結果<sup>4</sup>、外れ値候補となるデータはなかった。

表13 アルミ缶材出荷量を用いた原単位の外れ値候補の判定

経済活動指標①：アルミ缶材出荷量

年度	活動量	経済活動指標①	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値  原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:トン	単位:トン/トン	単位:トン/トン				
H18	46	426,225	0.10792	0.10735	0.00058	0.02593	0.02	
H19	66	422,950	0.15605		0.04870		1.88	
H20	43	422,567	0.10176		0.00559		0.22	
H21	35	415,987	0.08414		0.02321		0.90	
H22	36	414,432	0.08687		0.02048		0.79	
H23	39	415,027	0.09397					

表14 使用済み飲料缶(UBC)価格を用いた原単位の外れ値候補の判定

経済活動指標②：使用済み飲料缶(UBC)価格

年度	活動量	経済活動指標② デフレーター処理前	デフレーター	経済活動指標② デフレーター処理後	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値  原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:円/kg		単位:円/kg	単位:千トン/ (円/kg)	単位:千トン/ (円/kg)				
H18	46	176	102.52	180	0.25495	0.34063	0.08568	0.05849	1.46	
H19	66	163	104.87	171	0.38671		0.04608		0.79	
H20	43	123	108.22	133	0.32305		0.01758		0.30	
H21	35	81	102.57	83	0.42259		0.08196		1.40	
H22	36	111	102.46	114	0.31583		0.02479		0.42	
H23	39	91	105.11	95	0.40887					

表15 輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量を用いた原単位の外れ値候補の判定

経済活動指標③：輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量

年度	活動量	経済活動指標③	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値  原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:トン	単位:トン/トン	単位:トン/トン				
H18	46	429,304	0.10715	0.10637	0.00078	0.02586	0.03	
H19	66	426,169	0.15487		0.04850		1.88	
H20	43	426,206	0.10089		0.00548		0.21	
H21	35	420,466	0.08324		0.02313		0.89	
H22	36	420,030	0.08571		0.02066		0.80	
H23	39	422,725	0.09226					

表16 使用済み飲料缶(UBC)価格を用いた原単位の外れ値候補の判定(1年度遅らせて適用)

経済活動指標④：使用済み飲料缶(UBC)(1年度遅らせて適用)

年度	活動量	経済活動指標④ デフレーター処理前	デフレーター	経済活動指標④ デフレーター処理後	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値  原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:円/kg		単位:円/kg	単位:千トン/ (円/kg)	単位:千トン/ (円/kg)				
H18	46	125	100.53	126	0.36608	0.33629	0.02979	0.06918	0.43	
H19	66	178	102.52	180	0.36579		0.02951		0.43	
H20	43	163	104.87	171	0.25195		0.08434		1.22	
H21	35	123	108.22	133	0.26295		0.07334		1.06	
H22	36	81	102.57	83	0.43466		0.09838		1.42	
H23	39	111	102.46	114	0.34215					

<sup>3</sup> 平成23年度の原単位を外れ値の検討対象から外した理由

平成24年度速報値の算出にあたっては、活動量が入手できる最新年度(平成23年度)の原単位(活動量／経済活動指標)を過去の年度(平成22年度以前)の原単位を用いて複数の手法で推計し、最新年度の原単位の推計精度が最も高い推計手法を選択するため、平成23年度の原単位は外れ値の検討対象外とした。

<sup>4</sup> 外れ値候補の検討方法

|原単位-原単位平均値|を残差とした時、標準化残差(＝残差/原単位の標準偏差)が2以上である(95%信頼区間に入らない)場合、その原単位を外れ値候補とする。外れ値候補となった年度の活動量及び経済活動指標の調査対象に、その年度特有の変更点(調査対象の変更など)など明確に外れ値とすべき理由がある場合や専門家の判断により外れ値として除外する。

(I) 平成24年度速報値の算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果

平成 24 年度速報値の算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果を以下に示す。  
 なお、具体的な選定手順は「5.2 平成 24 年度速報値（廃棄物等の「等」のアルミ缶）の算出方法と算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定手順」参照のこと。

①過去年度（～平成 23 年度）原単位を用いた推計手法別の乖離率の算出結果

追加した 2 つの経済活動指標について、推計手法別の「等」のアルミ缶発生量の平成 23 年度原単位、原単位を用いた推計値、及び乖離率を示す。

アルミ缶材出荷量を経済活動指標として用いた平成 23 年度原単位の推計値及び乖離率

推計手法 A による原単位及び、推計手法 B 及び推計手法 C におけるモデル式別の原単位を表 17 に示した。推計手法 B では反比例式が、推計手法 C では成長式が最も決定係数が高い最適なモデル式として選択された。

表 17 アルミ缶材出荷量を経済活動手法とした原単位の各手法における決定係数の推計結果

経済活動指標①：アルミ缶材出荷量

年度	原単位 確定値	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B				推計手法C					
			3ヶ年の推計式				5ヶ年の推計式					
			直線式 B-1	指数曲線式 B-2	反比例式 B-3	成長式 B-4	直線式 C-1	指数曲線式 C-2	反比例式 C-3	成長式 C-4		
H18	0.107924								0.130152	0.129098	0.124344	0.135103
H19	0.156047								0.118749	0.116208	0.108702	0.124560
H20	0.101759		0.098367	0.098062	0.099723	0.099513	0.107347	0.104606	0.103488	0.112311		
H21	0.084137		0.090921	0.090602	0.089567	0.092352	0.095944	0.094162	0.100881	0.098741		
H22	0.086866		0.083474	0.083710	0.083473	0.082291	0.084541	0.084761	0.099317	0.084477		
H23	0.093970	0.086866	0.076028	0.077342	0.079410	0.069440	0.073139	0.076298	0.098275	0.070287		
定数 a			-0.007447	0.124332	0.121878	-0.529927	-0.011403	0.143416	0.031283	-0.334709		
定数 b			0.120707	-0.079121	0.059097	-3.670644	0.141555	-0.105183	0.093061	-1.642115		
K 値						0.111935				0.171651		
決定係数			0.6164	0.6384	0.7491	0.5206	0.3868	0.3646	0.1225	0.4102		
決定係数の順位		1	3	2	1	4	2	3	4	1		

表 17 の原単位を用いて「等」のアルミ缶発生量の平成 23 年度値を推計した結果、表 18 に示したとおり、アルミ缶材出荷量を用いて推計した場合は推計手法A(昨年度原単位を利用)が最も乖離率が低かった

表 18 アルミ缶材出荷量のH23年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア)	経済活動指標	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A	B-3	C-4	A	B-3	C-4	A	B-3	C-4
	千トン	トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	%	%	%
H23	39.0	415,027	36.1	33.0	29.2	-2.9	-6.0	-9.8	7.6%	15.5%	25.2%

使用済み飲料缶(UBC)価格を経済活動指標として用いた平成 23 年度原単位の推計値及び乖離率

推計手法 A による原単位及び、推計手法 B 及び推計手法 C におけるモデル式別の原単位を表 19 に示した。推計手法 B では反比例式が、推計手法 C では成長式が最も決定係数が高い最適なモデル式として選択された。

表 19 使用済み飲料缶(UBC)価格を経済活動手法とした原単位の  
各手法における決定係数の推計結果

経済活動指標②：使用済み飲料缶(UBC)価格

年度	原単位	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B 3ヶ年の推計式				推計手法C 5ヶ年の推計式				
			直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	
			B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	
H18	0.254947										
H19	0.386710					0.379010	0.378075	0.380099	0.382028		
H20	0.323050		0.357433	0.354640	0.348532	0.367506	0.367700	0.365481	0.363305	0.374530	
H21	0.422590		0.353824	0.350656	0.354638	0.364697	0.356390	0.353305	0.354908	0.366527	
H22	0.315831		0.350215	0.346716	0.358301	0.361829	0.345081	0.341536	0.349869	0.358018	
H23	0.408866	0.315831	0.346605	0.342821	0.360744	0.358903	0.333771	0.330158	0.346510	0.349005	
定数 a			-0.003609	0.366867	-0.073273	-0.036125	-0.011310	0.404582	0.100766	-0.106494	
定数 b			0.368260	-0.011299	0.372956	-1.436871	0.401629	-0.033880	0.329716	-1.741804	
K 値						0.464849				0.464849	
決定係数			0.0037	0.0033	0.0068	0.0044	0.0806	0.0786	0.0664	0.0845	
決定係数の順位		1	3	4	1	2	2	3	4	1	

輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量を経済活動指標として用いた平成 23 年度原単位の推計値及び乖離率

推計手法 A による原単位及び、推計手法 B 及び推計手法 C におけるモデル式別の原単位を表 20 に示した。推計手法 B では反比例式が、推計手法 C では成長式が最も決定係数が高い最適なモデル式として選択された。

表 20 輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量を経済活動手法とした原単位の  
各手法における決定係数の推計結果

経済活動指標③：輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量

年度	原単位 確定値	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B 3ヶ年の推計式				推計手法C 5ヶ年の推計式				
			直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	
			B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	
H18	0.107150										
H19	0.154868						0.117823	0.115289	0.107739	0.123596	
H20	0.100890		0.097537	0.097234	0.098892	0.098672	0.106372	0.103617	0.102479	0.111314	
H21	0.083241		0.089946	0.089620	0.088570	0.091403	0.094920	0.093127	0.099849	0.097703	
H22	0.085708		0.082355	0.082602	0.082377	0.081139	0.083469	0.083699	0.098270	0.083404	
H23	0.092259	0.085708	0.074764	0.076134	0.078249	0.068022	0.072018	0.075225	0.097218	0.069205	
定数 a			-0.007591	0.124181	0.123858	-0.540648	-0.011451	0.142726	0.031563	-0.337884	
定数 b			0.120310	-0.081542	0.057606	-3.703526	0.140725	-0.106740	0.091958	-1.647780	
K 値						0.110979				0.170355	
決定係数			0.6308	0.6534	0.7620	0.5340	0.3921	0.3692	0.1254	0.4158	
Rank関数の順位		1	3	2	1	4	2	3	4	1	

表 20 の原単位を用いて「等」のアルミ缶発生量の平成 23 年度値を推計した結果、表 21 に示したとおり、アルミ缶材出荷量を用いて推計した場合は推計手法 A (昨年度原単位を利用) が最も乖離率が低かった

表 21 輸出入アルミ缶重量を考慮したアルミ缶材出荷量の H23 年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア) 千トン	経済活動指標 トン	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A 千トン	B-3 千トン	C-4 千トン	A 千トン	B-3 千トン	C-4 千トン	A %	B-3 %	C-4 %
H23	39.0	422,725	36.2	33.1	29.3	-2.8	-5.9	-9.7	7.1%	15.2%	25.0%

使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)を経済活動指標として用いた平成 23 年度原単位の推計値及び乖離率

推計手法 A による原単位及び、推計手法 B 及び推計手法 C におけるモデル式別の原単位を表 22 に示した。推計手法 B では指数曲線式が、推計手法 C では反比例式が最も決定係数が高い最適なモデル式として選択された。

表 22 使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)を経済活動手法とした原単位の各手法における決定係数の推計結果

経済活動指標④ : 使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)

年度	原単位	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B 3ヶ年の推計式				推計手法C 5ヶ年の推計式			
			直線式 B-1	指数曲線式 B-2	反比例式 B-3	成長式 B-4	直線式 C-1	指数曲線式 C-2	反比例式 C-3	成長式 C-4
			H18	0.366078					0.329421	0.328148
H19	0.365794					0.332854	0.328586	0.338116	0.336895	
H20	0.251947		0.225161	0.233358	0.226674	0.212042	0.336286	0.329025	0.331078	0.349078
H21	0.262947		0.316520	0.306510	0.330342	0.336991	0.339719	0.329464	0.327559	0.360576
H22	0.434664		0.407878	0.402593	0.392542	0.419492	0.343151	0.329904	0.325447	0.371364
H23	0.342151	0.434664	0.499236	0.528796	0.434009	0.456818	0.346584	0.330344	0.324040	0.381427
定数 a			0.091358	0.102981	-1.244010	1.097354	0.003433	0.327711	0.042229	0.125730
定数 b			-0.048914	0.272676	0.641344	3.519109	0.325989	0.001334	0.317002	-0.617886
K 値						0.478130				0.478130
決定係数			0.7950	0.8542	0.6688	0.6928	0.0049	0.0050	0.0314	0.0018
Rank関数の順位		1	2	1	4	3	3	2	1	4

表 23 に示したとおり、使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)を用いて推計した場合は推計手法 C (反比例式) が最も乖離率が低かった。

表 23 使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)の H23 年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア) 千トン	経済活動 指標 円/kg	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A 千トン	B-2 千トン	C-3 千トン	A 千トン	B-2 千トン	C-3 千トン	A %	B-2 %	C-3 %
H23	39.0	114	49.5	60.3	36.9	10.5	21.3	-2.1	27.0%	54.6%	5.3%

②平成 24 年度速報値算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果

表 24 より、経済活動指標①～④を比較した結果、最も乖離率が低いのは、経済活動指標④使用済み飲料缶 (UBC) 価格を 1 年度遅らせて適用して、推計手法 C-3 (5 カ年の反比例式) で推計した場合の原単位となった。

なおアルミ缶材出荷量に輸出入量を考慮した経済活動指標③については、経済活動指標①アルミ缶材出荷量より各推計式とも乖離率が低下し、推計精度が向上した。

表 24 各経済活動指標の乖離率の比較

	経済活動指標① アルミ缶材出荷量 (原単位の単位：トン/トン)			経済活動指標② 使用済み飲料缶 (UBC) 価格 (原単位の単位：千トン/(円/kg))			経済活動指標③ 輸出入アルミ缶重量を考慮した アルミ缶材出荷量 (原単位の単位：トン/トン)			経済活動指標④ 使用済み飲料缶 (UBC) 価格 (1年度遅らせて適用) (原単位の単位： 千トン/(円/kg))		
	A	B-3	C-4	A	B-3	C-4	A	B-3	C-4	A	B-2	C-3
原単位	0.08687	0.07941	0.07029	0.31583	0.36074	0.37712	0.08571	0.07825	0.06921	0.43466	0.52880	0.32404
乖離率	7.6%	15.5%	25.2%	22.8%	11.8%	7.8%	7.1%	15.2%	25.0%	27.0%	54.6%	5.3%
選択												●

以上より、平成 24 年度速報値の算出手法は下記式のとおり決定した。

平成 24 年度速報値(「等」のアルミ缶の発生量)

＝5カ年の反比例式で推計した原単位(経済活動指標として使用済み飲料缶(UBC)

価格(1 年度遅らせて適用)を用いる)

×平成 24 年度の経済活動指標(使用済み飲料缶(UBC)価格(1 年度遅らせて適用))

(オ) 平成24年度速報値の算出結果

表 25 のとおり、使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)を経済活動指標とした原単位を推計手法C-3(5カ年の反比例式)により推計した結果は 0.367281 千t/(円/kg)となり、平成24年度経済活動指標 91(円/kg)に乗じた結果、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度速報値は33千トンとなった。

表 25 平成24年度速報値の算出結果

原単位	経済活動指標④ 使用済み飲料缶 (UBC)価格(1年度遅 らせて適用) 平成24年度値	「等」のアルミ缶発生量の 平成24年度速報値
千トン/(円/kg)	円/kg	千トン
0.367281	91	33

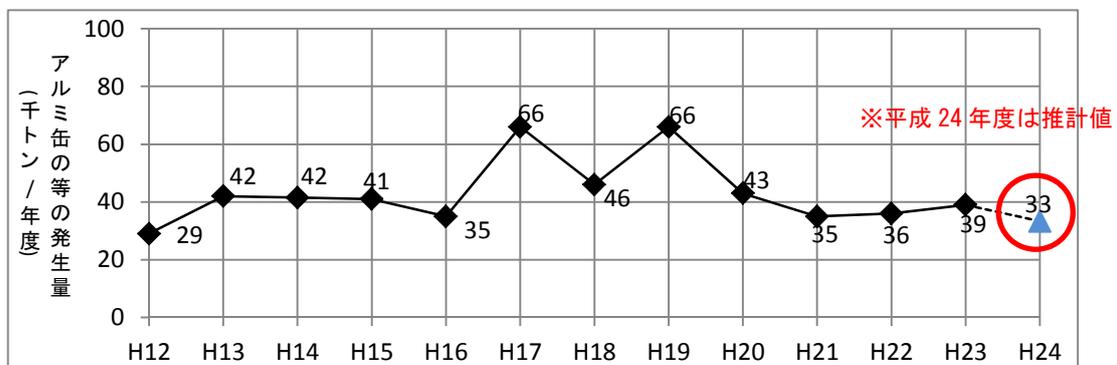


図 9 アルミ缶の等の発生量の推移及び推計値(平成24年度)

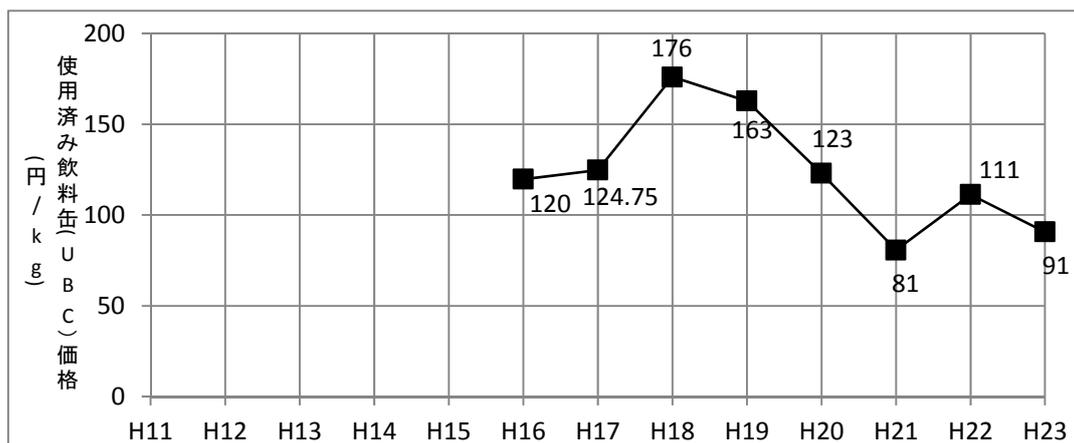


図 10 使用済み飲料缶(UBC)価格の推移(推計に利用した経済活動指標)

### 3 精度向上対応

#### 3.1 一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出方法

##### (1) 算出方法の概要

平成24年度一般廃棄物処理事業実態調査（平成23年度実績）」（以下、「一廃統計（平成23年度実績）」と言う）から、一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値を算出する方法は、昨年度（平成23年度速報値時点）の算出方法を基とし、下記の手順で行う。

##### (7) 一廃統計（平成23年度実績）の収集区分に基づく一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出

本調査における一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出では、GHG インベントリ用途を踏まえ、一廃統計における29の収集区分別<sup>5</sup>に発生量、循環利用量、減量化量、最終処分量等の推計を行う。

一廃統計（平成23年度実績）における一般廃棄物（災害廃棄物）の調査結果では、表26に示したとおり、搬入量及び資源化量については、収集区分合計及び収集区分別に値が把握できるが、焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量及び最終処分量については、収集区分合計しか把握できない。

このため、本調査では、収集区分合計値しか把握できない焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却処理量及び最終処分量について、収集区分別に把握されている量を用いて収集区分別内訳比率を作成し、収集区分別合計値に乗じて按分を行う。

得られた収集区分別のごみ処理状況を、本調査における算出結果の取りまとめ形式に従って集計して一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値を算出する。

##### (4) 一廃統計の（平成23年度実績）の収集区分のうち、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目への按分

一廃統計（平成23年度実績）の収集区分のうち、「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」については、地方公共団体における東日本大震災により発生した一般廃棄物（災害廃棄物）に関する公表資料等から、ごみ処理状況に応じた品目別内訳比率を設定して内訳品目への按分を行う。

表 26 一廃統計から把握できる量と収集区分の関係

一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	
搬入量	直接資源化	●	●	
	直接埋立	●	●	
	海洋投入	●	●	
	中間処理施設	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
その他の施設	●	●		
焼却施設（直接焼却）	●	●		
焼却施設以外の中間処理における中間処理	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
	その他の施設	●	●	
	直接焼却	●	●	
	処理後焼却量	●	●	
資源化量	直接資源化量	●	●	
	処理後再生利用量	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
		焼却施設	●	●
		直接最終処分量（海洋投入含む）	●	●
最終処分量	中間処理施設後残渣	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
		その他の施設	●	●
		焼却施設	●	●

●：一廃統計で値が把握できる量

<sup>5</sup> 一廃統計における一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分は、「木くず」「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」「石綿含有廃棄物等」「PCB廃棄物」「有害物、危険物」「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「家電4品目」「パソコン」「自動車」「FRP船」「鋼船」「その他船舶」「畳」「漁網」「タイヤ」「その他家電」「消火器」「ガスボンベ」「土石類」「津波堆積物」「その他」「海洋投入」「漂着ごみ」



(イ)一廃統計（平成23年度実績）の取りまとめと循環利用量調査における平成23年度確定値算出のために必要な推計項目の関係

一廃統計(平成 23 年度実績)の取りまとめと、循環利用量調査における平成 23 年度確定値算出のために必要な推計項目の対応関係を表 28 に示す。

表 28 一廃統計における整理と、循環利用量調査における整理との関係

一廃統計(平成23年度実績)における整理

循環利用量調査における平成23年度確定値算出過程での整理

対応番号	一廃統計(平成23年度実績)の一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況
	直接資源化
	直接埋立
	海洋投入
	搬入量
	中間処理施設
	粗大ごみ処理施設
	ごみ堆肥化施設
	ごみ飼料化施設
	メタン化施設
	ごみ燃料化施設
	資源化等を行う施設
	セメント等への直接投入
	その他の施設
No.1	焼却施設(直接焼却)
No.2	粗大ごみ処理施設
No.3	ごみ堆肥化施設
No.4	ごみ飼料化施設
No.5	メタン化施設
No.6	ごみ燃料化施設
No.7	資源化等を行う施設
No.8	セメント等への直接投入
No.9	その他の施設
No.10	焼却施設
No.11	粗大ごみ処理施設
No.12	ごみ堆肥化施設
No.13	ごみ飼料化施設
No.14	メタン化施設
No.15	ごみ燃料化施設
No.16	資源化等を行う施設
No.17	セメント等への直接投入
No.18	その他の施設
No.19	直接資源化量
No.20	粗大ごみ処理施設
No.21	ごみ堆肥化施設
No.22	ごみ飼料化施設
No.23	メタン化施設
No.24	ごみ燃料化施設
No.25	資源化等を行う施設
No.26	セメント等への直接投入
No.27	焼却施設
No.28	直接最終処分量(海洋投入含む)
No.29	粗大ごみ処理施設
No.30	ごみ堆肥化施設
No.31	ごみ飼料化施設
No.32	メタン化施設
No.33	ごみ燃料化施設
No.34	資源化等を行う施設
No.35	セメント等への直接投入
No.36	その他の施設
	最終処分量
	焼却施設

対応記号	循環利用量調査における算出過程での整理
(あ)	発生量
	No.18 + No.27+ No.1+No.2+No.3+No.4+No.5+No.6+No.7+No.8+No.9
(い)	循環利用量
	No.18 + No.19+No.20+No.21+No.22+No.23+No.24+No.25+No.26
	直接循環利用量
	No.18
	処理後循環利用量
	No.19+No.20+No.21+No.22+No.23+No.24+No.25+No.26
	焼却施設
	No.26
	粗大ごみ処理施設
	No.19
	ごみ堆肥化施設
	No.20
	ごみ飼料化施設
	No.21
	メタン化施設
	No.22
	ごみ燃料化施設
	No.23
	その他の資源化等を行う施設
	No.24
	セメント等への直接投入
	No.25
(う)	最終処分量
	No.27+No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	直接最終処分量
	No.27
	埋立処分
	No.27按分
	海洋投入処分
	No.27按分
	処理後最終処分量
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	埋立処分
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	焼却処理後
	No.36
	焼却以外の中間処理後
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35
	焼却処理量
	No.9+No.10+No.11+No.12+No.13+No.14+No.15+No.16+No.17
	直接焼却
	No.9
	処理後焼却
	No.10+No.11+No.12+No.13+No.14+No.15+No.16+No.17
	減量化量 <sup>注1)</sup>
	(あ)-{(い)+(う)}

※「減量化量」は(あ)発生量- [(い)循環利用量+(う)最終処分量]で算出する。

※直接最終処分量の埋立処分及び海洋投入処分は下記の様に按分した。

- 一廃統計の直接最終処分量(海洋投入含む)の合計量を、一廃統計の搬入量ベースの埋立処分合計値と海洋投入処分合計値で按分する。  
埋立処分=直接最終処分量(海洋投入含む)×埋立処分/(埋立処分+海洋投入)  
海洋投入=直接最終処分量(海洋投入含む)×海洋投入/(埋立処分+海洋投入)
- 埋立処分の合計量と海洋投入の合計量と、搬入量から作成したそれぞれの内訳比率を乗じて収集区分別に按分する。

(3) 収集区分別の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量の推計

(7) 焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量を収集区分別に按分する収集区分別内訳比率の設定方法

収集区分別の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量の推計については、収集区分別に値が把握できる搬入量又は資源化量を基に設定した(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率又は(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率のいずれかを用いて、収集区分別の量への按分を行う。

(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率の推計式

収集区分別内訳比率  $A_i$  = ごみ処理状況  $i$  の収集区分別搬入量 / ごみ処理状況  $i$  の搬入量合計

$i$  : 直接最終処量(海洋投入含む)、粗大ごみ処理施設への搬入量、ごみ堆肥化施設への搬入量、ごみ飼料化施設への搬入量、メタン化施設への搬入量、ごみ燃料化施設への搬入量、資源化等を行う施設への搬入量、セメント等への直接投入、その他の施設、焼却施設(直接焼却)

(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率の推計式

収集区分別内訳比率  $B_j$  = 中間処理施設  $j$  の収集区分別処理後再生利用量 / 中間処理施設  $j$  の処理後再生利用量計

$j$  : 粗大ごみ処理施設、ごみ堆肥化施設、ごみ飼料化施設、メタン化施設、ごみ燃料化施設、資源化等を行う施設、セメント等への直接投入、焼却施設(直接焼却)

表 29 (再掲) 一廃統計(平成 23 年度実績)から把握できる値と収集区分の関係

一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	
搬入量	直接資源化	●	●	
	直接埋立	●	●	
	海洋投入	●	●	
	中間処理施設	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
		その他の施設	●	●
焼却施設(直接焼却)		●	●	
焼却施設以外の中間処理施設における焼却量		粗大ごみ処理施設	●	●
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
	その他の施設	●	●	
	直接焼却	●	●	
	焼却施設での処理量	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
ごみ飼料化施設		●	●	
メタン化施設		●	●	
ごみ燃料化施設		●	●	
資源化等を行う施設		●	●	
セメント等への直接投入		●	●	
その他の施設		●	●	
資源化量	直接資源化量	●	●	
	処理後再生利用量	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
焼却施設	●	●		
最終処分量	直接最終処量(海洋投入含む)	●	●	
	中間処理施設残渣	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
焼却施設	●	●		

●:一廃統計で値が把握できる量

本調査で直接用いる値

表 30 に示したとおり、(A)の搬入量から作成する収集区分別内訳比率は全てのごみ処理状況で用いることができ、(B)の処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率は「その他の施設」及び「直接最終処分量(海洋投入含む)」を除いたごみ処理状況で用いることができる。(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率しか適用できないごみ処理状況については(A)の収集区分別内訳比率を用いることとし、それ以外のごみ処理状況については、(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率と(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率の 2 通りの収集区分別内訳比率を用いることができる。

表 30 作成可能な内訳比率の範囲A1~A11、B1~B8は表 29(再掲)に記載

一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況		(A)搬入量から作成した内訳比率の適用範囲	(B)処理後再生利用量から作成した内訳比率の適用範囲
処理施設以外の中間	粗大ごみ処理施設	A3	B1
	ごみ堆肥化施設	A4	B2
	ごみ飼料化施設	A5	B3
	メタン化施設	A6	B4
	ごみ燃料化施設	A7	B5
	資源化等を行う施設	A8	B6
	セメント等への直接投入	A9	B7
	その他の施設	A10	
	直接焼却	A11	B8
	焼却施設での処理量	粗大ごみ処理施設	A3
ごみ堆肥化施設		A4	B2
ごみ飼料化施設		A5	B3
メタン化施設		A6	B4
ごみ燃料化施設		A7	B5
資源化等を行う施設		A8	B6
セメント等への直接投入		A9	B7
その他の施設		A10	
直接最終処分量(海洋投入含む)		A1, A2	
最終処分量		粗大ごみ処理施設	A3
	ごみ堆肥化施設	A4	B2
	ごみ飼料化施設	A5	B3
	メタン化施設	A6	B4
	ごみ燃料化施設	A7	B5
	資源化等を行う施設	A8	B6
	セメント等への直接投入	A9	B7
	その他の施設	A10	
	焼却施設	A11	B8

収集区分内訳比率の設定方法の基本的な考え方は、以下のとおり。

- ・ (A)搬入量から作成する収集区分内訳比率と (B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を両方適用できる場合にあつて、ごみ処理量の概念が「直接処理に向かった廃棄物量であるもの」については、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用する。
- ・ (A)搬入量から作成する収集区分内訳比率と (B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を両方適用できる場合にあつて、ごみ処理量の概念が「中間処理後の廃棄物量であるもの」については、(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を適用する。
- ・ 搬入量から作成する収集区分内訳比率のみ適用できる場合にあつては、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用する。

平成 23 年度確定値の算出にあつては、上記の考え方に従つて次のとおり設定した。

- ・ 中間処理後に焼却処理に向かった廃棄物量である「焼却以外の中間処理施設における処理量（その他の施設を除く）」及び直接焼却施設に向かった廃棄物量である「直接焼却」は、中間処理施設や焼却施設（直接焼却）に向かった廃棄物量である (A) 搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用した。
- ・ 中間処理後に焼却処理に向かった廃棄物量である「処理後焼却量（その他の施設を除く）」及び中間処理後に最終処分に向かった廃棄物量である「中間処理後残渣（その他の施設を除く）」は、中間処理後に再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量である (B) 処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を適用した。
- ・ 搬入量のデータのみ利用可能である「その他の施設」及び「直接最終処分量」については、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用した。

表 31 一廃統計から把握できる量及びごみ処理量の概念と適用する収集区分別内訳比率の関係

●一廃統計で把握できる量		●一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	ごみ処理量の概念	適用する比率	
搬入量	直接資源化	●	●	●	●	直接資源化に向かった廃棄物量		
	直接埋立	●	●	●	● A1	直接埋立に向かった廃棄物量		
	海洋投入	●	●	●	● A2	海洋投入に向かった廃棄物量		
	中間処理施設	粗大ごみ処理施設	●	●	●	● A3	粗大ごみ処理施設に向かった廃棄物量	
		ごみ堆肥化施設	●	●	●	● A4	ごみ堆肥化施設に向かった廃棄物量	
		ごみ飼料化施設	●	●	●	● A5	ごみ飼料化施設に向かった廃棄物量	
		メタン化施設	●	●	●	● A6	メタン化施設に向かった廃棄物量	
		ごみ燃料化施設	●	●	●	● A7	ごみ燃料化施設に向かった廃棄物量	
		資源化等を行う施設	●	●	●	● A8	資源化等を行う施設に向かった廃棄物量	
		セメント等への直接投入	●	●	●	● A9	セメント等への直接投入に向かった廃棄物量	
		その他の施設	●	●	●	● A10	その他の施設に向かった廃棄物量	
焼却施設(直接焼却)		●	●	●	● A11	焼却施設(直接焼却)に向かった廃棄物量		
焼却以外の中間処理量	粗大ごみ処理施設	●	●	●	●	粗大ごみ処理施設で中間処理に向かった廃棄物量	A3	
	ごみ堆肥化施設	●	●	●	●	ごみ堆肥化施設で中間処理に向かった廃棄物量	A4	
	ごみ飼料化施設	●	●	●	●	ごみ飼料化施設で中間処理に向かった廃棄物量	A5	
	メタン化施設	●	●	●	●	メタン化施設で中間処理に向かった廃棄物量	A6	
	ごみ燃料化施設	●	●	●	●	ごみ燃料化施設で中間処理に向かった廃棄物量	A7	
	資源化等を行う施設	●	●	●	●	資源化等を行う施設で中間処理に向かった廃棄物量	A8	
	セメント等への直接投入	●	●	●	●	セメント等への直接投入に向かった廃棄物量	A9	
	その他の施設	●	●	●	●	その他の施設で中間処理に向かった廃棄物量	A10	
	焼却施設	●	●	●	●	焼却施設に向かった廃棄物量	A11	
	焼却施設での処理量	●	●	●	●	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量	B1	
資源化量	直接資源化量	●	●	●	●	直接資源化に向かった廃棄物量又は資源化量		
	処理後再生利用量	●	●	●	●	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	粗大ごみ処理施設	●	●	●	● B1	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	ごみ堆肥化施設	●	●	●	● B2	ごみ堆肥化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	ごみ飼料化施設	●	●	●	● B3	ごみ飼料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	メタン化施設	●	●	●	● B4	メタン化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	ごみ燃料化施設	●	●	●	● B5	ごみ燃料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
	資源化等を行う施設	●	●	●	● B6	資源化等を行う施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量		
セメント等への直接投入	●	●	●	● B7	セメント等への直接投入後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量			
焼却施設	●	●	●	● B8	焼却施設での焼却処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量			
最終処分量	直接最終処分量(海洋投入含む)	●	●	●	●	直接最終処分に向かった廃棄物量	A1.A2	
	粗大ごみ処理施設	●	●	●	●	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B1	
	ごみ堆肥化施設	●	●	●	●	ごみ堆肥化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B2	
	ごみ飼料化施設	●	●	●	●	ごみ飼料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B3	
	メタン化施設	●	●	●	●	メタン化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B4	
	ごみ燃料化施設	●	●	●	●	ごみ燃料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B5	
	資源化等を行う施設	●	●	●	●	資源化等を行う施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B6	
	セメント等への直接投入	●	●	●	●	セメント等への直接投入後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B7	
その他の施設	●	●	●	●	その他の施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	A10		
焼却施設	●	●	●	●	焼却施設での焼却処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量	B8		

(4) 一廃統計の収集区分のうち、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目への按分

(7) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定方法

一般廃棄物(災害廃棄物)のGHGインベントリ算出については、一廃統計(平成23年度実績)で公表されている一般廃棄物(災害廃棄物)の収集区分別に推計方法の検討が行われるため、本調査における平成23年度確定値の算出では、一廃統計(平成23年度実績)の収集区分別に整理を行っている。

ただし、収集区分のうち「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」については、GHGインベントリにおける利用用途を踏まえ、品目別内訳比率による按分を行う。

按分に必要となる品目別内訳比率と、一廃統計(平成23年度実績)のごみ処理状況の対応関係を表32に示す。中間処理施設、直接最終処分及び直接資源化ごとに、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率を設定することにより、一廃統計(平成23年度実績)における一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況の全て項目について品目別内訳比率が適用可能となり、本調査における平成23年度確定値を品目別に按分することができる。(p.36 表28に示したとおり)。

表 32 品目別内訳比率と、一廃統計における一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況の対応関係

中間処理施設、直接最終処分、直接資源化における収集区分ごとの品目別内訳比率	収集区分				
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
焼却施設	C1	C2	C3	C4	C5
資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5
セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
ごみ飼料化施設					
メタン化施設					
ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
直接最終処分	J1	J2	J3	J4	J5
直接資源化	K1	K2	K3	K4	K5

※ごみ飼料化施設及びメタン化施設については、一般廃棄物(災害廃棄物)では一廃統計上値が計上されていない。

一廃統計における一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況	収集区分					
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	
処理施設以外の処理における中間	粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
	ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
	ごみ飼料化施設					
	メタン化施設					
	ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
	資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
	セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
	その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5
	直接焼却	C1	C2	C3	C4	C5
	粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
焼却施設での処理量	ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
	ごみ飼料化施設					
	メタン化施設					
	ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
	資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
	セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
	その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5
	直接資源化量	K1	K2	K3	K4	K5
	粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
	ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
資源化量	ごみ飼料化施設					
	メタン化施設					
	ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
	資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
	セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
	焼却施設	C1	C2	C3	C4	C5
	直接最終処分量	J1	J2	J3	J4	J5
	粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
	ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
	最終処分量	ごみ飼料化施設				
メタン化施設						
ごみ燃料化施設		I1	I2	I3	I4	I5
資源化等を行う施設		D1	D2	D3	D4	D5
セメント等への直接投入		F1	F2	F3	F4	F5
その他の施設		E1	E2	E3	E4	E5
焼却施設		C1	C2	C3	C4	C5

次に、「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」をどのような内訳品目に整理するのかについては、GHG インベントリにおける用途と地方公共団体の一般廃棄物（災害廃棄物）の実態調査結果等に基づき下記のように設定する。

○地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いたごみ処理状況別の品目別内訳比率の設定  
「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」のごみ処理状況別の内訳比率については、地方公共団体の災害廃棄物実態調査結果から把握した品目名のまま比率を設定、又は通常時の一般廃棄物（災害廃棄物を含まない）における品目名のまま内訳比率を設定する。

○ごみ処理状況別に把握した内訳品目の統合  
「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」のごみ処理状況別に把握した内訳品目について、GHG インベントリにおける用途を踏まえ下記の方針で統合する。

1) 一般廃棄物（災害廃棄物）の GHG インベントリでは、一廃統計の収集区分別に推計方法が検討されるため、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した廃棄物のうち、一廃統計（災害廃棄物）の収集区分\*1として把握できるものについては、一廃統計（災害廃棄物）で公表されている収集区分の名称のまま品目として設定する。

※1 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」以外の収集区分

2) 地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いて「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した品目のうち、1) で設定した品目を除き、プラスチック類（化石燃料由来の廃棄物）として把握できるものについては、GHG インベントリ算出用途から「プラスチック類」として設定する。

3) 地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いて「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した品目のうち、1) 及び 2) で設定した品目として整理できないものについては、GHG インベントリ算出用途から、可燃系の廃棄物と不燃系の廃棄物に分けて整理を行い、それぞれ「その他可燃物」「その他不燃物」として整理を行う。

上記の内訳品目の設定方針に従い、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の 5 収集区分のそれぞれについて、下図のとおり 7 品目に按分して整理する。

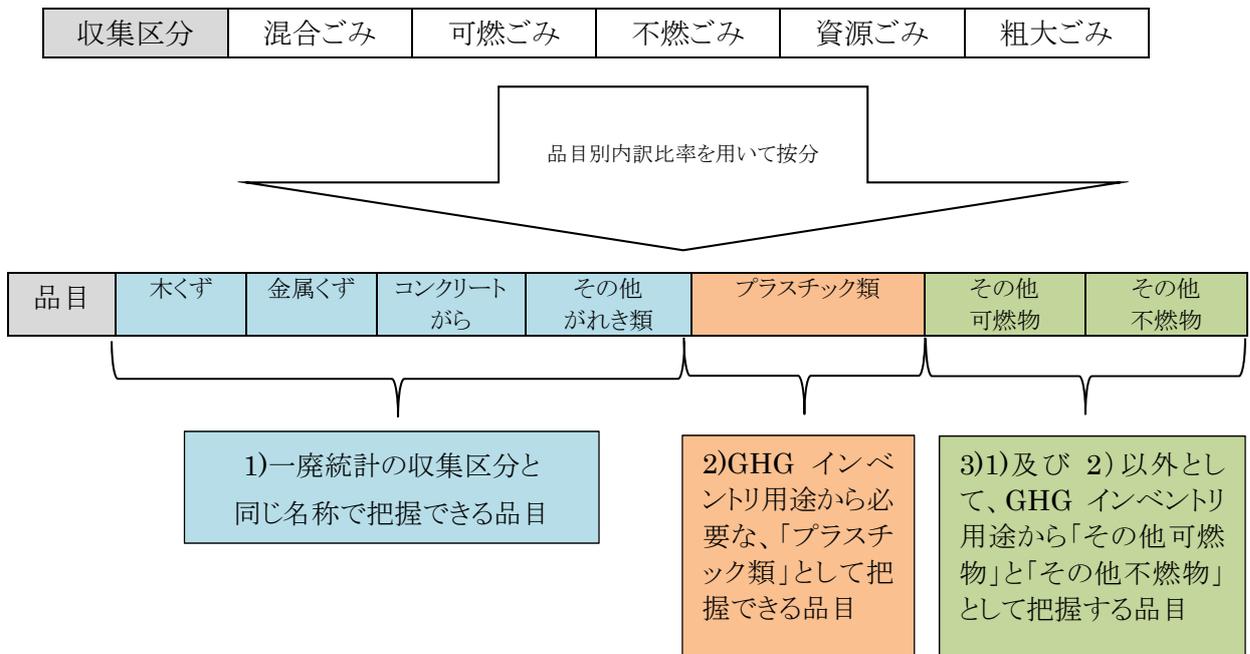


図 11 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する内訳品目の設定

(5) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定

表 33 に地方公共団体の一般廃棄物(災害廃棄物)に関する公表資料等を用いた「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値を示す。

表 33 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度速報値算出時点)					品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出への適用案)																																																																																																																																																																																																																																																																											
	混合ごみ	可燃ごみ	収集区分		粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	収集区分		粗大ごみ																																																																																																																																																																																																																																																																							
			不燃ごみ	資源ごみ				不燃ごみ	資源ごみ																																																																																																																																																																																																																																																																								
焼却施設 その他の資源化を行う施設 その他の施設	<p>○設定方法 宮城県「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町村ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 岩手県の「がれき処理フロー」から震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(第二次案)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量から比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(第二次案)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量から比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とした。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とした。</p>	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町村ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 昨年度設定した岩手県の比率と、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物発生量で加重平均して比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「不燃ごみ」の推計重量から比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 仙台市の「平成23年度一般廃棄物処理年報(平成23年度実績)」から、「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定した。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																							
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品目別内訳比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>33.7%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	33.7%	紙類	1.3%	繊維類	7.6%	プラスチック	6.2%	ガラス類	2.5%	5mm未満細塵	34.8%	その他不燃物	13.8%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙・布類</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>合成樹脂・ゴム・皮革類</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>木・竹・わら</td><td>78.6%</td></tr> <tr><td>陶器類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>その他焼却物(土砂主体)5mm</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	紙・布類	2.8%	合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%	木・竹・わら	78.6%	陶器類	0.0%	金属類	0.7%	ガラス類	0.2%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%	その他焼却物(土砂主体)5mm	5.3%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>岩手県 推計量 (T)</th> <th>宮城県 推計量 (T)</th> <th>合計 (T)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリート等</td><td>41</td><td>188</td><td>229</td><td>80.2%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>8</td><td>4</td><td>12</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>77</td><td>249</td><td>327</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)	紙類	3	3	6	0.0%	コンクリート等	41	188	229	80.2%	ガラス類	8	4	12	1.3%	プラスチック	4	2	6	1.4%	合計	77	249	327	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	11.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	17.5%	ペットボトル	6.5%	プラスチック	15.5%	繊維	0.0%	陶器	0.7%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	繊維	0.8%	陶器	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品目別内訳比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>9.1%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>12.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	34.8%	紙類	9.1%	繊維類	2.1%	プラスチック	7.6%	ガラス類	2.4%	5mm未満細塵	34.8%	その他不燃物	12.7%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず※1</td><td>44.1%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>その他焼却物(土砂主体)5mm</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>可燃系混合物※2</td><td>50.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず※1	44.1%	金属類	0.2%	ガラス類	0.0%	繊維類	10.4%	プラスチック	1.0%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	3.0%	その他焼却物(土砂主体)5mm	1.9%	可燃系混合物※2	50.7%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>岩手県 推計量 (T)</th> <th>宮城県 推計量 (T)</th> <th>合計 (T)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>4</td><td>274</td><td>278</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>61</td><td>179</td><td>240</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>72</td><td>217</td><td>289</td><td>10.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)	紙類	4	274	278	10.4%	プラスチック	61	179	240	1.0%	ガラス類	6	6	12	0.5%	繊維類	6	6	12	0.5%	陶器	72	217	289	10.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>収集量(T)</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>3,468</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>2,183</td><td>4.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>700</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>8,484</td><td>16.4%</td></tr> <tr><td>陶磁器類</td><td>330</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>4,187</td><td>8.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック製容器包装</td><td>12,385</td><td>24.0%</td></tr> <tr><td>有機性埋戻</td><td>234</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>雑草</td><td>13,429</td><td>26.0%</td></tr> <tr><td>焼却物</td><td>3,808</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>焼却物(不燃)</td><td>2,412</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>51,602</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	収集量(T)	内訳比率(%)	紙類	3,468	6.6%	ガラス類	2,183	4.3%	プラスチック	700	1.4%	繊維類	8,484	16.4%	陶磁器類	330	0.6%	ペットボトル	4,187	8.0%	プラスチック製容器包装	12,385	24.0%	有機性埋戻	234	0.5%	雑草	13,429	26.0%	焼却物	3,808	7.6%	焼却物(不燃)	2,412	4.7%	合計	51,602	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	繊維	0.8%	陶器	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%										
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																																																																																																																																																																
木質	33.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙類	1.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維類	7.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	6.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	2.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
5mm未満細塵	34.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他不燃物	13.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙・布類	2.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木・竹・わら	78.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器類	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属類	0.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	0.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他焼却物(土砂主体)5mm	5.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																													
紙類	3	3	6	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
コンクリート等	41	188	229	80.2%																																																																																																																																																																																																																																																																													
ガラス類	8	4	12	1.3%																																																																																																																																																																																																																																																																													
プラスチック	4	2	6	1.4%																																																																																																																																																																																																																																																																													
合計	77	249	327	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	11.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	17.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	6.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	15.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	29.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	0.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																																																																																																																																																																
木質	34.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙類	9.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維類	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	7.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	2.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
5mm未満細塵	34.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他不燃物	12.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず※1	44.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属類	0.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維類	10.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	1.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート(玉石)・アスファルト類	3.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他焼却物(土砂主体)5mm	1.9%																																																																																																																																																																																																																																																																																
可燃系混合物※2	50.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																													
紙類	4	274	278	10.4%																																																																																																																																																																																																																																																																													
プラスチック	61	179	240	1.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
ガラス類	6	6	12	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																													
繊維類	6	6	12	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																													
陶器	72	217	289	10.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
品目	収集量(T)	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																															
紙類	3,468	6.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
ガラス類	2,183	4.3%																																																																																																																																																																																																																																																																															
プラスチック	700	1.4%																																																																																																																																																																																																																																																																															
繊維類	8,484	16.4%																																																																																																																																																																																																																																																																															
陶磁器類	330	0.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
ペットボトル	4,187	8.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
プラスチック製容器包装	12,385	24.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
有機性埋戻	234	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑草	13,429	26.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
焼却物	3,808	7.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
焼却物(不燃)	2,412	4.7%																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	51,602	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	29.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	0.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
セメントへの直接投入	<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とした。</p>		<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とした。</p>		<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とした。</p> <p>今年度行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いた。</p>		<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とした。</p>		<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とした。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								
粗大ごみ処理施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とした。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とした。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>16.6%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>18.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>10.9%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>12.9%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>4.6%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>7.2%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>31.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	16.6%	コンクリートがら	0.0%	紙	18.1%	ガラス	10.9%	ペットボトル	1.3%	プラスチック	12.9%	繊維	4.6%	陶器	0.6%	木竹草類等(その他可燃)	7.2%	陶磁器類等(その他不燃)	31.4%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙・布類</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>合成樹脂・ゴム・皮革類</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>木・竹・わら</td><td>78.6%</td></tr> <tr><td>陶器類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>その他焼却物(土砂主体)5mm</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	紙・布類	2.8%	合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%	木・竹・わら	78.6%	陶器類	0.0%	金属類	0.7%	ガラス類	0.2%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%	その他焼却物(土砂主体)5mm	5.3%	繊維	0.0%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>岩手県 推計量 (T)</th> <th>宮城県 推計量 (T)</th> <th>合計 (T)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリート等</td><td>41</td><td>188</td><td>229</td><td>80.2%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>8</td><td>4</td><td>12</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>77</td><td>249</td><td>327</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)	紙類	3	3	6	0.0%	コンクリート等	41	188	229	80.2%	ガラス類	8	4	12	1.3%	プラスチック	4	2	6	1.4%	合計	77	249	327	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	11.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	17.5%	ペットボトル	6.5%	プラスチック	15.5%	繊維	0.0%	陶器	0.7%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	繊維	0.8%	陶器	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品目別内訳比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>9.1%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>12.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	34.8%	紙類	9.1%	繊維類	2.1%	プラスチック	7.6%	ガラス類	2.4%	5mm未満細塵	34.8%	その他不燃物	12.7%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず※1</td><td>44.1%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>その他焼却物(土砂主体)5mm</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>可燃系混合物※2</td><td>50.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず※1	44.1%	金属類	0.2%	ガラス類	0.0%	繊維類	10.4%	プラスチック	1.0%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	3.0%	その他焼却物(土砂主体)5mm	1.9%	可燃系混合物※2	50.7%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>岩手県 推計量 (T)</th> <th>宮城県 推計量 (T)</th> <th>合計 (T)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>4</td><td>274</td><td>278</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>61</td><td>179</td><td>240</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>72</td><td>217</td><td>289</td><td>10.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)	紙類	4	274	278	10.4%	プラスチック	61	179	240	1.0%	ガラス類	6	6	12	0.5%	繊維類	6	6	12	0.5%	陶器	72	217	289	10.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>収集量(T)</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>3,468</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>2,183</td><td>4.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>700</td><td>1.4%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>8,484</td><td>16.4%</td></tr> <tr><td>陶磁器類</td><td>330</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>4,187</td><td>8.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック製容器包装</td><td>12,385</td><td>24.0%</td></tr> <tr><td>有機性埋戻</td><td>234</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>雑草</td><td>13,429</td><td>26.0%</td></tr> <tr><td>焼却物</td><td>3,808</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>焼却物(不燃)</td><td>2,412</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>51,602</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	収集量(T)	内訳比率(%)	紙類	3,468	6.6%	ガラス類	2,183	4.3%	プラスチック	700	1.4%	繊維類	8,484	16.4%	陶磁器類	330	0.6%	ペットボトル	4,187	8.0%	プラスチック製容器包装	12,385	24.0%	有機性埋戻	234	0.5%	雑草	13,429	26.0%	焼却物	3,808	7.6%	焼却物(不燃)	2,412	4.7%	合計	51,602	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>陶器</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	繊維	0.8%	陶器	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	16.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	18.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	10.9%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	1.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	12.9%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	4.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	7.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	31.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙・布類	2.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木・竹・わら	78.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器類	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属類	0.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	0.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他焼却物(土砂主体)5mm	5.3%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																													
紙類	3	3	6	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
コンクリート等	41	188	229	80.2%																																																																																																																																																																																																																																																																													
ガラス類	8	4	12	1.3%																																																																																																																																																																																																																																																																													
プラスチック	4	2	6	1.4%																																																																																																																																																																																																																																																																													
合計	77	249	327	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	11.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	17.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	6.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	15.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	29.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	0.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																																																																																																																																																																
木質	34.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙類	9.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維類	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	7.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	2.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
5mm未満細塵	34.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他不燃物	12.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず※1	44.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属類	0.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス類	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維類	10.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	1.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート(玉石)・アスファルト類	3.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他焼却物(土砂主体)5mm	1.9%																																																																																																																																																																																																																																																																																
可燃系混合物※2	50.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100%																																																																																																																																																																																																																																																																																
品目	岩手県 推計量 (T)	宮城県 推計量 (T)	合計 (T)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																													
紙類	4	274	278	10.4%																																																																																																																																																																																																																																																																													
プラスチック	61	179	240	1.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
ガラス類	6	6	12	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																													
繊維類	6	6	12	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																													
陶器	72	217	289	10.0%																																																																																																																																																																																																																																																																													
品目	収集量(T)	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																															
紙類	3,468	6.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
ガラス類	2,183	4.3%																																																																																																																																																																																																																																																																															
プラスチック	700	1.4%																																																																																																																																																																																																																																																																															
繊維類	8,484	16.4%																																																																																																																																																																																																																																																																															
陶磁器類	330	0.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
ペットボトル	4,187	8.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
プラスチック製容器包装	12,385	24.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
有機性埋戻	234	0.5%																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑草	13,429	26.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
焼却物	3,808	7.6%																																																																																																																																																																																																																																																																															
焼却物(不燃)	2,412	4.7%																																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	51,602	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																															
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
金属くず	29.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																
紙	2.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス	0.4%																																																																																																																																																																																																																																																																																
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																
繊維	0.8%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶器	0.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																																																																																																																																																
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																																

表 34 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度速報値算出時点)					品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出への適用案)																																																																																																																												
	収集区分					収集区分																																																																																																																												
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																																																																								
ごみ堆肥化施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ堆肥化施設」の品目別内訳比率とした。</p>	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ堆肥化施設」の品目別内訳比率(厨芥75.1%、その他可燃24.9%)を基に、災害廃棄物のごみ堆肥化施設での処理実績を自治体の公表資料で確認したところ、現時点で「廃飼料・廃肥料」のごみ堆肥化処理実績(青森県八戸市)のみ確認できたことから、全量「その他可燃(廃飼料・廃肥料)」とする。</p>	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																																																																																																								
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>75.1%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>24.9%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	0.0%	ガラス	0.0%	ペットボトル	0.0%	プラスチック	0.0%	厨芥	75.1%	繊維	0.0%	木竹草類等(その他可燃)	24.9%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	0.0%	ガラス	0.0%	ペットボトル	0.0%	プラスチック	0.0%	厨芥	0.0%	繊維	0.0%	木竹草類等(その他可燃)	100.0%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)																																																																				
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																	
紙	0.0%																																																																																																																																	
ガラス	0.0%																																																																																																																																	
ペットボトル	0.0%																																																																																																																																	
プラスチック	0.0%																																																																																																																																	
厨芥	75.1%																																																																																																																																	
繊維	0.0%																																																																																																																																	
木竹草類等(その他可燃)	24.9%																																																																																																																																	
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																	
合計	100.0%																																																																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																	
紙	0.0%																																																																																																																																	
ガラス	0.0%																																																																																																																																	
ペットボトル	0.0%																																																																																																																																	
プラスチック	0.0%																																																																																																																																	
厨芥	0.0%																																																																																																																																	
繊維	0.0%																																																																																																																																	
木竹草類等(その他可燃)	100.0%																																																																																																																																	
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																	
合計	100.0%																																																																																																																																	
ごみ飼料化施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ飼料化施設」の品目別内訳比率とした。</p>	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	/																																																																																																																												
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	0.0%	ガラス	0.0%	ペットボトル	0.0%	プラスチック	0.0%	厨芥	100.0%	繊維	0.0%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	/																																																																																																		
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																	
紙	0.0%																																																																																																																																	
ガラス	0.0%																																																																																																																																	
ペットボトル	0.0%																																																																																																																																	
プラスチック	0.0%																																																																																																																																	
厨芥	100.0%																																																																																																																																	
繊維	0.0%																																																																																																																																	
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																	
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																	
合計	100.0%																																																																																																																																	
ごみ燃料化施設	<p>○設定方法 宮城県「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 岩手県「災害廃棄物の選別処理後の分析データ(2012年11月21日)」から、処理地区別の「可燃物」の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った地区ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(第二次案)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量から比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「資源ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ燃料化施設」の品目別内訳比率(金属4.2%、プラスチック17.5%、厨芥78.3%)を基に、災害廃棄物のごみ燃料化施設での処理実績を自治体の公表資料で確認したところ、現時点で「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみ確認できたことから、全量「プラスチック」とする。</p>	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																																																																																																								
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>品目別内訳比率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>33.7%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>7.9%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>わら(藁)</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	33.7%	紙類	1.3%	繊維類	7.9%	プラスチック	6.2%	わら(藁)	2.5%	5mm未満細塵	34.9%	その他不燃物	13.8%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙・布類</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>金属(鋳造・ゴム・皮革類)</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>木・竹・わら</td><td>78.8%</td></tr> <tr><td>厨芥類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>7.9%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>その他雑物(土砂主体)3mm</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	紙・布類	2.8%	金属(鋳造・ゴム・皮革類)	4.0%	木・竹・わら	78.8%	厨芥類	0.0%	繊維類	7.9%	金属類	0.7%	ガラス類	0.2%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%	その他雑物(土砂主体)3mm	5.3%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>収容量(トン)</th><th>発生量(トン)</th><th>合計(トン)</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>1</td><td>48</td><td>49</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>1</td><td>181</td><td>182</td><td>48.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>1</td><td>18</td><td>19</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td><td>228</td><td>229</td><td>58.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4</td><td>475</td><td>479</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	収容量(トン)	発生量(トン)	合計(トン)	内訳比率(%)	紙類	1	48	49	11.0%	繊維類	1	181	182	48.0%	プラスチック	1	18	19	4.9%	その他	1	228	229	58.0%	合計	4	475	479	100.0%	<p>○設定値 ・H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>48.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	11.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	48.0%	ガラス	17.5%	ペットボトル	6.5%	プラスチック	15.5%	厨芥	0.0%	繊維	0.7%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	厨芥	0.8%	繊維	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																	
木質	33.7%																																																																																																																																	
紙類	1.3%																																																																																																																																	
繊維類	7.9%																																																																																																																																	
プラスチック	6.2%																																																																																																																																	
わら(藁)	2.5%																																																																																																																																	
5mm未満細塵	34.9%																																																																																																																																	
その他不燃物	13.8%																																																																																																																																	
合計	100%																																																																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
紙・布類	2.8%																																																																																																																																	
金属(鋳造・ゴム・皮革類)	4.0%																																																																																																																																	
木・竹・わら	78.8%																																																																																																																																	
厨芥類	0.0%																																																																																																																																	
繊維類	7.9%																																																																																																																																	
金属類	0.7%																																																																																																																																	
ガラス類	0.2%																																																																																																																																	
コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%																																																																																																																																	
その他雑物(土砂主体)3mm	5.3%																																																																																																																																	
合計	100%																																																																																																																																	
品目	収容量(トン)	発生量(トン)	合計(トン)	内訳比率(%)																																																																																																																														
紙類	1	48	49	11.0%																																																																																																																														
繊維類	1	181	182	48.0%																																																																																																																														
プラスチック	1	18	19	4.9%																																																																																																																														
その他	1	228	229	58.0%																																																																																																																														
合計	4	475	479	100.0%																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																																																																	
金属くず	11.0%																																																																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																	
紙	48.0%																																																																																																																																	
ガラス	17.5%																																																																																																																																	
ペットボトル	6.5%																																																																																																																																	
プラスチック	15.5%																																																																																																																																	
厨芥	0.0%																																																																																																																																	
繊維	0.7%																																																																																																																																	
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																	
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																	
合計	100.0%																																																																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																																																																	
金属くず	29.2%																																																																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																	
紙	2.1%																																																																																																																																	
ガラス	0.4%																																																																																																																																	
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																	
プラスチック	14.7%																																																																																																																																	
厨芥	0.8%																																																																																																																																	
繊維	0.1%																																																																																																																																	
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																	
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%																																																																																																																																	
合計	100.0%																																																																																																																																	

表 35 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度速報値算出時点)					品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出への適用案)																																																																																																																																																									
	収集区分					収集区分																																																																																																																																																									
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																																																																																																					
直接資源化	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ(2012年11月21日)」から、処理地区別の「可燃物」の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った地区ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(第二次案)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量から比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「資源ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。  自治体への確認結果 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>																																																																																																																																																					
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品目別内訳比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>33.7%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>わら(藁)</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	33.7%	紙類	1.3%	繊維類	7.6%	プラスチック	6.2%	わら(藁)	2.5%	5mm未満細塵	34.9%	その他不燃物	13.8%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙・布類</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>合成樹脂・ゴム・皮革類</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>木・竹・わら</td><td>78.6%</td></tr> <tr><td>厨芥類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>その他雑物(土砂主体)5mm</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	紙・布類	2.6%	合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%	木・竹・わら	78.6%	厨芥類	0.0%	金属類	0.7%	ガラス類	0.2%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%	その他雑物(土砂主体)5mm	5.3%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>資源物 推計重量 (7%)</th> <th>不燃物 推計重量 (7%)</th> <th>合計 (7%)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>わら(藁)</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>その他雑物</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>171</td><td>248</td><td>321</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	資源物 推計重量 (7%)	不燃物 推計重量 (7%)	合計 (7%)	内訳比率 (%)	紙類	41	188	235	83.7%	繊維類	41	188	235	83.7%	プラスチック	41	188	235	83.7%	わら(藁)	41	188	235	83.7%	その他雑物	41	188	235	83.7%	合計	171	248	321	100.0%	<p>○設定値 +H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>48.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	11.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	48.0%	ガラス	17.5%	ペットボトル	6.5%	プラスチック	15.5%	厨芥	0.0%	繊維	0.7%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 +H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)※3</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	厨芥	0.8%	繊維	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)※3	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず ※1</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>12.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら ※2</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)※3</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず ※1	4.9%	金属くず	12.1%	コンクリートがら ※2	77.0%	紙	0.0%	ガラス	0.0%	ペットボトル	0.0%	プラスチック	0.0%	厨芥	0.0%	繊維	0.0%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)※3	6.0%	合計	100%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																																														
木質	33.7%																																																																																																																																																														
紙類	1.3%																																																																																																																																																														
繊維類	7.6%																																																																																																																																																														
プラスチック	6.2%																																																																																																																																																														
わら(藁)	2.5%																																																																																																																																																														
5mm未満細塵	34.9%																																																																																																																																																														
その他不燃物	13.8%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
紙・布類	2.6%																																																																																																																																																														
合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%																																																																																																																																																														
木・竹・わら	78.6%																																																																																																																																																														
厨芥類	0.0%																																																																																																																																																														
金属類	0.7%																																																																																																																																																														
ガラス類	0.2%																																																																																																																																																														
コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%																																																																																																																																																														
その他雑物(土砂主体)5mm	5.3%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														
品目	資源物 推計重量 (7%)	不燃物 推計重量 (7%)	合計 (7%)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																											
紙類	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
繊維類	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
プラスチック	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
わら(藁)	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
その他雑物	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
合計	171	248	321	100.0%																																																																																																																																																											
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず	0.0%																																																																																																																																																														
金属くず	11.0%																																																																																																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																														
紙	48.0%																																																																																																																																																														
ガラス	17.5%																																																																																																																																																														
ペットボトル	6.5%																																																																																																																																																														
プラスチック	15.5%																																																																																																																																																														
厨芥	0.0%																																																																																																																																																														
繊維	0.7%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																																														
合計	100.0%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず	0.0%																																																																																																																																																														
金属くず	29.2%																																																																																																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																														
紙	2.1%																																																																																																																																																														
ガラス	0.4%																																																																																																																																																														
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																														
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																														
厨芥	0.8%																																																																																																																																																														
繊維	0.1%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)※3	24.2%																																																																																																																																																														
合計	100.0%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず ※1	4.9%																																																																																																																																																														
金属くず	12.1%																																																																																																																																																														
コンクリートがら ※2	77.0%																																																																																																																																																														
紙	0.0%																																																																																																																																																														
ガラス	0.0%																																																																																																																																																														
ペットボトル	0.0%																																																																																																																																																														
プラスチック	0.0%																																																																																																																																																														
厨芥	0.0%																																																																																																																																																														
繊維	0.0%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)※3	6.0%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														
直接埋立	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ(2012年11月21日)」から、処理地区別の「可燃物」の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った地区ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(第二次案)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した災害廃棄物のごみ種類別の推計重量から比率を設定した。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「資源ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ」の品目別内訳比率とした。 ※設定方法は焼却施設等と同じ</p>	<p>○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定した。  自治体への確認結果 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>																																																																																																																																																						
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品目別内訳比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木質</td><td>33.7%</td></tr> <tr><td>紙類</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>わら(藁)</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>5mm未満細塵</td><td>34.9%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	品目別内訳比率	木質	33.7%	紙類	1.3%	繊維類	7.6%	プラスチック	6.2%	わら(藁)	2.5%	5mm未満細塵	34.9%	その他不燃物	13.8%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙・布類</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>合成樹脂・ゴム・皮革類</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>木・竹・わら</td><td>78.6%</td></tr> <tr><td>厨芥類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属類</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>ガラス類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリート(玉石)・アスファルト類</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>その他雑物(土砂主体)5mm</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	紙・布類	2.6%	合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%	木・竹・わら	78.6%	厨芥類	0.0%	金属類	0.7%	ガラス類	0.2%	コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%	その他雑物(土砂主体)5mm	5.3%	合計	100%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>資源物 推計重量 (7%)</th> <th>不燃物 推計重量 (7%)</th> <th>合計 (7%)</th> <th>内訳比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>紙類</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>繊維類</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>わら(藁)</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>その他雑物</td><td>41</td><td>188</td><td>235</td><td>83.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>171</td><td>248</td><td>321</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	資源物 推計重量 (7%)	不燃物 推計重量 (7%)	合計 (7%)	内訳比率 (%)	紙類	41	188	235	83.7%	繊維類	41	188	235	83.7%	プラスチック	41	188	235	83.7%	わら(藁)	41	188	235	83.7%	その他雑物	41	188	235	83.7%	合計	171	248	321	100.0%	<p>○設定値 +H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>48.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	11.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	48.0%	ガラス	17.5%	ペットボトル	6.5%	プラスチック	15.5%	厨芥	0.0%	繊維	0.7%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 +H22年度確定値算出時の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>14.7%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>28.5%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)※3</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.2%	コンクリートがら	0.0%	紙	2.1%	ガラス	0.4%	ペットボトル	0.1%	プラスチック	14.7%	厨芥	0.8%	繊維	0.1%	木竹草類等(その他可燃)	28.5%	陶磁器類等(その他不燃)※3	24.2%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>紙</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>厨芥</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>繊維</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>木竹草類等(その他可燃)</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>陶磁器類等(その他不燃)※3</td><td>100%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	紙	0.0%	ガラス	0.0%	ペットボトル	0.0%	プラスチック	0.0%	厨芥	0.0%	繊維	0.0%	木竹草類等(その他可燃)	0.0%	陶磁器類等(その他不燃)※3	100%	合計	100%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>
品目	品目別内訳比率																																																																																																																																																														
木質	33.7%																																																																																																																																																														
紙類	1.3%																																																																																																																																																														
繊維類	7.6%																																																																																																																																																														
プラスチック	6.2%																																																																																																																																																														
わら(藁)	2.5%																																																																																																																																																														
5mm未満細塵	34.9%																																																																																																																																																														
その他不燃物	13.8%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
紙・布類	2.6%																																																																																																																																																														
合成樹脂・ゴム・皮革類	4.0%																																																																																																																																																														
木・竹・わら	78.6%																																																																																																																																																														
厨芥類	0.0%																																																																																																																																																														
金属類	0.7%																																																																																																																																																														
ガラス類	0.2%																																																																																																																																																														
コンクリート(玉石)・アスファルト類	8.4%																																																																																																																																																														
その他雑物(土砂主体)5mm	5.3%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														
品目	資源物 推計重量 (7%)	不燃物 推計重量 (7%)	合計 (7%)	内訳比率 (%)																																																																																																																																																											
紙類	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
繊維類	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
プラスチック	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
わら(藁)	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
その他雑物	41	188	235	83.7%																																																																																																																																																											
合計	171	248	321	100.0%																																																																																																																																																											
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず	0.0%																																																																																																																																																														
金属くず	11.0%																																																																																																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																														
紙	48.0%																																																																																																																																																														
ガラス	17.5%																																																																																																																																																														
ペットボトル	6.5%																																																																																																																																																														
プラスチック	15.5%																																																																																																																																																														
厨芥	0.0%																																																																																																																																																														
繊維	0.7%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%																																																																																																																																																														
合計	100.0%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず	0.0%																																																																																																																																																														
金属くず	29.2%																																																																																																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																														
紙	2.1%																																																																																																																																																														
ガラス	0.4%																																																																																																																																																														
ペットボトル	0.1%																																																																																																																																																														
プラスチック	14.7%																																																																																																																																																														
厨芥	0.8%																																																																																																																																																														
繊維	0.1%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	28.5%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)※3	24.2%																																																																																																																																																														
合計	100.0%																																																																																																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																														
木くず	0.0%																																																																																																																																																														
金属くず	0.0%																																																																																																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																														
紙	0.0%																																																																																																																																																														
ガラス	0.0%																																																																																																																																																														
ペットボトル	0.0%																																																																																																																																																														
プラスチック	0.0%																																																																																																																																																														
厨芥	0.0%																																																																																																																																																														
繊維	0.0%																																																																																																																																																														
木竹草類等(その他可燃)	0.0%																																																																																																																																																														
陶磁器類等(その他不燃)※3	100%																																																																																																																																																														
合計	100%																																																																																																																																																														



(6) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」に適用する  
品目別内訳比率の7品目への統合

「(5)「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定」の表 33～表 35 に示した「品目別内訳比率の設定(平成 23 年度確定値算出)」に従い設定する品目別内訳比率を、循環利用量調査における平成 23 年度確定値算出の取りまとめに用いる 7 品目(木くず、金属くず、コンクリートがら、その他がれき類、プラスチック類、その他可燃物、その他不燃物)の内訳比率に統合する。

①焼却施設、その他の資源化等を行う施設及びその他の施設

a) 混合ごみ

表 36 焼却施設、その他の資源化等を行う施設、その他の施設における  
「混合ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木質	34.8%	木くず	木くず	34.8%
紙類	2.1%	その他可燃物	金属くず	0.0%
繊維類	9.1%	その他可燃物	コンクリートがら	0.0%
プラスチック	7.6%	プラスチック類	その他がれき類	0.0%
わら(畳)	2.4%	その他可燃物	プラスチック類	7.6%
5mm未満細塵	31.3%	その他不燃物	その他可燃物	13.6%
その他不燃物	12.7%	その他不燃物	その他不燃物	44.0%
合計	100%		合計	100.0%

※品目名は、宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果から整理

b) 可燃ごみ

表 37 焼却施設、その他の資源化等を行う施設、その他の施設における  
「可燃ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	44.1%	木くず	木くず	44.1%
金属類	0.2%	金属くず	金属くず	0.2%
ガラス類	0.1%	その他がれき類	コンクリートがら	0.0%
コンクリート(玉石)・アスファルト類	3.0%	その他がれき類	その他がれき類	3.0%
その他雑物(土砂主体)5mm	1.9%	その他不燃物	プラスチック類	0.0%
可燃系混合物※2	50.7%	その他可燃物	その他可燃物	50.7%
合計	100%		その他不燃物	1.9%
			合計	100.0%

※品目名は、岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ(2012年11月21日)」、仙台市の「がれき処理フロー」、宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「マテリアルバランス」から整理

c) 不燃ごみ

表 38 焼却施設、その他の資源化等を行う施設、その他の施設における  
「不燃ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
金属	10.2%	金属くず	木くず	0.0%
不燃粗大ごみ	1.1%	その他不燃物	金属くず	10.2%
コンクリート等	84.5%	コンクリートがら	コンクリートがら	84.5%
瓦・ボード等	2.1%	その他がれき類	その他がれき類	4.2%
アスファルトくず	2.1%	その他がれき類	プラスチック類	0.0%
合計	100%		その他可燃物	0.0%
			その他不燃物	1.1%
			合計	100.0%

※品目名は仙台市の「がれき処理フロー」及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)(平成24年7月)」の「マテリアルバランス」から整理

d) 資源ごみ

表 39 焼却施設、その他の資源化等を行う施設、その他の施設における「資源ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
鉄類	6.6%	金属くず	木くず	0.0%
アルミ缶	4.3%	金属くず	金属くず	10.9%
生きびん類	1.4%	その他がれき類	コンクリートがら	0.0%
カレット類	16.4%	その他がれき類	その他がれき類	17.8%
乾電池類	0.6%	その他不燃物	プラスチック類	32.0%
ペットボトル	8.0%	プラスチック類	その他可燃物	34.0%
プラスチック製容器包装	24.0%	プラスチック類	その他不燃物	5.3%
有機性堆肥	0.5%	その他可燃物	合計	100%
紙類	26.0%	その他可燃物		
残渣物	7.6%	その他可燃物		
残渣物(不燃)	4.7%	その他不燃物		
合計	100%			

※品目名は仙台市の「平成23年度一般廃棄物処理年報(平成23年度実績)」から整理

e) 粗大ごみ

表 40 焼却施設、その他の資源化等を行う施設、その他の施設における「粗大ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	0.0%	木くず	木くず	0.0%
金属くず	29.2%	金属くず	金属くず	29.2%
コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	コンクリートがら	0.0%
紙	2.1%	その他可燃物	その他がれき類	0.4%
ガラス	0.4%	その他がれき類	プラスチック類	14.8%
ペットボトル	0.1%	プラスチック類	その他可燃物	31.5%
プラスチック	14.7%	プラスチック類	その他不燃物	24.2%
厨芥	0.8%	その他可燃物	合計	100%
繊維	0.1%	その他可燃物		
木竹草類等(その他可燃)	28.5%	その他可燃物		
陶磁器類等(その他不燃)	24.2%	その他不燃物		
合計	100%			

※品目名は平成23年度の通常の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)における確定値算出に用いる内訳から整理

②セメント等への直接投入

a) 可燃ごみ

表 41 セメント等への直接投入における「可燃ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
紙・布類	1.8%	その他可燃物	木くず	67.5%
合成樹脂・ゴム・皮革類	3.5%	その他可燃物	金属くず	0.8%
木・竹・わら	67.5%	木くず	コンクリートがら	0.0%
厨芥類	0.0%	その他可燃物	その他がれき類	16.9%
金属類	0.8%	金属くず	プラスチック類	0.0%
ガラス類	0.4%	その他がれき類	その他可燃物	5.3%
コンクリート(玉石)・アスファルト類	16.5%	その他がれき類	その他不燃物	9.6%
その他雑物(土砂主体)5mm	9.6%	その他不燃物	合計	100%
合計	100%			

※品目名は岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ(2012年11月21日)」の処理地区別の「可燃物」の組成分析結果から整理

b) 不燃ごみ

表 42 セメント等への直接投入における「不燃ごみ」の品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	0.0%	/	木くず	0.0%
金属くず	0.0%		金属くず	0.0%
コンクリートがら	0.0%		コンクリートがら	0.0%
紙	0.0%		その他がれき類	0.0%
ガラス	0.0%		プラスチック類	0.0%
ペットボトル	0.0%		その他可燃物	0.0%
プラスチック	0.0%		その他不燃物	100%
厨芥	0.0%		合計	100%
繊維	0.0%			
木竹草類等(その他可燃)	0.0%			
陶磁器類等(その他不燃)	100%			
合計	100%			

※品目名は平成23年度の通常の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)における確定値算出に用いる内訳から整理

③粗大ごみ処理施設

a) 混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ

表 43 粗大ごみ処理施設における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」で一律に適用する品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	0.0%	木くず	木くず	0.0%
金属くず	16.6%	金属くず	金属くず	16.6%
コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	コンクリートがら	0.0%
紙	15.1%	その他可燃物	その他がれき類	10.8%
ガラス	10.8%	その他がれき類	プラスチック類	13.8%
ペットボトル	1.3%	プラスチック類	その他可燃物	27.5%
プラスチック	12.5%	プラスチック類	その他不燃物	31.4%
厨芥	4.6%	その他可燃物	合計	100%
繊維	0.6%	その他可燃物		
木竹草類等(その他可燃)	7.2%	その他可燃物		
陶磁器類等(その他不燃)	31.4%	その他不燃物		
合計	100%			

※品目名は平成23年度の通常の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)における確定値算出に用いる内訳から整理

④ごみ堆肥化施設

a) 混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ

表 44 粗大ごみ処理施設における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」で一律に適用する品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	0.0%	/	木くず	0.0%
金属くず	0.0%		金属くず	0.0%
コンクリートがら	0.0%		コンクリートがら	0.0%
紙	0.0%		その他がれき類	0.0%
ガラス	0.0%		プラスチック類	0.0%
ペットボトル	0.0%		その他可燃物	100%
プラスチック	0.0%		その他不燃物	0.0%
厨芥	0.0%		合計	100%
繊維	0.0%			
木竹草類等(その他可燃)	100%		その他可燃物	
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%			
合計	100%			

※品目名は平成23年度の通常の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)における確定値算出に用いる内訳から整理

⑤ごみ燃料化施設

a) 混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ

表 45 ごみ燃料化施設における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」で一律に適用する品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	0.0%	/	木くず	0.0%
金属くず	0.0%		金属くず	0.0%
コンクリートがら	0.0%		コンクリートがら	0.0%
紙	0.0%		その他がれき類	0.0%
ガラス	0.0%		プラスチック類	100%
ペットボトル	0.0%		その他可燃物	0.0%
プラスチック	100%		その他不燃物	0.0%
厨芥	0.0%		合計	100%
繊維	0.0%			
木竹草類等(その他可燃)	0.0%			
陶磁器類等(その他不燃)	0.0%			
合計	100%			

※品目名は平成23年度の通常の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)における確定値算出に用いる内訳から整理

⑥直接資源化

a) 混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ

表 46 直接資源化における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」で一律に適用する品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
木くず	4.2%	木くず	木くず	4.9%
廃材	0.2%	木くず	金属くず	12.1%
自然木	0.5%	木くず	コンクリートがら	77.0%
金属くず	12.1%	金属くず	その他がれき類	3.2%
コンクリートくず	77.0%	コンクリートくず	プラスチック類	0.0%
陶磁器ガラス等	0.1%	その他がれき類	その他可燃物	0.0%
瓦・陶磁器	0.4%	その他がれき類	その他不燃物	2.8%
廃石等	0.0%	その他がれき類	合計	100%
アスファルトくず	2.7%	その他がれき類		
不燃混合	1.4%	その他不燃物		
分別残渣	1.3%	その他不燃物		
その他	0.1%	その他不燃物		
合計	100%			

※品目名は宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から整理

⑦直接埋立

a) 混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ

表 47 直接資源化における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」で一律に適用する品目別内訳比率の7品目への統合

品目整理前			品目整理後	
品目	内訳比率	統合後の品目	品目	内訳比率
処理困難物	14.2%	其他不燃物	木くず	0.0%
不燃物	6.2%	其他不燃物	金属くず	0.0%
不燃選別残渣	23.4%	其他不燃物	コンクリートがら	0.0%
土壌選別・洗浄残渣	7.4%	其他不燃物	其他がれき類	0.0%
その他	48.8%	其他不燃物	プラスチック類	0.0%
合計	100%		其他可燃物	0.0%
			其他不燃物	100%
			合計	100%

※品目名は宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から整理

(7) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率

(まとめ)

表 48 に、今年度平成 23 年度確定値算出に用いる、7 品目に整理した品目別内訳比率を示す。また、参考として、表 49 に平成 23 年度速報値算出に用いた 11 品目に整理した品目別内訳比率を示す。

表 48 平成23年度確定値に用いる品目別内訳比率

品目	焼却施設・その他の資源化等を行う施設、その他の施設					セメント等への直接投入		粗大ごみ処 理施設	ごみ堆肥化 施設	ごみ燃料化 施設	直接資源 化	直接埋立
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	一律	一律	一律	一律	一律
木くず	34.8%	44.1%	0.0%	0.0%	0.0%	67.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%
金属くず	0.0%	0.2%	10.2%	10.9%	29.2%	0.8%	0.0%	16.6%	0.0%	0.0%	12.1%	0.0%
コンクリートがら	0.0%	0.0%	84.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.0%	0.0%
その他がれき類	0.0%	3.0%	4.2%	17.8%	0.4%	16.9%	0.0%	10.8%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
プラスチック類	7.6%	0.0%	0.0%	32.0%	14.8%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他可燃物	13.6%	50.7%	0.0%	34.0%	31.5%	5.3%	0.0%	27.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他不燃物	44.0%	1.9%	1.1%	5.3%	24.2%	9.6%	100.0%	31.4%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表 49 (参考)平成23年度速報値に用いた品目別内訳比率

品目	焼却施設・その他の資源化等を行う施設、その他の施設、 ごみ燃料化施設、直接資源化、直接埋立					セメント等への直接投入		粗大ごみ処 理施設	ごみ堆肥化 施設
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	一律	一律
木くず	33.7%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%
金属くず	0.0%	0.7%	15.0%	11.0%	29.2%	0.7%	0.0%	16.6%	0.0%
コンクリートがら	0.0%	8.4%	80.7%	0.0%	0.0%	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%
紙	1.3%	2.4%	0.0%	48.7%	2.1%	2.4%	0.0%	15.1%	0.0%
ガラス	0.0%	0.2%	0.0%	17.5%	0.4%	0.2%	0.0%	10.8%	0.0%
ペットボトル	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
プラスチック	6.2%	4.0%	0.0%	15.5%	14.7%	4.0%	0.0%	12.5%	0.0%
厨芥	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	4.6%	75.1%
繊維	7.6%	0.4%	0.0%	0.7%	0.1%	0.4%	0.0%	0.6%	0.0%
木竹草類等(その他可燃)	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	28.5%	0.0%	0.0%	7.2%	24.9%
陶磁器類等(その他不燃)	48.7%	5.3%	4.4%	0.0%	24.2%	5.3%	100.0%	31.4%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3.2 平成23年度確定値における廃棄物等の「等」の発生量算出時に行う一般廃棄物（災害廃棄物）の重複排除について

(1) 一般廃棄物（災害廃棄物）と循環利用量調査で利用している一廃統計及び産廃統計以外の統計資料との重複排除

一般廃棄物(災害廃棄物)について、循環利用量調査で利用している一廃統計及び産廃統計以外(以下、廃棄物統計外)の統計資料と重複しておりかつ重複している量が把握できるのは表 50 に示した品目である。

表 50 循環利用量調査における品目と重複している一般廃棄物(災害廃棄物)の量、及び重複していると整理した理由

一般廃棄物(災害廃棄物)の量	循環利用量調査の品目	廃棄物統計外の統計資料	重複している整理した理由
金属くずの循環利用量 <sup>1)</sup>	「等」のうち産業機械等に由来する金属スクラップ	・鉄源年報(鉄源協会) ・生産動態統計(経済産業省)	鉄源協会へのヒアリングで、国内で再資源化される金属くずは、全量鉄源年報及び生産動態統計で把握されているとの回答を得た
自動車の循環利用量 <sup>1)</sup>			
本調査で「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を按分した品目のうち、金属くずの循環利用量 <sup>2)</sup>			

1)一廃統計から直接値を把握できる収集区分別の直接資源化量と処理後再生利用量の合計値

2)本調査における推計値

表 50 を基に、「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの発生量の推計方法を表 51 のとおり見直しを行う。

表 51 「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの発生量の推計方法見直し

A 廃棄物等の発生量(千トン)		B 廃棄物統計及び「等」の重複量(千トン)		C 「等」の発生量(千トン)	
小計	47,483	小計	16,335		
鉄源年報 <sup>1)</sup> の鉄スクラップ消費量	44,270	一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の金属の循環利用量 <sup>3)</sup>	979	A小計-B小計	31,148
		産業廃棄物の金属くずの循環利用量 <sup>3)</sup>	7,074		
		アルミ缶の「等」の発生量 <sup>3)</sup>	39		
		スチール缶の「等」の発生量 <sup>3)</sup>	424		
		自動車の「等」の発生量 <sup>4)</sup>	2,411		
		副産物調査の金属くずの「等」の発生量 <sup>3)</sup>	5,120		
		一般廃棄物(災害廃棄物)の金属くずの循環利用量 <sup>5)</sup>	273		
		一般廃棄物(災害廃棄物)の自動車の循環利用量 <sup>2)</sup>	9		
		一般廃棄物(災害廃棄物)の混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみを品目別に按分した推計結果のうち金属くずの循環利用量 <sup>6)</sup>	6		
生産動態統計 <sup>2)</sup> のアルミニウムくず、アルミニウム滓、銅くず、再生亜鉛の消費量	3,213				

1) 鉄源年報(日本鉄源協会)

2) 生産動態統計(非鉄金属) (経済産業省)

3) 平成23年度確定値

4) 平成23年度確定値、一般廃棄物(災害廃棄物)の自動車は重複排除していない

5) 一廃統計における直接資源化量及び処理後再生利用量の合計値

6) 本調査で推計した値

※電炉等における受入量をもって廃棄物等の発生量とする。

一般廃棄物(災害廃棄物)に関する品目の循環利用量を「B 廃棄物統計及び「等」の重複量」加えて、「A 廃棄物等の発生量」から差し引いて、「等」の発生量を算出する。

(2) 一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分と循環利用量調査における産業廃棄物及び「等」の品目との重複関係の確認結果

(7) 一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分と廃棄物統計外の統計資料との重複関係一覧

表 52 に一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分と廃棄物統計外の統計資料との重複関係の一覧表を示した。

表 52 一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分と、循環利用量調査で用いている廃棄物統計外との重複関係一覧表

一般廃棄物 （災害廃棄物）の収集区分	廃棄物統計外の統計資料との重複関係 重複しており、量も把握できる : ○ 重複しているが、重複量が十分小さいため重複排除しない : △ 重複していない : ×	重複している循環利 用量調査の品目	重複している統計資料	重複していると整理した理由
金属くず	○	「等」のうち産業機械等に由来する金属スクラップ	・鉄源年報（鉄源協会） ・生産動態統計（経済産業省）	鉄源協会へのヒアリングから、国内で再資源化される金属くずは、全量鉄源年報及び生産動態統計で把握されているとの回答を得た。  ※一廃統計で把握された災害廃棄物のうち、金属くず、自動車（全量を金属くずと仮定）、混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ及び粗大ごみのうち、本調査で推計した金属くずの量は重複している量が把握できる。  ※家電4品目、パソコン、FRP船、鋼船、その船舶、その他家電、消火器、ガスボンベについては、重複している量が十分小さいため重複排除しない（資料p.7参照）
自動車	○			
混合ごみ	○			
可燃ごみ				
不燃ごみ				
資源ごみ				
粗大ごみ				
家電4品目	△			
パソコン	△			
FRP船	△			
鋼船	△			
その他船舶	△			
その他家電	△			
消火器	△			
ガスボンベ	△			
タイヤ	△	産業廃棄物のうち廃タイヤ	廃タイヤのリサイクル状況（日本自動車タイヤ協会）	日本自動車タイヤ協会へのヒアリングから重複しているとの回答を得た。 ※ただし、内訳として量は把握されていない。
木くず	×	/	/	/
コンクリートがら	×			
その他がれき類	×			
石綿含有廃棄物等	×			
PCB廃棄物	×			
その他有害物、危険物	×			
混合ごみ	×			
可燃ごみ				
不燃ごみ				
資源ごみ				
粗大ごみ				
土	×			
漁網	×			
土石類	×			
津波堆積物	×			
その他	×			
海洋投入	×			
漂着ごみ	×			

(イ)一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうち金属くず、自動車及び本調査で「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を按分した品目のうちの金属くずの循環利用量と、循環利用量調査の「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの発生量の重複関係の確認結果

①確認結果

循環利用量調査の「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの発生量の重複関係の確認結果は表 52 に示したとおり。

②確認した内容

平成 24 年度業務で行った日本鉄源協会へのヒアリングから、「国内で再資源化される金属は鉄源年報及び生産動態統計で全て把握されている」と回答を得ており、東日本大震災に由来して再資源化される金属スクラップについても鉄源年報及び生産動態統計にて把握されている。

そのため、一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうち、「産業機械等に由来する金属スクラップ」と重複関係にあり、かつ重複している量が把握できる「金属くず」、「自動車」及び「混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ及び粗大ごみに含まれる金属くず」の循環利用量については重複排除を行う<sup>6</sup>。

表 53 に参考として、「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの発生量と重複している一般廃棄物（災害廃棄物）の量の把握方法を示した。

表 53 「等」の産業機械等に由来する金属スクラップと重複している  
一般廃棄物（災害廃棄物）の量の把握方法

「等」の産業機械等に由来する金属スクラップと重複している量(千トン)		重複量の把握方法
一般廃棄物(災害廃棄物)の金属くずの循環利用量	273	<b>一廃統計の実績値</b> ・一廃統計から直接値を把握可能な 収集区分別の循環利用量を使用 (直接資源化量と処理後再生利用量の合計)
一般廃棄物(災害廃棄物)の自動車の循環利用量	9	<b>一廃統計の実績値</b> ・一廃統計から直接値を把握可能な 収集区分別の循環利用量を使用 (直接資源化量と処理後再生利用量の合計)
一般廃棄物(災害廃棄物)の混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみを品目別に按分した推計結果のうち金属くずの循環利用量	6	<b>推計値</b> ・本調査で混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみを品目別に按分した推計値

<sup>6</sup> 一廃統計における一般廃棄物（災害廃棄物）の収集区分のうち、家電 4 品目、パソコン、FRP 船、鋼船、その他船舶、その他家電、消火器及びガスボンベについては、当該廃棄物には金属も含まれており、資源化された金属くずについては「産業機械等に由来する金属スクラップ」の発生量と重複していると考えられるが、重複量が発生量に対して十分小さいと考えられるため、重複量を排除しない（詳細は「3.2(6)「家電 4 品目」、「パソコン」、「FRP 船」、「鋼船」、「その他船舶」、「その他家電」、「消火器」及び「ガスボンベ」の循環利用量のうち、金属に相当する量の試算結果」参照）

(3) 一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうちのタイヤの発生量と循環利用量調査の「等」の廃タイヤの発生量の重複関係の確認結果

(7) 確認結果と対応方針

一般廃棄物（災害廃棄物）のタイヤの発生量と産業廃棄物のうち廃プラスチック類の内訳である廃タイヤの発生量は重複している可能性があるが、重複している量が正確に把握できず、また仮に全量が重複していると仮定しても、重複量は1%未満であるため重複量を排除しないこととする。

(イ) 確認した内容

「廃タイヤのリサイクル状況」について、日本自動車タイヤ協会に電話での確認を行った所、下記のとおり、東日本大震災により発生したタイヤの量が一部含まれていると考えられるが、内訳としての量は把握していないとの回答を得た。

(質問) 東日本大震災により発生したタイヤの量は、廃タイヤのリサイクル状況の数値に含まれるか？

(回答) 廃タイヤのリサイクル状況の数値には東日本大震災に由来するタイヤの一部は計上されていると考えられるが、内訳としての量は把握していない。

(質問) 廃タイヤのリサイクル状況はどのように推計しているのか？

(回答) リサイクル利用の代表的な用途先（製紙、化学工場等での熱利用など）に対してヒアリングを行い、廃タイヤの再生利用量を推計している。したがって、ヒアリング先が震災に伴い発生した廃タイヤの受け入れを行っていれば、廃タイヤの再生利用量に計上されるが、その内訳としての量は把握していない。

参考値として、産業廃棄物の廃タイヤの発生量（平成23年度確定値）と、一般廃棄物（災害廃棄物）のタイヤの発生量（平成23年度確定値）を表54に示した。

表 54 産業廃棄物のうち廃タイヤの発生量と、一般廃棄物（災害廃棄物）のうちタイヤの発生量（平成23年度値）

	産業廃棄物の廃タイヤ	一般廃棄物（災害廃棄物）のタイヤ
発生量（千トン）	998	5.2
発生量の出典	実績値 日本タイヤ協会の廃タイヤリサイクル状況の廃タイヤの発生量（再生利用量、埋立・その他の量の合計値）	推計値 災害廃棄物処理量合計※×タイヤの収集区分別内訳比率 ※災害廃棄物処理量合計＝直接埋立＋直接資源化＋中間処理施設での中間処理

(4) 一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうちの自動車の発生量と、循環利用量調査の「等」の自動車の発生量の重複関係の確認結果

(7) 確認結果と対応方針

一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうちの自動車の発生量と、循環利用量調査の「等」の自動車の発生量は重複していない。

(イ) 確認した内容

循環利用量調査で「等」の自動車では、自動車リサイクル法の下で資金管理法人が処理費用を負担して処理を行った自動車を対象としているため、国庫補助金を受けて被災市町村が処理した自動車の量が計上される一廃統計の一般廃棄物（災害廃棄物）のうちの自動車とは重複しない。

表 55 一般廃棄物（災害廃棄物）の自動車と循環利用量調査の「等」の自動車の調査対象

	一般廃棄物（災害廃棄物）の自動車	循環利用量調査の「等」の自動車
統計資料名	一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）	使用済み自動車、解体自動車及び特定再資源化等物品に関する引取・引渡状況（環境省・経済産業省）
対象となる自動車	国庫補助金を受けて、被災市町村が処理した自動車 <sup>7</sup>	自動車リサイクル法の下で処理された自動車 ※災害により持ち主不明となった自動車を自治体がリサイクル業者等に引き渡す際の処理費用は資金管理法人が負担する <sup>8</sup>

(5) 家電4品目及びパソコン

循環利用量調査では「等」の品目として家電4品目及びパソコンを整理しておらず、災害廃棄物ではない家電4品目やパソコンの循環利用量については、産業廃棄物（金属くず、廃プラスチック類等）や「等」の産業機械等に由来する金属スクラップの循環利用量に含まれているとして整理している。

<sup>7</sup> 環境省廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課，東日本大震災に係る災害廃棄物処理事業の取扱いに関するQ&A，平成23年4月8日

<sup>8</sup> 経済産業省製造産業局自動車課，環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室，東日本大震災における番号不明自動車の引き渡し時における取扱いについて，平成23年4月27日

(6) 「家電4品目」、「パソコン」、「FRP船」、「鋼船」、「その他船舶」、「その他家電」、「消火器」及び「ガスボンベ」の循環利用量のうち、金属に相当する量の試算結果

表 56 に、「家電4品目」、「パソコン」、「FRP 船」、「鋼船」、「その他船舶」、「その他家電」、「消火器」及び「ガスボンベ」の循環利用量のうち金属に相当する量について、金属割合の設定及び金属量の試算結果を示した。これらの収集区分については、廃棄物等循環利用量実態調査における廃棄物等の「産業機械等に由来する金属スクラップ」の発生量と重複しているが、発生量に対して重複量が十分小さいため、重複量を排除しないこととする。

表 56 収集区分別の金属割合の設定及び金属量の試算結果

収集区分	循環利用量 (t) 注1)	収集区分別循環利用量のうち、金属の割合	収集区分のうち、金属スクラップの割合(B)の設定方法	収集区分別の循環利用量のうち、金属スクラップに相当する量(t)	「産業機械等に由来する金属スクラップ」の廃棄物等の発生量 47,483 千トンに対する、収集区分別循環利用量のうち金属スクラップ分の割合 注2)
	A	B		C=A×B	D=(C/47,483 千トン)
家電4品目	5,513	38.7%	「一般財団法人家電リサイクル協会の家電リサイクル年次報告書(平成 23 年度版)」より下記の通り推計。 38.7%=鉄、銅及びアルミニウムの再商品化量(4品目合計) / 再商品化量合計(4品目合計)	2,134	0.0045%
パソコン	103	45.7%	「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(第一次答申)」(平成 24 年 1 月 31 日・中央環境審議会)の表8「1年間に使用済みとなる小型電気電子機器の台数・重量と有用金属含有量」(推計値)より下記の通り推計。 45.7%=有用金属含有量(t) / 重量(t) ※PC(デスクトップ製)、PC(ノートブック製)、モニター(電子計算機用)の合計	47	0.0001%
FRP 船	50	17.1%	「FRP 廃船高度リサイクルシステム構築プロジェクト平成 14 年度報告書(要約版)」(国土交通省)の「Ⅱ FRP 船のリサイクル技術の確立」より 17.1%=金属(ステン、アルミ、鉄)の重量 / 総重量 ※リサイクルの実証試験のために収集した試験船 245 隻の総重量に占める金属の割合	9	0.00002%
鋼船 注3)	0	-	※平成 23 年度は実績なしのため設定対象外	-	-
その他船舶 注3)	0	-	※平成 23 年度は実績なしのため設定対象外	-	-
その他家電	4,296	42.5%	「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(第一次答申)」(平成 24 年 1 月 31 日・中央環境審議会)の表8「1年間に使用済みとなる小型電気電子機器の台数・重量と有用金属含有量」(推計値)より下記の通り推計。 42.5%=有用金属含有量(t) / 重量(t) ※PC(デスクトップ製)、PC(ノートブック製)、モニター(電子計算機用)を除く、93 品目の合計	1,827	0.0038%
消火器	57	39.5%	「(株)消火器リサイクル推進センター」にヒアリングをおこなったところ、「回収された消火器に占める金属の割合は鉄 23%、アルミ 1.5%、その他金属・非鉄金属 15%である」とのことから、それらの合計である 39.5%を設定。	23	0.00005%
ガスボンベ	24	100.0%	高圧ガスのボンベについては、容器保安規則において規定されている。一般に金属製のため 100%と設定。	24	0.0001%

注 1)一廃統計(平成 23 年度実績)における直接資源量及び処理後再生利用量の合計

注 2)鉄源年報(日本鉄源協会)の鉄スクラップ消費量及び、生産動態統計(経済産業省)における非鉄金属スクラップの消費量の合計

注 3)平成 23 年度一般廃棄物統計においては直接資源化量及び処理後再生利用量が 0 であった。

(7) 家電4品目

○「家電リサイクル年次報告書(平成 23 年度版)」(平成 24 年 7 月・一般財団法人家電リサイクル協会)  
([https://www.aeha.or.jp/recycling\\_report/pdf/kadennenji23.pdf](https://www.aeha.or.jp/recycling_report/pdf/kadennenji23.pdf)) より。

4 品目合計の素材別再商品化量<sup>(1)</sup> (単位: t)

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	1年間合計
鉄	110,555	127,171	134,769	143,321	145,034	142,429	146,800	151,822	176,518	218,210	180,095	1,676,724
銅	5,423	7,901	8,791	10,028	11,883	12,259	13,261	15,131	19,272	28,290	20,861	153,100
アルミニウム	965	1,845	1,875	2,298	3,324	2,920	9,644	10,624	11,631	17,639	14,336	77,101
非鉄・鉄等混合物	41,406	56,035	55,671	61,790	69,334	65,497	58,755	58,797	64,111	82,079	68,252	681,727
ブラウン管ガラス	45,153	55,075	55,975	60,818	53,727	52,394	68,269	83,749	137,644	217,846	122,452	953,102
その他有価物	7,462	14,785	25,400	32,799	50,761	69,344	81,609	94,276	127,695	181,884	149,815	835,830
計	210,964	262,812	282,481	311,054	334,063	344,843	378,338	414,399	536,871	745,948	555,811	4,377,584

表 57 家電4品目合計の素材別再商品化量(t)

	H23
鉄	180,095
銅	20,861
アルミニウム	14,336
非鉄・鉄等混合物	68,252
ブラウン管ガラス	122,452
その他有価物	149,815
合計	555,811

表 58 家電4品目合計の鉄、銅、アルミニウムの割合

	①再商品化量 合計(t)	②鉄、銅、 アルミニウム 再商品化量計(t)	割合 (②/①) (%)
家電4品目	555,811	215,292	38.7%

(イ) パソコン

○「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(第一次答申)」(平成 24 年 1 月 31 日)中央環境審議会  
(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14767>)より

表 8 1 年間に使用済みとなる小型電気電子機器の台数・重量と有用金属含有量

分類	品目	台数(台)	重量(t)	有用金属含有量※	
				重量(t)	金額(万円)
電子計算機	PC(デスクトップ型)	5,013,000	40,906	20,910	1,584,337
	PC(ノートブック型)	6,696,000	13,995	2,959	1,176,312
	モニター(電子計算機用)	5,385,333	28,758	14,351	147,770
	プリンター	5,638,667	56,499	30,088	553,846
	フォトプリンター	135,114	132	72	2,562

表 59 1 年間に使用済みとなる小型電気電子機器の重量と有用金属含有量(PC、モニターを抜粋)

品目	①重量(t)	②有用金属含有量※(t)	割合(②/①)(%)
PC(デスクトップ型)	40,906	20,910	51.1%
PC(ノートブック型)	13,995	2,959	21.1%
モニター(電子計算機用)	28,758	14,351	49.9%
合計	83,659	38,220	45.7%

※Fe(鉄)、Cu(銅)、Al(アルミニウム)、Pb(鉛)、Zn(亜鉛)、Ag(銀)、Au(金)、Sb(アンチモン)、Ta(タンタル)、W(タングステン)、Nd(ネオジウム)、Co(コバルト)、Bi(ビスマス)、Pd(パラジウム)について推計している。

(ウ)FRP船

○「FRP廃船高度リサイクルシステム構築プロジェクト平成14年度報告書(要約版)」(国土交通省)の「Ⅱ FRP船のリサイクル技術の確立」より

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/10/100702\\_2\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/10/100702_2_.html)

	浜名湖	横浜	広島	因島	合計	造船所
<b>FRP材(用途別)</b>	<b>10.46</b>	<b>22.89</b>	<b>19.14</b>	<b>17.16</b>	<b>69.45 (46%)</b>	<b>2.54</b>
総合実証試験	6.64	16.76	19.14	17.16	59.70	2.54
要素技術開発	3.82				3.82	
その他手法		5.93			5.93	
<b>非FRP材(製品別)</b>	<b>17.06</b>	<b>28.26</b>	<b>19.71</b>	<b>17.22</b>	<b>82.25 (54%)</b>	
金属(ステン、アル、鉄)	1.74	13.50	4.73	5.90	25.87	
木片	1.60	1.41	13.78	8.80	25.59	
その他(内装品、ウレタン、バッテリー、オイル)	13.72	13.35	1.20	2.52	30.79	
<b>合計</b>	<b>27.52</b>	<b>50.89</b>	<b>38.85</b>	<b>34.38</b>	<b>151.70</b>	

表 60 FRP船(試験船)における総重量に占める金属の割合

品目	①総重量(t)	②金属(ステン、アルミ、鉄)	割合(②/①)(%)
FRP船	151.7	25.87	17.1%

(I) その他家電

○「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について(第一次答申)」(平成 24 年 1 月 31 日)中央環境審議会  
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14767>

電子計算機	PC(デスクトップ型)	5,013,000	40,906	20,910	1,584,337
	PC(ノートブック型)	6,696,000	13,995	2,959	1,176,312
	モニター(電子計算機用)	5,385,333	28,758	14,351	147,770
	プリンタ	5,638,667	36,499	30,066	553,846
	フォトプリンター	135,114	132	72	2,562
AVアンプ	1,108,558	134	150	2,343	
合計	1,156,751.09	650,539	279,299	8,436,025	

表 61 1年間に使用済みとなる小型電気電子機器の重量と有用金属含有量

品目	①重量 (t)	②有用金属 含有量※ (t)	割合 (②/①) (%)
PC(デスクトップ型)	40,906	20,910	51.1%
PC(ノートブック型)	13,995	2,959	21.1%
モニター(電子計算機用)	28,758	14,351	49.9%
計	83,659	38,220	45.7%
96品目計	650,539	279,299	42.9%
93品目計(PC、モニター除く)	566,880	241,079	42.5%

※Fe(鉄)、Cu(銅)、Al(アルミニウム)、Pb(鉛)、Zn(亜鉛)、Ag(銀)、Au(金)、Sb(アンチモン)、Ta(タンタル)、W(タングステン)、Nd(ネオジウム)、Co(コバルト)、Bi(ビスマス)、Pd(パラジウム)について推計している。

### 3.3 一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について

#### (1) 本調査のペットボトル焼却処理量とPET協議会推計値の差の確認結果

##### (ア) 本調査及びPET協議会で推計対象としているペットボトルの範囲（用途・容量）

本調査及びPET協議会が推計対象としているペットボトルは表62のとおりである。

本調査の推計対象(詳細はp.68)は、容量・用途に限らずすべてのペットボトル(ポリエチレンテレフタレート樹脂を用いて作られたすべてのボトル)であり、対してPET協議会の推計対象(詳細はp.69)は、資源有効利用促進法で指定表示製品となっている150ml以上の特定用途のペットボトル(飲料用および特定調味料(しょうゆ、みりん等)用)となっている。

表 62 本調査及びPET協議会で推計対象とするペットボトルの範囲(用途・容量)

推計対象とするペットボトルの範囲		調査名	
用途	容量	本調査	PET協議会調査
<b>飲料用</b> (清涼飲料水、果汁飲料、酒類、乳飲料等) <b>特定調味料</b> (しょうゆ、しょうゆ加工品、みりん風調味料、食酢、調味酢、ドレッシングタイプ調味料(食用油を含まないもの))	≥150ml	○	○
	<150ml	○	—
<b>飲料用及び特定調味料以外の用途</b> ・食用油脂を含むもの (食用油、オイル成分を含むドレッシング等) ・香辛料の強いもの(ソース、焼肉のたれ等) ・非食品用途全般 (洗剤、シャンプー、化粧品、医薬品等)	≥150ml	○	—
	<150ml	○	—

(イ) 本調査及びPET協議会で推計対象としているペットボトルの量

本調査及びPET協議会で推計対象としているペットボトルの量を表 63に示し、各量の推計方法を表 64に示した。

循環利用量調査では、一般廃棄物処理事業実態調査（以下、一廃統計）の一般廃棄物全体の処理量や、ペットボトルとしての再資源化量に基づきペットボトルの循環利用量、焼却処理量、直接最終処分量を推計しており、一廃統計の報告対象となっている施設において処理・処分されたペットボトルが推計対象となる。

一方、PET協議会が推計しているのは販売量、回収量、処理量のうち再資源化量であり、焼却処理量や直接最終処分量は推計していない。また、再資源化量の推計には一廃統計は用いられず、表 64に示したとおり、国内向けに地方公共団体と事業者が回収した量のうち再資源化される量と、海外向けに輸出される量のうち再資源化される量の和として推計している。従って、一廃統計の報告対象となっていない民間の施設や海外の施設で処理されたペットボトルについても推計対象となる。

表 63 本調査とPET協議会で推計対象とするペットボトルの量

推計対象としている量		循環利用量調査		PET協議会		
製品としてのペットボトル	販売量	/		販売量	国内製品販売量 <sup>7)</sup>	
					海外製品販売量 <sup>8)</sup>	
使用済み製品としてのペットボトル	回収量	/		回収量	国内向け回収量 <sup>9)</sup>	
					ペットボトル輸出量 <sup>10)</sup>	
	処理量	循環利用量(焼却施設以外) <sup>1)</sup>		再資源化量	国内向け回収量のうち、国内再資源化量 <sup>11)</sup>	
		焼却処理量 <sup>2)</sup>	循環利用量(焼却施設以外) <sup>3)</sup>		/	ペットボトル輸出量のうち、海外再資源化量 <sup>12)</sup>
			減量化量 <sup>4)</sup>			
直接最終処分量 <sup>6)</sup>	/					

表 64 本調査とPET協議会による各推計値の推計方法(Noは表 63に対応)

循環利用量調査		
No	推計値	推計方法
1)	循環利用量(焼却施設以外)	= ペットボトルの直接再資源化量(一廃統計) + 焼却施設以外のペットボトルの処理後再資源化量(一廃統計)
2)	焼却処理量	= 一般廃棄物全体の焼却処理量(一廃統計) × ペットボトルの内訳比率(推計値)
3)	循環利用量(焼却施設)	= 焼却施設のペットボトルの再資源化量(推計値)
4)	減量化量	= 一般廃棄物全体の減量化量(一廃統計) × ペットボトルの内訳比率(推計値)
5)	焼却処理後埋立量	= 一般廃棄物全体の焼却処理後最終処分量(一廃統計) × ペットボトルの内訳比率(推計値)
6)	直接埋立量	= 一般廃棄物全体の直接最終処分量(一廃統計) × ペットボトルの内訳比率(推計値)

PET協議会		
No	推計値	推計方法
7)	国内製品販売量	PET協議会調べ
8)	海外製品販売量	PET協議会調べ
9)	国内向け回収量	= 国内向け市町村回収分+国内向け事業系回収分 = 市町村回収量(環境省)×国内処理割合(PET協議会) + 事業系回収量(PET協議会)×国内処理割合(PET協議会)
10)	ペットボトル輸出量	= {ペットくず輸出量(財務省)-国内再商品化後輸出量(容リ協会)} × ペットくず中使済済みペットボトルの割合(PET協議会)
11)	国内再資源化量	= 国内向け市町村回収分×再資源化率(容リ協会) + 国内向け事業系回収分×再資源化率(PET協議会)
12)	海外再資源化量	= {市町村回収量(環境省)×(1-国内処理割合(容リ協会)) }×再資源化率(容リ協会) + {PETボトル輸出量-市町村回収量(環境省) ×(1-国内処理割合(容リ協会))} ×再資源化率(PET協議会)

(注)PET 協議会の推計方法の詳細は p.70 参照)

(ウ) 本調査及びPET協議会のペットボトルの平成23年度推計値

本調査及びPET協議会のペットボトルの平成23年度推計値を図12に示した。

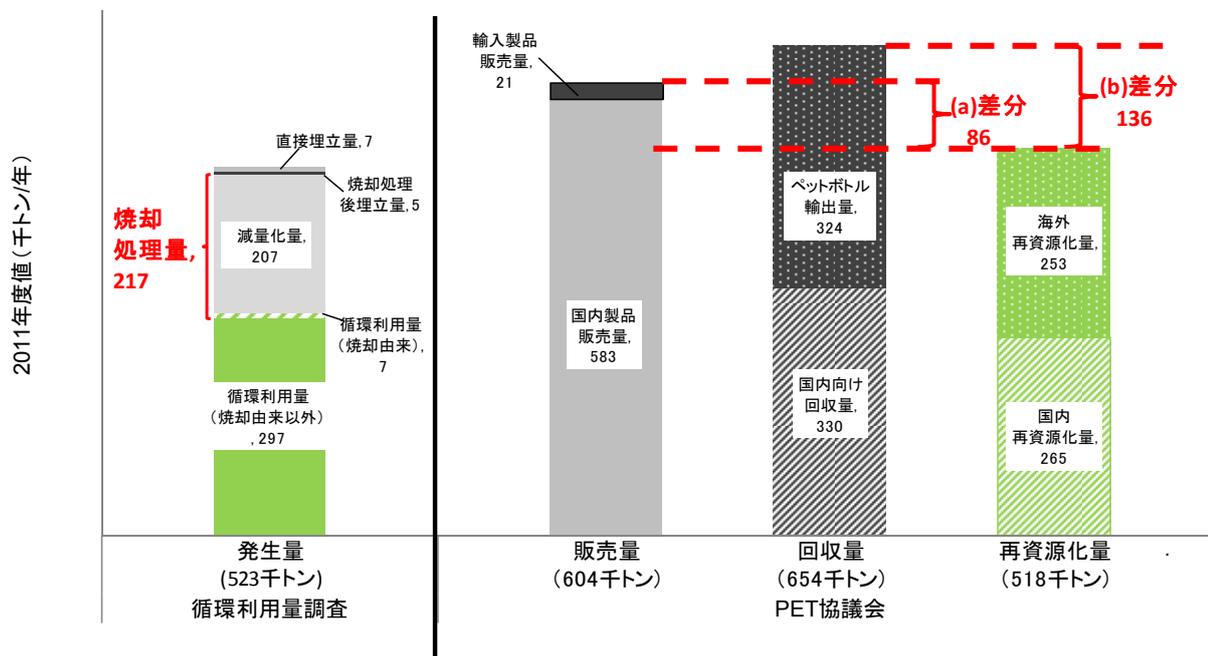


図12 本調査及びPET協議会のペットボトルの平成23年度推計値

本調査におけるペットボトルの焼却処理量（平成23年度値）と、PET協議会の販売量、回収量及び再資源化量は直接比較できないが、以下の(a), (b)の量を求めることで代替的に比較することが考えられる。

- |                      |
|----------------------|
| (a)販売量から再資源化量を差し引いた量 |
| (b)回収量から再資源化量を差し引いた量 |

表 65に示した通り、(a)販売量(60万4千トン)から再資源化量(51万8千トン)を引いた量は8万6千トンであり、(b)回収量(65万4千トン)から再資源化量(51万8千トン)を引いた量は13万6千トンとなる。

本調査の焼却処理量(21万7千トン)との差は、(a)販売量から再資源化量を引いた量との差で13万1千トン、(b)回収量から再資源化量を引いた量との差で8万1千トンとなる。

表 65 本調査の焼却処理量とPET協議会推計値を用いた代替値の比較

循環利用量調査	PET 協議会	
焼却処理量	(a)販売量から再資源化量を差し引いた量(販売量－再資源化量)	(b)回収量から再資源化量を差し引いた量(回収量－再資源化量)
21万7千トン	8万6千トン (本調査との差13万1千トン)	13万6千トン (本調査との差8万1千トン)
発生量に対する 焼却処理量の比率:39%	販売量に対する(a)の比率:14%	回収量に対する(b)の比率:21%

(注)PET協議会の再資源化量の算出方法について

PET協議会では推計した回収量に下記の比率を乗じて再資源化量を算出している。

- ・市町村回収での再資源化率(81.2% 日本容器包装リサイクル協会データ)
- ・事業系回収での再資源化率(77.7% PET協議会調べ)

上記の比率が変化すると再資源化量が変化するが、出典とされる資料は公表されていない。

(注)PET協議会の直接最終処分量について

表 65 に示した通り、(a)及び(b)の量には直接最終処分されるペットボトルの量も含まれている可能性があるが、2011年度の循環利用量調査の直接最終処分量6千トンは、焼却処理量192千トンに対して十分小さいため、ここでは(a)及び(b)の量は全量焼却施設で処理される量と仮定して数値を比較した。

#### ①PET協議会が推計しているペットボトルの回収量について

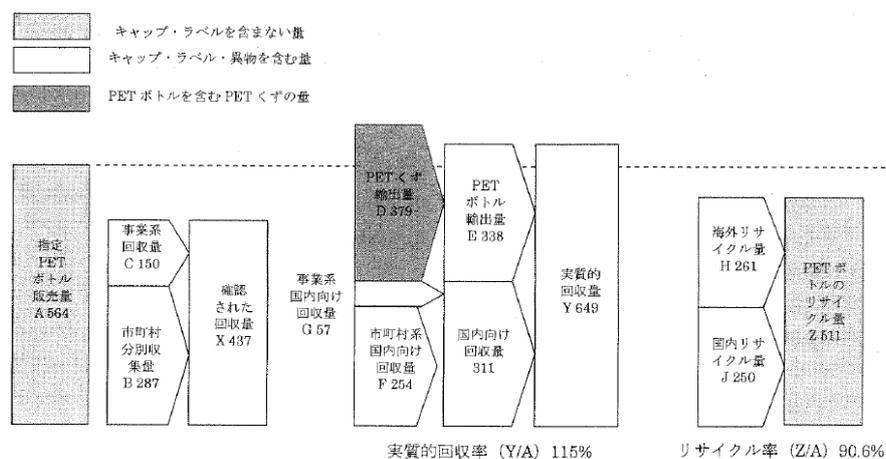
PET協議会における回収量は、販売量よりも5万トン多く推計されているが、その理由については公表資料では説明されていない。また、回収量65万4千トンは、国内向け回収量33万トンとペットボトル輸出量32万4千トンの合計としているが、市町村回収量28万9千トン(環境省)と事業系回収量18万3千トン(PET協議会調べ)の合計47万2千トンよりも18万2千トン多く、その差にはどのような回収経路で回収されたものが含まれるのか、公表資料では説明されていない。そのため、回収量から再資源化量を差し引いた量と本調査の焼却処理量の差が何に起因するものなのか確認できない。

また、PET協議会の推計値については廃棄物資源循環学会に掲載された論文<sup>9</sup>でも下記の課題が挙げられており、特にPET協議会が回収量に計上しているペットボトル輸出量の由来が説明できないため、PET協議会をはじめとする関係主体から詳細なデータ提供や協力の下、回収量の出自を明らかにした、より正確な国内のマテリアルフローを作成する必要があると指摘している。

<sup>9</sup> 寺園淳,林廣和,吉田綾,中谷隼,森口雄一,使用済み PET ボトルの国内外マテリアルフローと中国におけるプラスチックリサイクル,廃棄物資源循環学会誌, Vol.22, No.2, pp.125-139,2011

[ペットボトル回収量と再資源化量に関する課題]

- ・関係主体別に示されていないため、各々の取引量が理解しにくい
- ・実質的回収率が 100%を超えておりペットボトル輸出量の由来が説明できない。
- ・事業系回収量の未把握分やごみへの混入分が不明である。
- ・国外分も含めてリサイクル率を計上するのが妥当か



PET ボトルリサイクル年次報告書 2010 年度版<sup>7)</sup>を修正して作成

図 3 PET ボトルリサイクル推進協議会による PET ボトルの実質的回収率とリサイクル率 (2009 年度, 単位: 千 ton)

図 13 廃棄物資源循環学会誌からの引用図

(2) 本調査におけるペットボトル焼却処理量の推計方法と海外輸出分の扱いの確認結果

(ア) 本調査におけるペットボトルの焼却処理量の推計方法

本調査のペットボトルの焼却処理量は、環境省の廃棄物統計等から値を直接参照しているのではなく、一般廃棄物処理事業実態調査(以下「一廃統計」という。)の一般廃棄物全体の焼却処理量 3,377 万トン(平成 23 年度速報値)に、ペットボトルの内訳比率 0.57%を乗じて推計している。ペットボトルの内訳比率 0.57%は、容器包装廃棄物の使用・排出実態調査(環境省)やごみ排出原単位等実態調査(東京 23 区清掃一部事務組合)による組成調査結果を基に推計している。

(イ) 本調査における海外へ輸出されたペットボトルの扱い

一廃統計では、地方公共団体等の処理施設で搬入・処理されたペットボトル(主に市町村回収されたペットボトル)の量を把握しており、「海外に輸出されるペットボトルの量」を直接把握していないが、調査で把握された一般廃棄物の資源化量に「海外に輸出されるペットボトルの量」が含まれていると考えられる。一廃統計の一般廃棄物全体の焼却処理量には、資源化量の一部である「海外に輸出されるペットボトルの量」は含まれないため、本調査のペットボトルの焼却処理量においても「海外に輸出されるペットボトルの量」は含まれない。

### (3) 確認結果

#### (ア) 本調査のペットボトル焼却処理量とPET協議会推計値の差

- ・本調査とPET協議会では推計対象とするペットボトルの範囲（用途・容量）が異なり、かつ焼却処理量に相当する量がPET協議会では推計されていないため、直接数値を比較することが困難であることが分かった。
- ・また、現時点では一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量は、それ単体では「わが国の物質フロー」や「温室効果ガス排出インベントリ算出」に利用されていない。
- ・従って、現時点においては本調査の焼却処理量をPETボトル協議会の公表値から推計した値を用いて見直すことはせず、今後も情報収集を継続しながら引き続き検討を行っていく。

#### (イ) 本調査におけるペットボトル焼却処理量の推計方法と海外輸出分の扱い

- ・ペットボトルの焼却処理量は一廃統計の一般廃棄物の焼却処理量に対して、本調査で推計したペットボトルの内訳比率を乗じて推計している。
- ・海外へ輸出されるペットボトルについては、循環利用量の一部（再資源化量のうち、海外に輸出された量）として把握されており、本調査の焼却処理量には計上されていない。

#### (4) 参考

##### (ア) 本調査において推計対象とするペットボトルの容量と用途

本調査で使用している下記2つの出典資料では、本調査におけるペットボトルは、ポリエチレンテレフタレート製のボトルであれば容量・用途に関係なく推計対象としている。

##### ○容器包装排出実態調査(家庭系一般廃棄物)

ペットボトルは用途別内訳(飲料、しょうゆ・本みりん、しょうゆ加工品、その他)ごとに把握されており、本調査ではその合計を使用している。その他には、食用油を含むものや非食品用途全般が含まれると考えられる。

また、ポリエチレンテレフタレート製以外のプラスチックボトルは、その他プラスチック製容器包装として別に把握される。

##### ○東京 23 区清掃一部事務組合(事業系一般廃棄物)

ペットボトルは用途別内訳(食品用、飲料用、その他)ごとに把握されており、本調査ではその合計を使用している。食品用には食用油を含むものが、その他には非食品用途全般が含まれると考えられる。

また、ポリエチレンテレフタレート以外のボトルはボトル類として別に把握される

## (イ)PET協議会が推計対象としている指定ペットボトルに関連する定義

PET協議会が推計対象としているペットボトルは、資源有効利用促進法で指定表示製品となっている150ml以上の特定用途のペットボトル（飲料用および特定調味料（しょうゆ、みりん等）用）である。以下に、1)指定表示製品、2)指定ペットボトル、3)特定調味料の定義を示す。

### ①指定表示製品の定義

それが一度使用され、又は使用されずに収集され、若しくは廃棄された後その全部又は一部を再生資源として利用することを目的として分別回収（類似の物品と分別して回収することをいう。以下同じ。）をするための表示をすることが当該再生資源の有効な利用を図る上で特に必要なものとして政令で定める製品をいう。

(出典:資源の有効な利用の促進に関する法律平成三年四月二十六日法律第四十八号)

### ②指定ペットボトルの定義

ポリエチレンテレフタレート製の容器(内容積が百五十ミリリットル以上のものに限る。以下「ポリエチレンテレフタレート製容器」という。)であって、飲料又は特定調味料(しょうゆ、食酢その他の主務省令で定める調味料をいう。以下この項及び六の項において同じ。)が充てんされたもの

(出典:資源の有効な利用の促進に関する法律施行令平成三年十月十八日政令第三百二十七号)

### ③特定調味料の定義

資源の有効な利用の促進に関する法律施行令 別表第五の四の項の上欄に規定する主務省令で定める調味料は、次に掲げる物品であって、食用油脂を含まず、かつ、簡易な洗浄により当該物品を充てんしたポリエチレンテレフタレート製の容器から当該物品及び当該物品の臭いを除去できるものとする。

一 しょうゆ

二 しょうゆ加工品(主たる原料としてしょうゆを用い、風味原料、果汁、食酢、砂糖類、みりんその他の調味料を加えたものをいう。)

三 みりん風調味料(主たる原料として砂糖類、米及び米麴を用い、穀類の糖化又は発酵の工程を経て生産されたものであって、アルコール分(酒税法(昭和二十八年法律第六号)第三条第一号に規定するアルコール分をいう。)が一度未満、エキス分(酒税法第三条第二号に規定するエキス分をいう。)が六十度以上であり、かつ、酸味料及び調味料以外の食品添加物を加えていないものに限る。)

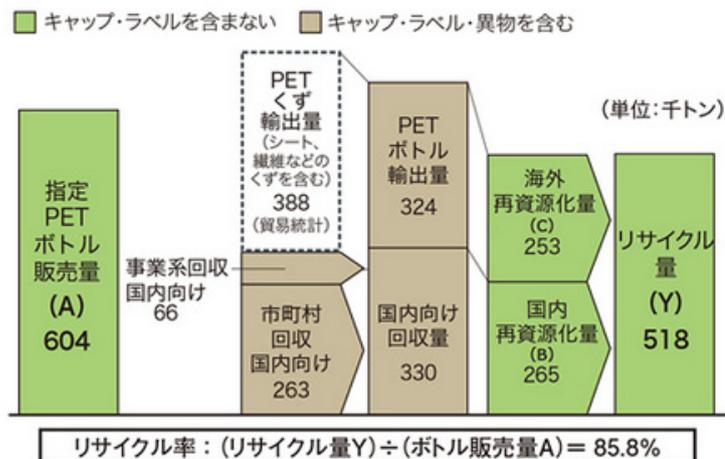
四 食酢

五 調味酢(主たる原料として食酢及び砂糖類を用い、果汁、しょうゆ、食塩その他の調味料を加えたものであって、主としてすし、酢の物及び漬物に用いるものをいう。)

六 ドレッシングタイプ調味料

(出典:資源の有効な利用の促進に関する法律施行令別表第五の四の項の上欄に規定する調味料に関する省令(平成二十年二月六日農林水産省・経済産業省令第一号))

(ウ)PET協議会による推計値と推計方法



【分母】指定PETボトル販売量

1) 国内製品販売量:582,547トン・・・【1】

2) 輸入製品販売量:21,404トン・・・【2】

推進協議会調べ

※ 指定PETボトル販売量

$$= 【1】 + 【2】 = 603,951 \text{トン} \dots A$$

【分子】使用済PETボトル再資源化量

1) 国内再資源化量

a) 市町村回収量(再商品化量): 288,196トン・・・【3】

環境省データ(速報値)

指定法人処理:194,996トン・・・【4】

日本容器包装リサイクル協会データ

独自処理量(【3】 - 【4】):93,200トン・・・【5】

b) 事業系ボトル回収量: 183,060トン・・・【6】

推進協議会調べ

c) 回収後の国内処理・海外処理の割合

市町村回収での国内処理割合91.3%・・・【7】

事業系回収での国内処理割合:36.3%・・・【8】

推進協議会調べ

d) 国内向け回収量

市町村回収国内向け量(【3】 × 【7】): 263,254・・・【9】

事業系回収国内向け量(【6】 × 【8】): 66,402・・・【10】

e) 再資源化率

市町村回収での再資源化率:81.2%・・・【11】

日本容器包装リサイクル協会データ

事業系回収での再資源化率:77.7%・・・【12】

推進協議会調べ

※ 国内再資源化量

$$= 【9】 \times 【11】 + 【10】 \times 【12】 = 265,289 \text{トン}$$

・・・B

2) 海外再資源化量

a) PETくず輸出量(中国、香港、台湾、タイ、マレーシア、インドネシア向け): 388,305トン・・・【13】

財務省発表貿易統計

b) 国内再商品化後輸出量:4,169トン・・・【14】

日本容器包装リサイクル協会データ

c) 輸出PETくず中の使用済みPETボトルの割合:84.3%・・・【15】

推進協議会調べ

d) PETボトル輸出量((【13】 - 【14】) × 【15】): 323,857トン・・・【16】

※ 海外再資源化量

= (市町村回収からの輸出分) - (事業系回収からの輸出分)

$$= 【13】 \times (1 - 【7】) \times 【11】 + (【16】 - 【3】 \times (1 - 【7】)) \times 【12】$$

$$= 252,628 \text{トン} \dots C$$

【リサイクル量・リサイクル率】

リサイクル量 = B + C = 517,918トン・・・Y

リサイクル率 = Y ÷ A = 85.8%

【参考】

・市町村分別収集量:297,914トン・・・【17】

環境省データ(速報値)

国内でのリサイクル率はB ÷ A = 43.9%となり、また、従来の回収率79.6%から、キャップ、ラベル等の異物を除いて、リサイクル率として算出すると((【3】 × 【11】 + 【6】 × 【12】) ÷ A) : 62.3%になります。

図 14 PET 協議会における推計値及び推計方法

### (I) ペットボトル販売量に関する確認結果

経済産業省化学工業統計における容器用ポリエチレンテレフタレート樹脂の2011年の生産量は17万8千トンであり、PET協議会による販売量60万4千トンの方が42万6千トン多い。

この差には財務省貿易統計で把握される海外から輸入されるポリエチレンテレフタレート樹脂81万トン的一部分が含まれると考えられるが、貿易統計では用途別に輸入量を把握できないため、何トンが容器用に輸入されたものかを把握できない。

### 3.4 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値及び平成23年度値の比較結果

環境省統計と経団連統計等を用いて産業廃棄物の最終処分量の経年的推移について平成19年度～平成23年度までの比較を行い、各統計間の状況を確認した。

- ・ 経団連統計に基づく積算値（経産省副産物調査との差分を含む）は、平成22年度の13,500千t/年から平成23年度では13,300千t/年と200千t/年減少している。
- ・ 環境省統計は平成22年度の14,260千t/年からH23では12,440千t/年と1,820千t/年減少している。
- ・ なお、参考値である許可業者実績報告（最終処分量）等は、平成22年度の15,610千t/年から平成23年度では16,750千t/年と1,140千t/年増加している。

平成24年度報告書からの変更箇所は以下のとおりである。

- ・ 経団連統計の平成19～22年度の最終処分量については経団連フォローアップ調査結果の2011年版から2012年版で以下の変更があった。  
（平成19年度：8,900→8,800千t/年、平成20年度：6,610→6,530千t/年、平成21年度：6,120→6,030千t/年、平成22年度：6,240→6,150千t/年）
- ・ 許可業者実績報告の平成21,22年度の最終処分量について、地方公共団体からの修正指示に伴い以下の変更があった。  
（平成21年度：10,740→10,090千t/年、平成22年度：10,850→11,560千t/年）

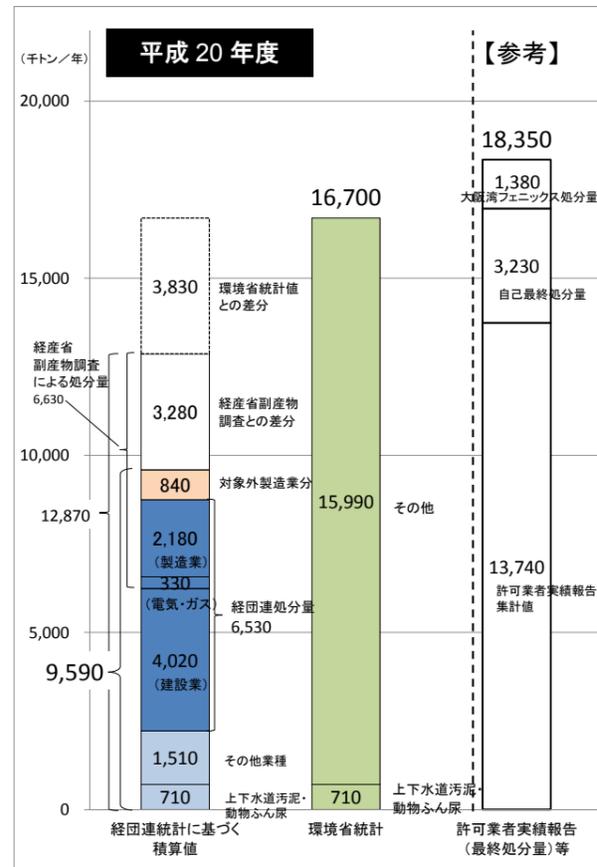


図 15 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 20 年度値)

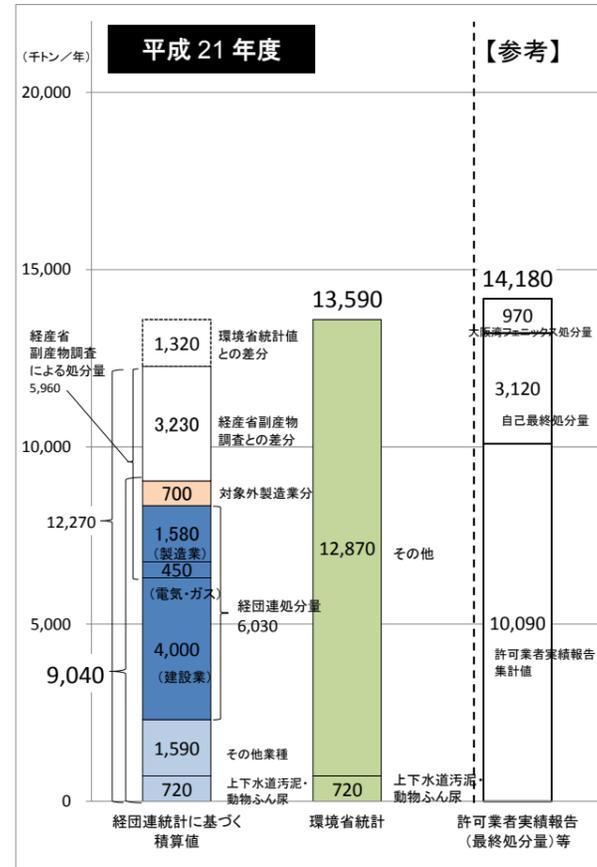


図 16 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 21 年度値)

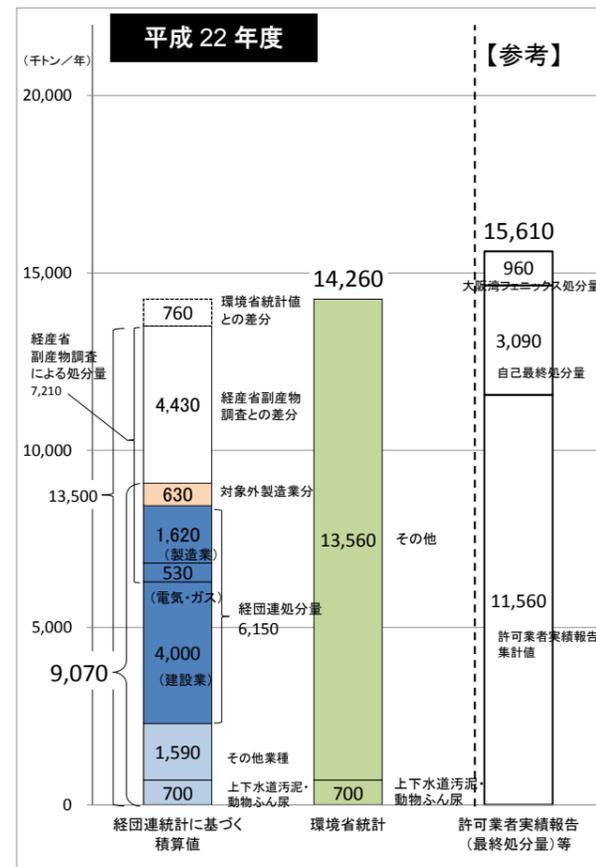


図 17 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 22 年度値)

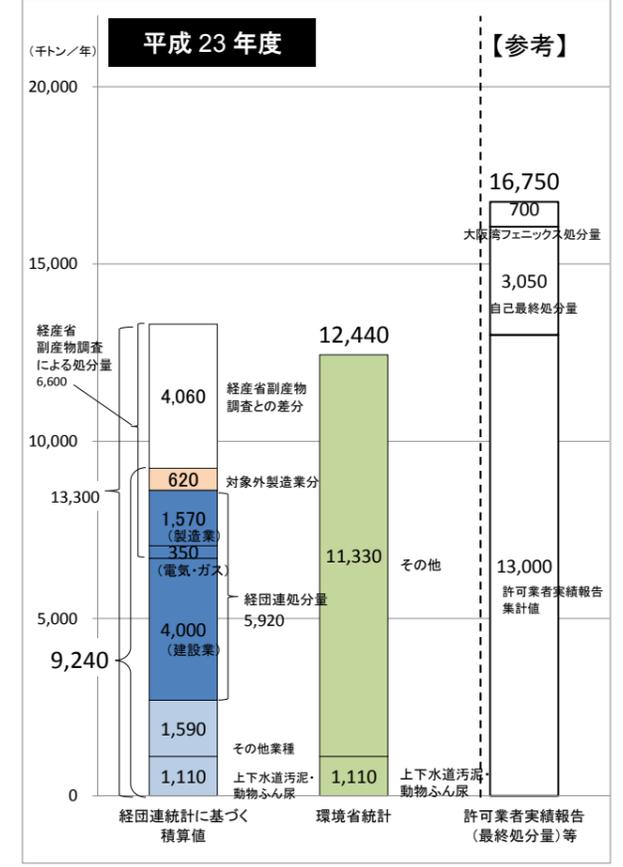


図 18 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 23 年度値)

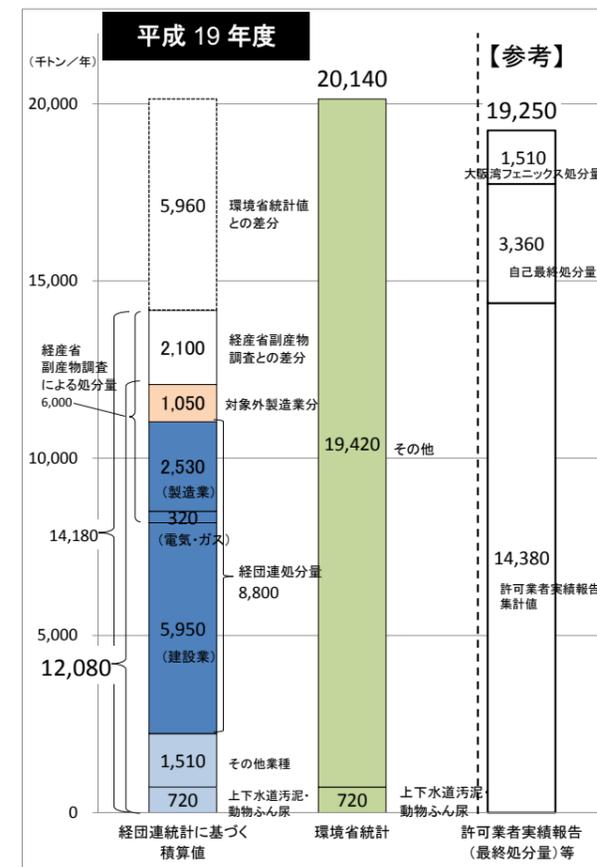
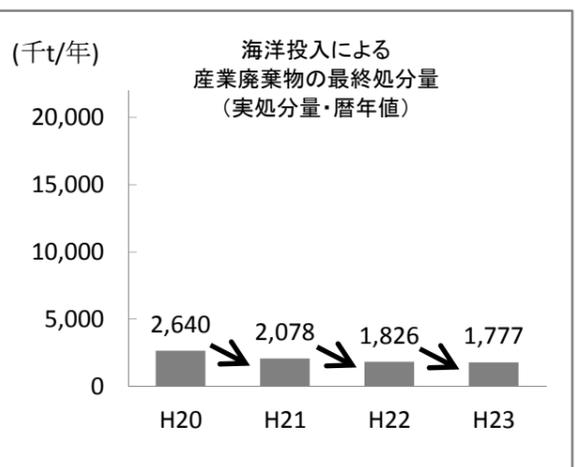
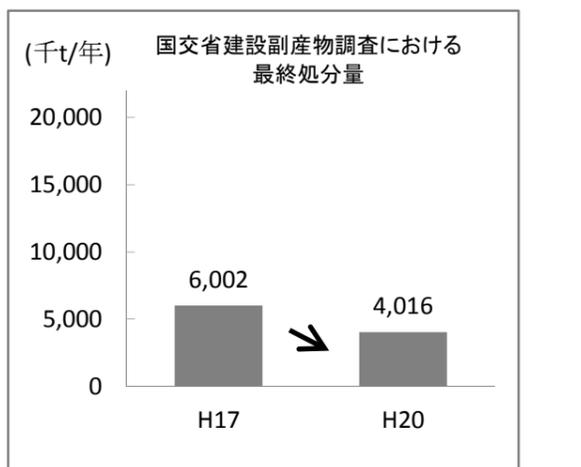
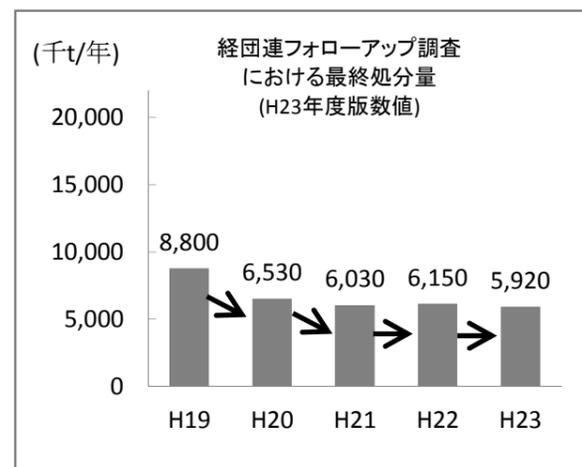
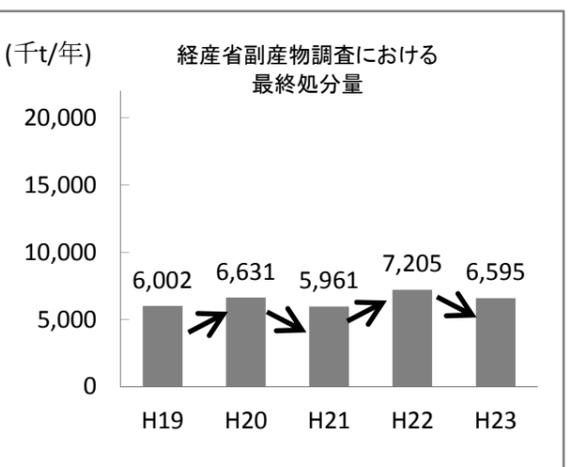
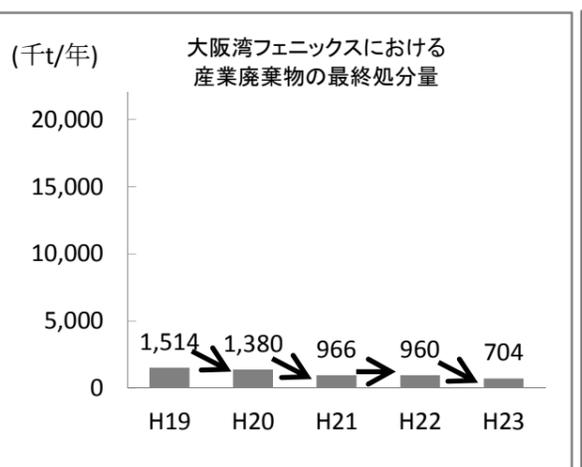
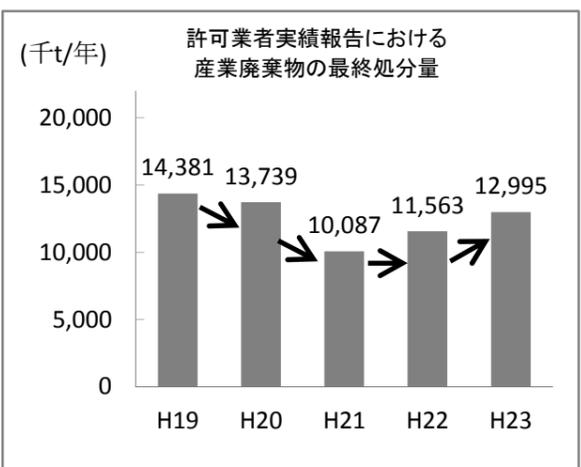
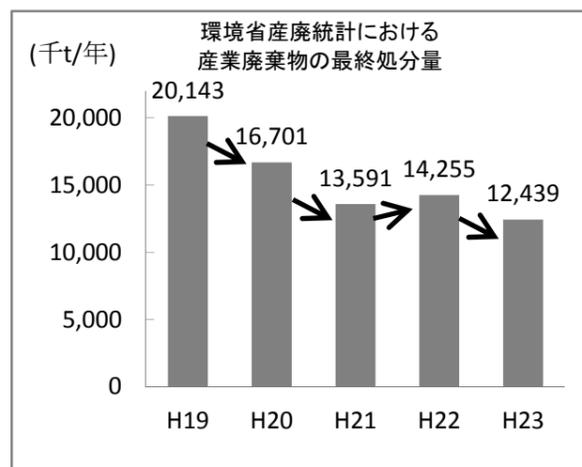


図 19 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 19 年度値)

[出典]

- ・経団連統計に基づく積算値:(一社)日本経済団体連合会「環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕—2012 年度フォローアップ調査結果—〈個別業種編〉」、経済産業省「産業分類別の副産物発生状況等に関する調査報告書」(平成 19~23 年度実績)
- ・環境省統計:環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査」(平成 19~23 年度実績)
- ・許可業者実績報告(最終処分量)等:許可業者実績報告集計値・環境省「廃棄物の広域移動対策検討調査」(平成 19~23 年度実績)、
- ・大阪湾フェニックス処分量:大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾広域臨海環境整備センター環境報告書 2012」



海洋投入による産業廃棄物の最終処分量内訳(実処分量・暦年値) (千t/年)

	H20	H21	H22	H23
ボーキサイト汚泥(赤泥)	1,550	1,258	1,060	903
建設汚泥	1,060	805	766	874
焼酎かす	30	16	0	0
合計	2,640	2,078	1,826	1,777

出典: 環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室

図 20 統計データの H19~H23 比較(産業廃棄物の最終処分量)  
 ※ 国交省建設副産物調査は 3 年に 1 度の調査のため H17 及び H20 のみ。

## 4 インベントリ対応

### 4.1 一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の取りまとめ内容

#### (1) 一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の取りまとめ方針

「平成25年度循環利用量調査改善検討会（第1回）」（以下「第1回検討会」と言う）で提示した、わが国の物質フロー作成用、及びGHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出結果の取りまとめ方針は以下のとおりである。

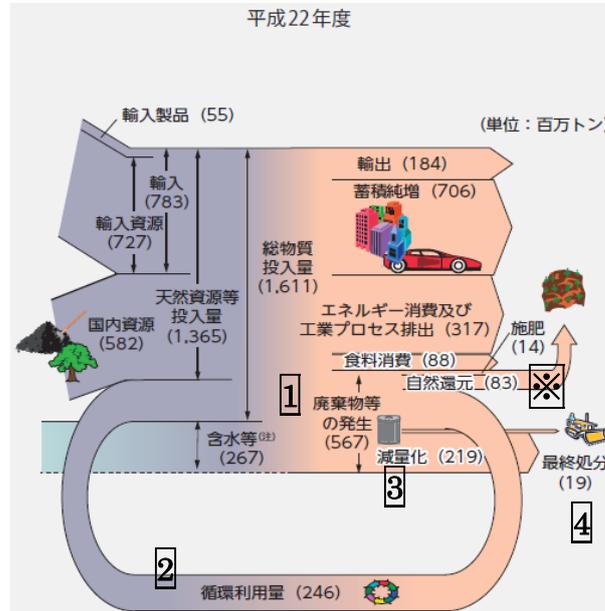
#### 【わが国の物質フロー作成用、及びGHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出結果の取りまとめ方針】

基本的には、一般廃棄物（災害廃棄物）と一般廃棄物（災害廃棄物を除く）を区分しない形でまとめた量を取りまとめることとする。なお、一般廃棄物（災害廃棄物）と一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の区分された量の取りまとめ内容については、基本的には、「平成24年度 一般廃棄物処理事業実態調査（平成23年度実績）」の公表内容にとどめるものとする。

(2) 「物質フロー・GHGインベントリ」で必要となる一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の内容

(7) 物質フロー作成で必要となる一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の内容

下記に平成22年度の我が国の「物質フロー」を示した。



注：含水等：廃棄物等の含水等（汚泥、家畜ふん尿、し尿、廃酸、廃アルカリ）及び経済活動に伴う土砂等の随伴投入（鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい）

※出典 「平成25年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」(平成24年6月、環境省)

図 21 平成22年度の我が国における物質フロー

我が国の「物質フロー」作成で必要となる一般廃棄物（災害廃棄物）の内容を下記に示した。緑でマークした項目（番号は上記の1~4と対応）はわが国の物質フロー作成で必要となる項目である。

表 66 物質フローの作成に必要な一般廃棄物(災害廃棄物)の平成23年度確定値の内容

処理項目		一般廃棄物(災害廃棄物)の区分 合計
物質フローの作成に必要な循環利用量等の区分	発生量	1
	循環利用量	2
	減量化量	3
	最終処分量	4

■ : 物質フロー作成に必要な項目

※自然還元量は、一般廃棄物（災害廃棄物）について現時点では該当するものはないと考えられるため、循環利用量から切出して計上する収集区分はないと整理する。

(イ) GHGインベントリ算出で必要となる一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の内容

①2013年度GHGインベントリ作成作業に必要な循環利用量等の情報

第1回検討会の開催後、温室効果ガスインベントリオフィス（以下「GIO」と言う）から、今年度のGHGインベントリの作成作業に必要な一般廃棄物の循環利用量等の情報として、「ペットボトル」「プラスチック」「一般廃棄物の合計」の焼却処理量と、「紙」「厨芥」「繊維」「木竹草類等」「し尿」の直接最終処分量及び処理後最終処分量が示された。

【2013年度GHGインベントリ作成作業に必要な循環利用量等の情報（一般廃棄物）】

① 「廃棄物の焼却に伴い排出される CO<sub>2</sub>・CH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O 量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却量

	一般廃棄物							し尿
	焼却量 合計	紙	ペット ボトル	プラス チック	厨芥	繊維	木竹草類 等	
GHG インベントリ算出に必要な焼却量の区分(○:対象)	○	/	○	○	/	/	/	/

② 「最終処分された有機性廃棄物が場内で生分解される際に排出される CH<sub>4</sub> 量」の算出に必要な一般廃棄物の最終処分量

		一般廃棄物						し尿
		紙	ペット ボトル	プラス チック	厨芥	繊維	木竹草類 等	
GHG インベントリ算出に必要な最終処分量の区分(○:対象)	直接最終処分	○	/	/	○	○	○	○
	処理後最終処分	○	/	/	○	○	○	○

※「2013年度GHGインベントリ作成作業(2012年度排出量)に必要な廃棄物等の循環利用量等の情報(国立環境研究所 温室効果ガスインベントリオフィス,2013年7月31日)」のうち、一般廃棄物の情報について抜粋

②東日本大震災により発生した災害廃棄物の処理に伴う温室効果ガス排出量の算出方法について

平成25年9月6日に開催された「平成25年度温室効果ガス算定方法検討会第1回廃棄物分科会」（以下「廃棄物分科会」と言う）では、一般廃棄物（災害廃棄物）の焼却処理及び最終処分に伴うGHG排出量の算出において、以下の表 67～表 69に示すとおり、一般廃棄物（災害廃棄物）の品目ごとに排出係数が設定されている。

表 67 一般廃棄物（災害廃棄物）の焼却処理に伴うCO<sub>2</sub>排出量の算出に用いるCO<sub>2</sub>排出係数

一般廃棄物（災害廃棄物）の品目	適用された排出係数
プラスチック類、その他可燃物、家電4品目、自動車、FRP船、漁網、その他	一般廃棄物のプラスチック
タイヤ	廃タイヤ

※「廃棄物分科会資料3-1, 表7 災害廃棄物の焼却量(2011年度)と石油由来成分割合の設定」より整理

表68 一般廃棄物（災害廃棄物）の焼却処理に伴うCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出量の算出に用いるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出係数

一般廃棄物（災害廃棄物）の品目	適用された排出係数
一般廃棄物（災害廃棄物） 【直接焼却・処理後焼却及びその合計】	バッチ燃焼式焼却炉のCH <sub>4</sub> 排出係数
	バッチ燃焼式焼却炉のN <sub>2</sub> O排出係数

※「廃棄物分科会資料3-1, 表6 災害廃棄物の焼却に対して適用するCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出係数」より整理

表 69 一般廃棄物（災害廃棄物）の最終処分に伴うCH<sub>4</sub>排出量の算出に用いるCH<sub>4</sub>排出係数

一般廃棄物（災害廃棄物）の品目	適用された排出係数
木くず、その他可燃物、畳、漂着ごみ	木くず
津波堆積物、その他	し尿汚泥

※1. 「廃棄物分科会資料3-1, 表4 災害廃棄物の最終処分量（2011年度）と生分解性成分割合の設定」より整理

※2. 漁網は排出係数を設定していないため、算出対象品目より除外。

※3. 第2回廃棄物分科会（平成26年度1月17日）での検討の結果、津波堆積物については、し尿汚泥とは性状が異なり、適用するCH<sub>4</sub>排出係数をし尿汚泥とは別に設定する必要があることから、別途、排出係数及び活動量を設定し、CH<sub>4</sub>排出量を算定することとなった。

### (3) 一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

一般廃棄物の平成23年度確定値については、P75の「(1)一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の取りまとめ方針」で示した方針に基づき、以下に示す取りまとめ内容により、物質フロー作成用、及びGHGインベントリ算出用に提供する。

### (7) 物質フロー作成用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

物質フロー作成用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容は下記表 70 のとおりである。

表 70 物質フロー作成用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

処理項目	合計	一般廃棄物(ごみ)		し尿
		一般廃棄物 (災害廃棄物 を除く)	一般廃棄物 (災害廃棄物)	
物質フローの 作成に必要な 循環利用量 等 (千t/年)	発生量	○	○	○
	循環利用量	○	○	○
	減量化量 <sup>※</sup>	○	○	○
	最終処分量	○	○	○

※一般廃棄物(ごみ)の減量化量は、「発生量」から「循環利用量」及び「最終処分量」を差し引いた値とした。

(イ)GHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

GHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容については、P75の「(1)一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の取りまとめ方針」で示した基本方針に従い、一般廃棄物（災害廃棄物）と一般廃棄物（災害廃棄物を除く）を区分しない形でまとめた量を取りまとめることとする。

①取りまとめ対象処理項目

取りまとめ対象とする処理項目は、GIOが示した「GHGインベントリの作成作業に必要な一般廃棄物の循環利用量等の情報」（P77の「4.1(2)(イ)①2013年度GHGインベントリ作成作業に必要な循環利用量等」参照）を受けて、焼却処理量と最終処分量とし、最終処分量は直接最終処分量と中間処理後最終処分量に分けることとする。

また、廃棄物分科会におけるGHG排出量の算定では、焼却処理量を直接焼却と処理後焼却に分けて算定を行っている（「表68 一般廃棄物（災害廃棄物）の焼却処理に伴うCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出量の算出に用いるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出係数」参照）ことを受けて、焼却処理量についても直接焼却量と中間処理後焼却量に分けることとする。

②取りまとめ対象品目

取りまとめ対象とする品目は、GIOが示した「GHGインベントリの作成作業に必要な一般廃棄物の循環利用量等の情報」（P77「4.1(2)(イ)①2013年度GHGインベントリ作成作業に必要な循環利用量等」参照）を受けて、焼却処理量については「ペットボトル」「プラスチック」「一般廃棄物の合計」とし、最終処分量については「紙」「厨芥」「繊維」「木竹草類等」「し尿」とする。

上記①及び②で示したGHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の取りまとめ対象処理項目と対象品目の関係は下記表71のとおりである。

表 71 GHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ対象処理項目・対象品目

(○:取りまとめ対象、×:取りまとめ対象外)

品目	焼却処理量		最終処分量	
	直接焼却量	中間処理後焼却量	直接最終処分量	中間処理後最終処分量
紙	×	×	○	○
ペットボトル	○	○	×	×
プラスチック	○	○	×	×
厨芥	×	×	○	○
繊維	×	×	○	○
木竹草類等	×	×	○	○
一般廃棄物の合計	○	○	×	×
し尿	×	×	○	○

### ③一般廃棄物（災害廃棄物）の品目の集約

一般廃棄物（災害廃棄物）の品目は、取りまとめの基本方針に従い、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の品目に集約する。品目の集約は、廃棄物分科会での災害廃棄物のGHG排出量の算出方法の検討の際に、算定対象となった災害廃棄物の品目を対象に、適用された排出係数を受けて、以下のとおりとする。

#### 【GHG インベントリ算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物）及び一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の品目の集約】

- 1) 一般廃棄物（災害廃棄物）の「プラスチック類」「その他可燃物」「家電4品目」「自動車」「FRP船」「漁網」「その他」の焼却処理量については、焼却処理に伴う CO<sub>2</sub> 排出量の算出において「一般廃棄物（災害廃棄物を除く）のプラスチック」の CO<sub>2</sub> 排出係数が適用されていることから、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の「プラスチック」の焼却処理量に含めることとする。
- 2) 一般廃棄物（災害廃棄物）の「タイヤ」の焼却処理量については、焼却処理に伴う CO<sub>2</sub> 排出量の算出において「廃タイヤ」の CO<sub>2</sub> 排出係数が適用されているが、該当する一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の品目はない。そのため、循環利用量調査では産業廃棄物の廃タイヤを廃プラスチック類の内訳として整理していることと同様に、一般廃棄物（災害廃棄物）の「タイヤ」の焼却処理量は「プラスチック」の焼却処理量に含めることとする。
- 3) 一般廃棄物（災害廃棄物）の「木くず」「その他可燃物」「畳」「漂着ごみ」の最終処分量については、最終処分に伴う CH<sub>4</sub> 排出量の算出において「木くず」の CH<sub>4</sub> 排出係数が適用されていることから、「木竹草類等」の最終処分量に含めることとする。
- 4) 一般廃棄物（災害廃棄物）の「津波堆積物」「その他」の最終処分量については、最終処分に伴う CH<sub>4</sub> 排出量の算出において「し尿汚泥」の CH<sub>4</sub> 排出係数が適用されている\*ことから、「し尿」の最終処分量に含めることとする。

※第2回廃棄物分科会（平成26年度1月17日）での検討の結果、津波堆積物については、し尿汚泥とは性状が異なり、適用する CH<sub>4</sub> 排出係数をし尿汚泥とは別に設定する必要があることから、別途、排出係数及び活動量を設定し、CH<sub>4</sub> 排出量を算定することとなった。

④GHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

上記①～③までの内容を集約したGHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容は、下記表 72のとおりである。

表 72 GHGインベントリ算出用に提供する一般廃棄物の平成23年度確定値の取りまとめ内容

(○:取りまとめ対象、×:取りまとめ対象外)

品目		ごみ処理状況					
		一般廃棄物 (災害廃棄物を除く) 及びし尿	一般廃棄物 (災害廃棄物)	焼却処理量		最終処分量	
				直接焼却処 理量	中間処理後 焼却処理量	直接最終処 分量	中間処理後 最終処分量
一 般 廃 棄 物	紙	—	×	×	○	○	
	金属	—	×	×	×	×	
	ガラス	—	×	×	×	×	
	ペットボトル	—	○	○	×	×	
	プラスチック	プラスチック類、その他可燃物 ※ <sup>1</sup> 、家電4品目、自動車、FRP 船、漁網、タイヤ、その他※ <sup>2</sup>	○	○	×	×	
	厨芥	—	×	×	○	○	
	繊維	—	×	×	○	○	
	木竹草類等	木くず、その他可燃物※ <sup>1</sup> 、畳、 漂着ごみ	×	×	○	○	
	陶磁器類等	—	×	×	×	×	
	合計	一般廃棄物(災害廃棄物)の合 計	○	○	×	×	
し尿	津波堆積物※ <sup>3</sup> 、その他※ <sup>2</sup>	×	×	○	○		

※1. 一般廃棄物(災害廃棄物)の「その他可燃物」については、焼却処理に伴うCO<sub>2</sub>排出量の算出では「プラスチック」のCO<sub>2</sub>排出係数、最終処分に伴うCH<sub>4</sub>排出量の算出では「木くず」のCH<sub>4</sub>排出係数が用いられているため、焼却処理量は「プラスチック」に、最終処分量は「木竹草類等」に含めている。

※2. 一般廃棄物(災害廃棄物)の「その他」については、焼却処理に伴うCO<sub>2</sub>排出量の算出では「プラスチック」のCO<sub>2</sub>排出係数、最終処分に伴うCH<sub>4</sub>排出量の算出では「し尿汚泥」のCH<sub>4</sub>排出係数が用いられているため、焼却処理量は「プラスチック」に、最終処分量は「し尿」に含めている。

※3. 第2回廃棄物分科会(平成26年度1月17日)での検討の結果、津波堆積物については、し尿汚泥とは性状が異なり、適用するCH<sub>4</sub>排出係数をし尿汚泥とは別に設定する必要があることから、別途、排出係数及び活動量を設定し、CH<sub>4</sub>排出量を算定することとなった。

## 4.2 一般廃棄物（災害廃棄物）の平成24年度速報値の算出方法及び算出結果

### (1) 算出方法の概要

「平成25年度一般廃棄物処理事業実態調査の速報値（平成24年度実績）」（以下、「一廃統計（平成24年度速報値）」と言う）から、一般廃棄物（災害廃棄物）の平成24年度速報値を算出する方法は、平成23年度確定値の算出方法と同様する。詳細については、「3.1一般廃棄物（災害廃棄物）の平成23年度確定値の算出方法」を参照のこと。なお、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率については、対象年度における内訳比率設定方法に従い年度更新を行う。加えて、焼却施設については、既設分と仮設分に分けて適用する品目別内訳比率を設定する。

(2) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定

表 73～75 に地方公共団体の一般廃棄物(災害廃棄物)に関する公表資料等を用いた「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値を示す。

表 73 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(平成24年度速報値)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出への適用案)																																																																																																																																																																																																																			
	混合ごみ		可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ		粗大ごみ		混合ごみ		可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ		粗大ごみ																																																																																																																																																																																																						
	既設焼却炉																																																																																																																																																																																																																								
焼却施設	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 昨年度設定した岩手県の比率と、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物発生量で加重平均して比率を設定する。</p>					<p>○設定方法 一廃統計(平成23年度実績)の不燃ごみについては、全量が太平洋セメント大船渡工場で焼却処理されていたことから、太平洋セメント大船渡工場の現地調査結果(搬入される不燃ごみは、20mm以下の土砂類)を踏まえ、すべて「その他不燃物」と設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 仙台市の「平成23年度一般廃棄物処理年報(平成23年度実績)」から、「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定する。</p>					<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>					<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 平成23年度設定した岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率と、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物発生量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 一廃統計(平成24年度実績)の焼却施設の不燃ごみについては、平成23年度と同様、全量が太平洋セメント大船渡工場で焼却処理されていることから、太平洋セメント大船渡工場の現地調査結果(搬入される不燃ごみは、20mm以下の土砂類)を踏まえ、すべて「その他不燃物」と設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>																																																																																																																																																																																
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木くず</td><td>34.8%</td><td>木くず</td><td>44.1%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>33.5%</td><td>木くず</td><td>43.6%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.2%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.2%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>18.4%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>プラスチック類</td><td>7.6%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>32.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>7.5%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>その他可燃</td><td>13.6%</td><td>その他可燃</td><td>50.7%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>34.0%</td><td>その他可燃</td><td>13.2%</td><td>その他可燃</td><td>51.3%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>その他不燃物</td><td>44.0%</td><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td><td>その他不燃物</td><td>4.7%</td><td>その他不燃物</td><td>4.7%</td><td>その他不燃物</td><td>45.8%</td><td>その他不燃物</td><td>1.8%</td><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td><td>その他不燃物</td><td>1.1%</td><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>																				品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	木くず	34.8%	木くず	44.1%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	33.5%	木くず	43.6%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.6%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	7.5%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	13.6%	その他可燃	50.7%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	13.2%	その他可燃	51.3%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	44.0%	その他不燃物	1.9%	その他不燃物	100.0%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	45.8%	その他不燃物	1.8%	その他不燃物	100.0%	その他不燃物	4.2%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	24.5%	合計	100.0%	合計																		
品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																				
木くず	34.8%	木くず	44.1%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	33.5%	木くず	43.6%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																				
金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																				
コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																				
その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																				
プラスチック類	7.6%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	7.5%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																				
その他可燃	13.6%	その他可燃	50.7%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	13.2%	その他可燃	51.3%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%	その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																																				
その他不燃物	44.0%	その他不燃物	1.9%	その他不燃物	100.0%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	45.8%	その他不燃物	1.8%	その他不燃物	100.0%	その他不燃物	4.2%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																																				
合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%																																																																																																																																																																																																				
その他の資源化を行う施設 その他の施設	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>					<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>																																																																																																																																																																																					
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木くず</td><td>34.8%</td><td>木くず</td><td>44.1%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>33.5%</td><td>木くず</td><td>43.6%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.2%</td><td>金属くず</td><td>10.3%</td><td>金属くず</td><td>10.9%</td><td>金属くず</td><td>10.9%</td><td>金属くず</td><td>0.0%</td><td>金属くず</td><td>0.2%</td><td>金属くず</td><td>10.3%</td><td>金属くず</td><td>10.0%</td><td>金属くず</td><td>10.0%</td><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr> <td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>84.4%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td><td>その他がれき類</td><td>4.2%</td><td>その他がれき類</td><td>18.4%</td><td>その他がれき類</td><td>18.4%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td><td>その他がれき類</td><td>4.2%</td><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr> <td>プラスチック類</td><td>7.6%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>32.0%</td><td>プラスチック類</td><td>32.0%</td><td>プラスチック類</td><td>7.5%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td><td>プラスチック類</td><td>14.8%</td></tr> <tr> <td>その他可燃</td><td>13.6%</td><td>その他可燃</td><td>50.7%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>34.0%</td><td>その他可燃</td><td>34.0%</td><td>その他可燃</td><td>13.2%</td><td>その他可燃</td><td>51.3%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>36.4%</td><td>その他可燃</td><td>0.0%</td><td>その他可燃</td><td>31.6%</td></tr> <tr> <td>その他不燃物</td><td>44.0%</td><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td><td>その他不燃物</td><td>1.1%</td><td>その他不燃物</td><td>4.7%</td><td>その他不燃物</td><td>4.7%</td><td>その他不燃物</td><td>45.8%</td><td>その他不燃物</td><td>1.8%</td><td>その他不燃物</td><td>1.1%</td><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td><td>その他不燃物</td><td>1.1%</td><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>																				品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	木くず	34.8%	木くず	44.1%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	33.5%	木くず	43.6%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	10.3%	金属くず	10.9%	金属くず	10.9%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	10.3%	金属くず	10.0%	金属くず	10.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	84.4%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	4.2%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	4.2%	その他がれき類	17.6%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.6%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	7.5%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	31.7%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	14.8%	その他可燃	13.6%	その他可燃	50.7%	その他可燃	0.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	13.2%	その他可燃	51.3%	その他可燃	0.0%	その他可燃	36.4%	その他可燃	0.0%	その他可燃	31.6%	その他不燃物	44.0%	その他不燃物	1.9%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	45.8%	その他不燃物	1.8%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	4.2%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	24.5%	合計	100.0%	合計																																
品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)	品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																				
木くず	34.8%	木くず	44.1%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	33.5%	木くず	43.6%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%	木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																				
金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	10.3%	金属くず	10.9%	金属くず	10.9%	金属くず	0.0%	金属くず	0.2%	金属くず	10.3%	金属くず	10.0%	金属くず	10.0%	金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																																				
コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	84.4%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%	コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																				
その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	4.2%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	18.4%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	3.0%	その他がれき類	4.2%	その他がれき類	17.6%	その他がれき類	0.0%	その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																				
プラスチック類	7.6%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	32.0%	プラスチック類	7.5%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	31.7%	プラスチック類	0.0%	プラスチック類	14.8%																																																																																																																																																																																																				
その他可燃	13.6%	その他可燃	50.7%	その他可燃	0.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	34.0%	その他可燃	13.2%	その他可燃	51.3%	その他可燃	0.0%	その他可燃	36.4%	その他可燃	0.0%	その他可燃	31.6%																																																																																																																																																																																																				
その他不燃物	44.0%	その他不燃物	1.9%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	4.7%	その他不燃物	45.8%	その他不燃物	1.8%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	4.2%	その他不燃物	1.1%	その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																																				
合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	100.0%																																																																																																																																																																																																				

宮城県、仙台市及び岩手県の仮設焼却炉のごみ組成データを基に、仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、平成24年度速報値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出における基本方針、品目別内訳比率の設定方法、試算した設定値及びその適用方法については、次の「4.3.焼却処理施設の品目別内訳比率の設定方法」で詳述する。

表 74 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)(平成24年度速報値)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出への適用案)																																																																												
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																								
セメントへの直接投入		<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 今年度行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>67.5%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>16.5%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	67.5%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	16.5%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.3%	その他不燃物	9.6%	合計	100.0%	<p>○設定方法 太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とする。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%			<p>○設定方法 可燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 今年度行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>67.5%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>16.5%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	67.5%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	16.5%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.3%	その他不燃物	9.6%	合計	100.0%	<p>○設定方法 不燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県の「不燃ごみ」に関する組成調査結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とする。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%			
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	67.5%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	16.5%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.3%																																																																																	
その他不燃物	9.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	67.5%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	16.5%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.3%																																																																																	
その他不燃物	9.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
粗大ごみ処理施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>19.3%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.4%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>26.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	19.3%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.8%	プラスチック類	14.4%	その他可燃	28.8%	その他不燃物	26.6%	合計	100.0%	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>19.3%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.4%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>26.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	19.3%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.8%	プラスチック類	14.4%	その他可燃	28.8%	その他不燃物	26.6%	合計	100.0%	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)																																				
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	19.3%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.8%																																																																																	
プラスチック類	14.4%																																																																																	
その他可燃	28.8%																																																																																	
その他不燃物	26.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	19.3%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.8%																																																																																	
プラスチック類	14.4%																																																																																	
その他可燃	28.8%																																																																																	
その他不燃物	26.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
ごみ堆肥化施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ堆肥化施設」の品目別内訳比率(厨芥75.1%、その他可燃24.9%)を基に、災害廃棄物のごみ堆肥化施設での処理実績を自治体の公表資料で確認したところ、現時点で「廃飼料・廃肥料」のごみ堆肥化処理実績(青森県八戸市)のみ確認できたことから、全量「その他可燃(廃飼料・廃肥料)」とする。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	100.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	<p>ごみ堆肥化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>																																																										
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	100.0%																																																																																	
その他不燃物	0.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
ごみ飼料化施設	<p>ごみ飼料化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>																																																																																	

表 75 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)(平成24年度速報値)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成23年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出への適用案)																																							
	収集区分					収集区分																																							
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																			
メタン化施設						メタン化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																							
ごみ燃料化施設	○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成22年度確定値の算出で用いた「ごみ燃料化施設」の品目別内訳比率(金属4.2%、プラスチック17.5%、厨芥78.3%)を基に、災害廃棄物のごみ燃料化施設での処理実績を自治体の公表資料で確認したところ、現時点で「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみ確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 ごみ燃料化施設での平成24年度処理実績については、平成23年度と同様に、「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみであり、いわき市の処理実績と一致することが確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	100.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	0.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	100.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	0.0%																																												
合計	100.0%																																												
直接資源化	○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。  (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。  (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>12.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	4.9%	金属くず	12.1%	コンクリートがら	77.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	6.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>12.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	4.9%	金属くず	12.1%	コンクリートがら	77.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	6.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	4.9%																																												
金属くず	12.1%																																												
コンクリートがら	77.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	6.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	4.9%																																												
金属くず	12.1%																																												
コンクリートがら	77.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	6.0%																																												
合計	100.0%																																												
直接埋立	○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。  (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。  (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	100.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	100.0%																																												
合計	100.0%																																												



## (7) 焼却処理施設の品目別内訳比率の設定方法

平成24年度の一般廃棄物(災害廃棄物)の処理実績については、震災後に新設された仮設焼却炉が本格稼働することから、平成23年度処理実績に比べて焼却施設での「混合ごみ」、「可燃ごみ」等の焼却処理量が増加している。平成23年度確定値算出時に適用した品目別焼却処理量は震災発生時の一般廃棄物(災害廃棄物)の推計重量等を基に算出しているため、実際の焼却施設での品目別焼却処理量との差が大きくなることが懸念される。

このため、平成24年度速報値算出においては、仮設焼却炉での焼却処理量の増加を考慮し、焼却施設における品目別焼却処理量の推計精度を高めるため、宮城県、仙台市及び岩手県の仮設焼却炉のごみ組成データを基に仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、既設焼却炉と仮設焼却炉に分けて平成24年度速報値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出における基本方針、品目別内訳比率の設定方法、試算した設定値及びその適用方法については、次に示すとおりである。

### ①品目別焼却処理量の算出における基本方針

- 災害廃棄物の品目別焼却処理量は、仮設焼却炉と既設焼却炉に分けて算出する
- 仮設焼却炉の品目別焼却処理量は、災害廃棄物を受け入れていることから地域や処理区によりごみ組成が異なる可能性が高いため、宮城県、仙台市、岩手県の仮設焼却炉から得られた組成データを基に設定した年度別、処理区又は炉別の品目別内訳比率を、一廃統計で把握された平成24年度の仮設焼却炉の処理量に乗じて算出する
- 既設焼却炉の品目別焼却処理量は、震災発生時の災害廃棄物の推計重量や通常時の一般廃棄物の品目別内訳比率に基づいて設定した平成23年度確定値の品目別内訳比率を、一廃統計で把握された平成24年度の既設焼却炉の処理量に乗じて算出する

### ②仮設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法及び設定値

#### a) 仮設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法の基本的な考え方

- 施設設計時のごみ組成データは除外する
- 一廃統計における一般廃棄物(災害廃棄物)は湿重量で把握されているため、湿重量比のごみ組成データを用いる(乾重量比のごみ組成データは、仙台市のごみ組成別の水分量(%)を基に湿重量比のごみ組成データを推計する。)
- 同一の処理区(又は炉)内で複数のごみ組成データがある場合は、単純平均もしくはごみ試料の採取重量で加重平均した上で、当該処理区(又は炉)の組成データとして用いる
- 仮設焼却炉の品目別内訳比率は、宮城県、仙台市、岩手県ごとに分け、可能な範囲で組成データを収集し、年度別、処理区又は炉別に設定する。ただし、設定できない処理区又は炉については、当該県市の組成データを加重平均した品目別内訳比率を設定する

※なお、各県市の処理状況は特徴が異なることから3県市平均等の品目別内訳比率は設定しない

b) 設定した仮設焼却炉の品目別内訳比率

a)の基本的な考え方に従って、宮城県、仙台市及び岩手県提供のごみ組成データを基に設定した品目別内訳比率は、以下のとおりである。宮城県の平成24年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、処理区別・炉別に品目別内訳比率に設定する。

表 76 宮城県の平成24年度の仮設焼却炉の処理区別・炉別の品目別内訳比率

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		気仙沼 処理区 ストーカ炉	気仙沼 処理区 キルン炉	南三陸 処理区 ストーカ炉	石巻 ブロック キルン炉 (J1)	石巻 ブロック キルン炉 (J2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M1)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M3)	宮城 東部 ブロック ストーカ炉	宮城 東部 ブロック キルン炉
ごみの種類		混合 廃棄物	混合 廃棄物	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	0.1%	2.0%	14.8%	4.4%	21.9%	2.3%	6.2%	14.3%	0.1%	10.2%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	0.6%	5.6%	8.6%	4.8%	16.3%	4.5%	4.1%	6.4%	0.2%	14.3%
	木・竹・わら類	71.5%	66.7%	71.3%	61.4%	43.5%	64.9%	81.6%	57.5%	75.6%	33.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	3.2%	13.3%	0.7%	9.9%	18.3%	13.3%	2.9%	5.8%	4.8%	6.9%
	その他(5mm 通過)	24.3%	12.2%	4.6%	19.5%	0.0%	15.0%	5.2%	16.0%	19.2%	35.6%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 <sup>10</sup> (トン) 平成 24 年度実績		2,899	1,967	36,460	54,578	54,760	45,584	41,495	53,061	21,698	31,123

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		名取 処理区 ストーカ炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 1号炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 2号炉	岩沼 処理区 キルン炉 3号炉	亶理 処理区 ストーカ炉	山元 処理区 キルン炉 1号炉	山元 処理区 ストーカ炉 2号炉	
ごみの種類		混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	7.5%
ごみ 組成 (%)	紙・布類	3.8%	2.4%	10.7%	7.0%	6.2%	1.1%	2.0%	7.7%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	6.3%	7.5%	11.3%	20.9%	9.9%	1.3%	3.4%	61.5%
	木・竹・わら類	60.3%	68.7%	62.6%	63.2%	53.9%	74.5%	80.6%	0.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%
	不燃物類	18.1%	9.3%	3.9%	7.0%	11.3%	23.1%	4.1%	12.6%
	その他(5mm 通過)	11.5%	12.1%	11.6%	1.9%	18.7%	0.0%	9.9%	100%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 <sup>1</sup> (トン) 平成 24 年度実績		45,852	11,069	10,972	15,259	111,664	49,983	27,093	

<sup>10</sup> 「仮設焼却炉の維持管理状況(測定結果等)について(平成 25 年 12 月 9 日更新)(宮城県公表資料)」の処分(焼却)した災害廃棄物の月ごとの種類別及び数量から処理区別炉別の焼却処理量を把握

仙台市の平成24年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、仮置場別に品目別内訳比率を設定する。

表 77 仙台市の平成24年度の仮設焼却炉の炉別の品目別内訳比率

県・市		仙台市	仙台市	仙台市	仙台市 仮設焼却 炉平均	
処理区・炉		蒲生 搬入場	荒浜 搬入場	井土 搬入場		
ごみの種類		混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	
ごみ 組成 (%)	不 燃 物	ガラス類	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
		陶器・石類	8.9%	11.7%	6.1%	10.0%
		金属類	1.7%	2.0%	2.5%	2.0%
	可 燃 物	ゴム・皮革類	0.0%	0.1%	—	0.0%
		プラスチック類	17.2%	11.5%	10.2%	12.4%
		厨芥類	—	—	—	—
		木類	44.6%	39.3%	34.9%	39.5%
		紙類	0.4%	0.4%	0.6%	0.4%
	雑 物	布類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		可燃	13.2%	17.2%	19.3%	16.8%
		不燃	13.9%	17.6%	26.4%	18.6%
計		100%	100%	100%	100%	
焼却処理量 <sup>11</sup> (トン) 平成 24 年度実績		28,808	83,884	27,470		

岩手県の平成24年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、地域別・炉別に品目別内訳比率を設定する。

表 78 岩手県の平成24年度の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		岩手県	岩手県	岩手県	岩手県	岩手県 仮設焼却 炉平均		
処理区・炉		宮古区 1号炉	宮古区 2号炉	山田町	釜石市 旧熔融炉			
ごみの種類		混合廃 棄物	混合廃 棄物	岩手県 仮設焼却炉平均を適用		混合 廃棄物		
ごみ 組成 (%)	紙・布類	4.8%	5.1%					5.0%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	5.7%	4.5%					5.1%
	木・竹・わら類	84.3%	84.8%					84.6%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%					0.0%
	不燃物類	1.6%	2.3%					1.9%
	その他(5mm 通過)	3.7%	3.2%					3.4%
計		100%	100%			100%		
焼却処理量 <sup>12</sup> (トン) 平成 24 年度実績		18,500		10,100	21,600			

※岩手県の組成データは平成 24 年 3 月実績のみであるため、平成 24 年 3 月実績で設定

<sup>11</sup> 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 25 年 1 月末時点)」から搬入場別の焼却処理量を把握

<sup>12</sup> 「岩手県災害廃棄物処理詳細計画 第二次(平成 25 年度)改訂版(平成 25 年 5 月)」から地域別の焼却処理量を把握

### ③既設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法及び設定値

- 平成 23 年度確定値の算出に用いた焼却施設の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法に準じて設定する（設定方法の詳細は p.84 の表 73 のとおり。）

表 79 既設焼却施設の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」に適用する品目別内訳比率(2/5時点)

品目	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
木くず	33.5%	43.6%	0.0%	0.0%	0.0%
金属くず	0.0%	0.2%	0.0%	10.0%	29.1%
コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他がれき類	0.0%	3.0%	0.0%	17.6%	0.0%
プラスチック類	7.5%	0.0%	0.0%	31.7%	14.8%
その他可燃物	13.2%	51.3%	0.0%	36.4%	31.6%
その他不燃物	45.8%	1.8%	100.0%	4.2%	24.5%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

### ④品目別焼却処理量の算出方法

品目別焼却処理量は、仮設焼却炉と既設焼却炉の焼却処理量に分けて、それぞれで設定した品目別内訳比率を乗じて算出する。なお、平成24年度の仮設焼却炉及び既設焼却炉の焼却処理量は、一廃統計の平成24年度速報値から把握する。

品目別焼却処理量の算出式は、「a)宮城県、仙台市、岩手県」と「b)3縣市以外の地方公共団体」に分けて、以下のとおりとする。

#### a)宮城県、仙台市、岩手県

品目別焼却処理量＝

{当該県市の既設焼却炉の焼却処理量（合計）×既設焼却炉の品目別内訳比率} +  
Σ {当該県市の仮設焼却炉の炉別焼却処理量×当該県市の仮設焼却炉の炉別品目別内訳比率}

- 当該県市の品目別焼却処理量は、当該県市の既設焼却炉の品目別焼却処理量と当該県市の仮設焼却炉の品目別焼却処理量の合計とする
- 当該県市の既設焼却炉の品目別焼却処理量は、当該県市の既設焼却炉の焼却処理量に、既設焼却炉に設定した品目別内訳比率を乗じて算出する
- 当該県市の仮設焼却炉の品目別焼却処理量は、当該県市の仮設焼却炉の炉別の焼却処理量に、仮設焼却炉に設定した炉別の品目別内訳比率を乗じて炉別の品目別焼却処理量を算出し、それを当該県市ごとに合計する

#### b)3 縣市以外の地方公共団体

品目別焼却処理量＝

{当該地方公共団体の焼却処理量×既設焼却炉の品目別内訳比率}

- 当該地方公共団体の品目別焼却処理量は、当該地方公共団体の焼却処理量に、既設焼却炉に設定した品目別内訳比率を乗じて算出する

(イ)「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率  
(まとめ)

以下に、今年度平成23年度確定値算出に用いた品目別内訳比率と、平成24年度速報値算出に用いる品目別内訳比率を、適用する中間処理施設又は処理単位ごとに示す（仮設焼却施設は平成24年度速報値のみ）。

表 80 平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(仮設焼却施設)

自治体	ブロック/ 処理区	焼却施設	一般廃棄物 の種類	ごみ組成 (%)							
				木くず	金属くず	コンクリート がら	その他 がれき 類	プラス チック 類	その他 可燃物	その他 不燃物	
宮城県 (仙台市 を除く)	気仙沼	階上地区ストーカ炉 (219t/日)	可燃混合物	71.5	-	-	-	-	1.0	27.5	
		階上地区ロータリーキルン炉 (219t/日)	可燃混合物	66.7	-	-	-	-	7.9	25.5	
		小泉地区ストーカ炉 (219t/日)	可燃混合物	71.5	-	-	-	-	1.0	27.5	
		小泉地区ロータリーキルン炉 (109t/日)	可燃混合物	66.7	-	-	-	-	7.9	25.5	
	南三陸	1号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	-	-	-	-	23.4	5.3	
		2号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	-	-	-	-	23.4	5.3	
		3号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	-	-	-	-	23.4	5.3	
	石巻	(J-1) 1号焼却炉 (ロータリーキルン: 300t/日)	可燃混合物	61.4	-	-	-	-	9.2	29.4	
		(J-2) 2号焼却炉 (ロータリーキルン: 300t/日)	可燃混合物	43.5	-	-	-	-	38.2	18.3	
		(M-1) 3号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	64.9	-	-	-	-	6.8	28.3	
		(M-2) 4号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	81.6	-	-	-	-	10.3	8.1	
		(M-3) 5号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	57.5	-	-	-	-	20.7	21.8	
	宮城東部	1号焼却炉 (ストーカ: 110t/日)	木くずチップ	75.6	-	-	-	-	0.3	24.1	
		2号焼却炉 (ロータリーキルン: 210t/日)	可燃混合物	33.0	-	-	-	-	24.5	42.5	
	名取	名取	1号焼却炉 (ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	60.3	-	-	-	-	10.1	29.6
			2号焼却炉 (ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	60.3	-	-	-	-	10.1	29.6
		岩沼	1号焼却炉 (ストーカ: 50t/日)	可燃混合物	68.7	-	-	-	-	9.9	21.4
			2号焼却炉 (ストーカ: 50t/日)	可燃混合物	62.6	-	-	-	-	21.9	15.5
			3号焼却炉 (ロータリーキルン: 95t/日)	可燃混合物	63.2	-	-	-	-	27.9	8.9
		亶理	1号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	-	-	-	-	16.0	30.1
			2号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	-	-	-	-	16.0	30.1
			3号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	-	-	-	-	16.0	30.1
			4号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	-	-	-	-	16.0	30.1
			5号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	-	-	-	-	16.0	30.1
山元	1号焼却炉 (ロータリーキルン, 200t/日)	可燃混合物	74.5	-	-	-	-	2.4	23.1		
	2号焼却炉 (ストーカ, 100t/日)	可燃混合物	80.6	-	-	-	-	5.4	14.0		
岩手県	宮古区	仮設焼却炉 (宮古市内)	可燃物	84.6	-	-	-	-	10.1	5.4	
	山田町		可燃物	84.6	-	-	-	-	10.1	5.4	
	釜石市	旧熔融炉 (釜石市内)	可燃物	84.6	-	-	-	-	10.1	5.4	
	漁具・漁網		-	-	-	-	-	-	-		
仙台市	蒲生搬入場	仮設焼却炉	可燃物	44.6	1.7	-	9.1	17.2	13.6	13.9	
	荒浜搬入場	仮設焼却炉	可燃物	39.3	2.0	-	11.8	11.5	17.7	17.6	
	井土搬入場	仮設焼却炉	可燃物	34.9	2.5	-	6.1	10.2	19.8	26.4	
仙台市	仙台市平均	仮設焼却炉	可燃物	39.5	2.0	-	10.1	12.4	17.3	18.6	

※ごみ組成データの区分については、下表のとおりGHGインベントリにおける用途と一廃統計の収集区分に基づき、「木くず」「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」「プラスチック類」「その他可燃物」「その他不燃物」の合計7品目の内訳比率として設定した。

表 81 7品目別内訳比率の設定

7品目	ごみ組成データの区分	
	宮城県、岩手県	仙台市
木くず	木・竹・わら類	木類
金属くず		金属類
コンクリートがら		
その他がれき類		ガラス類、陶器・石類
プラスチック類		プラスチック類
その他可燃物	紙・布類、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	ゴム・皮革類、厨芥類、紙類、布類、雑物(可燃)
その他不燃物	不燃物類、その他(5mm通過)	雑物(不燃)

表 82 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(既設焼却施設)

施設 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
焼却 施設 (既設)	木くず	34.8%	44.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.5%	43.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.2%	0.0%	10.9%	29.1%	0.0%	0.2%	0.0%	10.0%	29.1%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	3.0%	0.0%	18.4%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	17.6%	0.0%
	プラスチック類	7.6%	0.0%	0.0%	32.0%	14.8%	7.5%	0.0%	0.0%	31.7%	14.8%
	その他可燃物	13.6%	50.7%	0.0%	34.0%	31.6%	13.2%	51.3%	0.0%	36.4%	31.6%
	その他不燃物	44.0%	1.9%	100.0%	4.7%	24.5%	45.8%	1.8%	100.0%	4.2%	24.5%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 83 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(その他の資源化等を行う施設、その他の施設)

施設 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
その他 の資源 化等 を行 う施 設、 その他 の施設	木くず	34.8%	44.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.5%	43.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.2%	10.3%	10.9%	29.1%	0.0%	0.2%	10.3%	10.0%	29.1%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	84.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.4%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	3.0%	4.2%	18.4%	0.0%	0.0%	3.0%	4.2%	17.6%	0.0%
	プラスチック類	7.6%	0.0%	0.0%	32.0%	14.8%	7.5%	0.0%	0.0%	31.7%	14.8%
	その他可燃物	13.6%	50.7%	0.0%	34.0%	31.6%	13.2%	51.3%	0.0%	36.4%	31.6%
	その他不燃物	44.0%	1.9%	1.1%	4.7%	24.5%	45.8%	1.8%	1.1%	4.2%	24.5%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 84 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(粗大ごみ処理施設)

施設 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
粗大 ごみ 処理 施設	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%
	プラスチック類	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%
	その他可燃物	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%
	その他不燃物	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 85 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(ごみ堆肥化施設)

施設名称	品目	平成23年度確定値算出					平成24年度速報値算出				
		混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
ごみ堆肥化施設	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	金属くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	プラスチック類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	その他可燃物	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
	その他不燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%						

※ごみ堆肥化施設での災害廃棄物の平成24年度処理実績はなし

表 86 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(ごみ飼料化施設)

施設名称	品目	平成23年度確定値算出					平成24年度速報値算出				
		混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
ごみ飼料化施設	木くず										
	金属くず										
	コンクリートがら										
	その他がれき類										
	プラスチック類										
	その他可燃物										
	その他不燃物										
	合計										

※ごみ飼料化施設での災害廃棄物の平成23年度及び平成24年度処理実績はなし

表 87 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(メタン化施設)

施設名称	品目	平成23年度確定値算出					平成24年度速報値算出				
		混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
メタン化施設	木くず										
	金属くず										
	コンクリートがら										
	その他がれき類										
	プラスチック類										
	その他可燃物										
	その他不燃物										
合計											

※メタン化施設での災害廃棄物の平成23年度及び平成24年度処理実績はなし

表 88 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(ごみ燃料化施設)

施設 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
ごみ 燃料化 施設	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック類	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 89 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(セメント等への直接投入)

施設 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
セメント等 への 直接 投入	木くず		67.5%	0.0%				67.5%	0.0%		
	金属くず		0.8%	0.0%				0.8%	0.0%		
	コンクリートがら		16.5%	0.0%				16.5%	0.0%		
	その他がれき類		0.4%	0.0%				0.4%	0.0%		
	プラスチック類		0.0%	0.0%				0.0%	0.0%		
	その他可燃物		5.3%	0.0%				5.3%	0.0%		
	その他不燃物		9.6%	100.0%				9.6%	100.0%		
	合計		100.0%	100.0%				100.0%	100.0%		

※セメント等への直接投入された災害廃棄物のうち、混合ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成 23 年度及び平成 24 年度処理実績はなし

表 90 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(直接資源化)

処理 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
直接 資源化	木くず	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%
	金属くず	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%
	コンクリートがら	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 91 平成23年度確定値の算出に用いた品目別内訳比率及び  
平成24年度速報値に用いる品目別内訳比率(直接埋立)

処理 名称	品目	平成 23 年度確定値算出					平成 24 年度速報値算出				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
直接 埋立	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成24年度速報値の算出結果

一般廃棄物(災害廃棄物)の平成24年度速報値の算出結果は以下のとおりである。

表 92 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成24年度速報値の算出結果

単位:トン/年

処理項目	小計	一般廃棄物(災害廃棄物)の区分																												
		木くず	金属くず	コンクリートがら	その他がれき類	石綿含有廃棄物等	PCB廃棄物	有害物、危険物	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	家電4品目	パソコン	自動車	FRP船	船舶	その他船舶	量	漁網	タイヤ	その他家電	消火器	ガスボンベ	土石類	津波堆積物	その他	海洋投入	漂着ごみ
発生量	12,115,385	828,968	306,988	5,200,061	395,823	2,556	0	988	727,812	478,534	481,168	6,997	2,588	6,024	0	1,313	1,128	0	0	26,013	8,080	10,105	8,242	564	105	1,437,712	2,063,629	91,758	27,927	299
循環利用量	10,117,384	602,623	304,612	4,754,391	342,207	34	0	812	202,204	87,455	230,106	6,906	983	5,959	0	1,313	1,040	0	0	12,901	1,282	9,905	8,236	564	102	1,422,933	2,044,670	75,998	148	
直接循環利用量	3,166,763	112,125	207,438	2,407,998	56,167	23	0	370	3,924	4	3,514	10	112	4,964	0	68	488	0	0	207	1,282	3,076	8,206	562	93	140,801	214,591	740	0	
処理後循環利用量	6,950,621	490,498	97,174	2,346,393	286,040	11	0	442	198,280	87,451	226,592	6,896	871	995	0	1,245	552	0	0	12,694	0	6,829	30	2	9	1,282,132	1,830,079	75,258	148	
焼却施設	197,776	9,906	24	0	24	11	0	0	162,240	6,708	0	0	514	0	0	0	0	0	0	7,537	0	136	0	0	0	0	0	0	10,676	0
粗大ごみ処理施設	4,310	437	3,161	0	0	0	0	0	21	0	200	122	338	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
ごみ堆肥化施設	3,677	3,503	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	116	
ごみ肥料化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
メタン化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ燃料化施設	136,784	90,800	0	0	0	0	0	77	23,862	1,219	0	0	0	0	0	0	552	0	0	4,202	0	2,464	0	0	0	0	0	0	13,600	8
その他の資源化等を行う施設	6,273,139	381,026	93,989	2,346,393	286,016	0	0	365	12,157	199	2,082	6,774	19	988	0	1,245	0	0	0	955	0	4,005	30	2	5	1,281,961	1,830,079	24,845	24	
セメント等への直接投入	334,935	4,826	0	0	0	0	0	0	0	79,325	224,310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171	0	26,079	0	
最終処分量	520,777	32,040	2,376	10,224	53,164	2,462	0	2	51,853	44,418	239,391	91	478	26	0	0	7	0	0	2,253	6,091	55	0	0	3	13,190	18,959	15,760	27,927	7
直接最終処分量	403,287	0	14	8,412	49,596	2,444	0	0	24,090	17	237,357	0	49	5	0	0	0	0	0	5,921	4	0	0	0	0	13,093	18,855	15,503	27,927	0
埋立処分	375,360	0	14	8,412	49,596	2,444	0	0	24,090	17	237,357	0	49	5	0	0	0	0	0	5,921	4	0	0	0	0	13,093	18,855	15,503	0	0
海洋投入処分	27,927	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,927	0
処理後最終処分量	117,490	32,040	2,362	1,812	3,568	18	0	2	27,763	44,401	2,034	91	429	21	0	0	7	0	0	2,253	170	51	0	0	3	97	104	258	7	
埋立処分	117,490	32,040	2,362	1,812	3,568	18	0	2	27,763	44,401	2,034	91	429	21	0	0	7	0	0	2,253	170	51	0	0	3	97	104	258	7	
焼却処理後	107,523	31,726	319	89	101	17	0	0	27,567	43,252	1,549	12	188	3	0	0	7	0	0	2,243	170	51	0	0	0	36	51	133	7	
焼却以外の中間処理後	9,967	314	2,043	1,722	3,466	1	0	1	196	1,149	485	79	241	18	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	3	61	53	125	0	
焼却処理量	1,326,832	235,833	1,648	462	524	87	0	174	660,094	395,699	7,996	64	971	14	0	0	89	0	0	20,457	878	338	0	0	2	187	265	1,016	35	
直接焼却	1,323,118	235,511	0	0	227	87	0	174	660,058	395,613	7,866	0	794	0	0	0	88	0	0	20,454	878	336	0	0	0	0	0	997	35	
処理後焼却	3,714	322	1,648	462	297	0	0	0	37	86	130	64	176	14	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	2	187	265	19	0	

  : 一般廃棄物処理事業実態調査で把握された収集区分別の搬入量から設定した収集区分別内訳比率を処理量の小計に乗じて、収集区分別の処理量を算出  
  : 一般廃棄物処理事業実態調査で把握された収集区分別の資源化量から設定した収集区分別内訳比率を処理量の小計に乗じて、収集区分別の処理量を算出

4.3 わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の量の平成23年度確定値、温室効果ガス排出インベ  
ントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成23年度確定値及び平成24年度速報値の算出結果

(1) わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の平成23年度確定値

表 93 わが国の物質フロー作成に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の量  
(平成23年度確定値)

処理項目	合計	一般廃棄物		し尿	産業 廃棄物	廃棄物等 の「等」	
		一般廃棄物 (災害廃棄物 を除く)	一般廃棄物 (災害廃棄物)				
物質フローの 作成に必要な 循環利用量 等 (千t/年)	発生量	562,305	45,572	4,297	21,173	381,206	110,057
	循環利用量	241,426	9,375	3,416	237	129,786	98,611
	減量化量 <sup>※</sup>	220,755	31,377	425	20,832	167,361	759
	最終処分量	17,819	4,821	456	103	12,439	0
	自然還元量	82,306	—	—	—	71,620	10,687

※一般廃棄物の減量化量は、「発生量」から「循環利用量」及び「最終処分量」を差し引いた値とした。

(2) 温室効果ガスインベントリ算出用に提供する廃棄物等の平成23年度確定値

温室効果ガスインベントリ（以下「GHGインベントリ」と言う）算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物を含む）、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の焼却処理量、最終処分量、燃料としての利用に向かう量、コンポスト化に向かう量の平成23年度確定値は以下のとおりである。

表 94 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO<sub>2</sub>量」の算出に必要な  
一般廃棄物の焼却処理量（平成23年度確定値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペット ボトル	プラス チック	厨芥	繊維	木竹草類 等	
GHGインベントリ算出 に必要な焼却処理量 (千t/年)	直接焼却処理量			218	2,953				
	中間処理後焼却処 理量			0	14				

表 95 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な  
一般廃棄物の焼却処理量（平成23年度確定値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペット ボトル	プラス チック	厨芥	繊維	木竹草類 等	
GHGインベントリ算出 に必要な焼却処理量 (千t/年)	直接焼却処理量	34,298							
	中間処理後焼却処 理量	1,441							

表 96 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出され  
るCH<sub>4</sub>量」の算出に必要な一般廃棄物の最終処分量（平成23年度確定値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペット ボトル	プラス チック	厨芥	繊維	木竹草類 等	
GHGインベントリ算出 に必要な最終処分量 (千t/年)	直接最終処分量		127			61	6	20	117
	中間処理後最終処 分量		233			46	11	46	16

表 97 GHGインベントリのうち「原燃料として利用された廃棄物から排出されるCO<sub>2</sub>・CH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な産業廃棄物の燃料としての利用に向かう量(平成23年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出 に必要な燃料としての 利用に向かう量(千t/ 年)	直接循環利用量 のうち燃料化量	/	126	/	/	0	/	/	/	/	/
	中間処理後循環利 用量のうち燃料化 量	/	1,078	/	/	4,065	/	/	/	/	/

表 98 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO<sub>2</sub>量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成23年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出に必要な 焼却処理量(千t/年)		/	1,841	1,687	/	/	/	/	/	/	/

表 99 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成23年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出に必要な 焼却処理量(千t/年)		7,756	1,841	1,687	346	1,135	26	95	/	/	89

表 100 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH<sub>4</sub>量」の算出に必要な産業廃棄物の最終処分量(平成23年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出 に必要な最終処分量 (直接最終処分)(千t/ 年)	直接最終処分量	/	/	/	11	70	3	12	/	1	1
	中間処理後最終処 分量	/	/	/	/	/	/	54	/	35	/

表 101 GHGインベントリのうち「有機性廃棄物のコンポスト化に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」のコンポスト化に向かう量(平成23年度確定値)

	動植物性残 さ
GHGインベントリ算出に必要なコンポ スト化に向かう量(千t/年)	2,746

(3) 温室効果ガスインベントリ算出用に提供する廃棄物等の平成24年度速報値

温室効果ガスインベントリ（以下「GHGインベントリ」と言う）算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物を含む）、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の焼却処理量、最終処分量、燃料としての利用に向かう量、コンポスト化に向かう量の平成24年度速報値は以下のとおりである。

表 102 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO<sub>2</sub>量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成24年度速報値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)	直接焼却処理量			213	3,110				
	中間処理後焼却処理量			0	8				

表 103 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成24年度速報値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)	直接焼却処理量	35,314							
	中間処理後焼却処理量	1,421							

表 104 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH<sub>4</sub>量」の算出に必要な一般廃棄物の最終処分量（平成24年度速報値）

		一般廃棄物（ごみ）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な最終処分量(千t/年)	直接最終処分量		123			59	6	19	105
	中間処理後最終処分量		206			38	9	39	14

表 105 GHGインベントリのうち「原燃料として利用された廃棄物から排出されるCO<sub>2</sub>・CH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な産業廃棄物の燃料としての利用に向かう量(平成24年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な燃料としての利用に向かう量(千t/年)	直接循環利用量のうち燃料化量		118			0					
	中間処理後循環利用量のうち燃料化量		1,054			3,290					

表 106 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO<sub>2</sub>量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成24年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)			1,838	1,662							

表 107 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成24年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)		7,692	1,838	1,662	327	879	22	94			89

表 108 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH<sub>4</sub>量」の算出に必要な産業廃棄物の最終処分量(平成24年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な最終処分量(千t/年)	直接最終処分量				10	47	3	14		1	1
	中間処理後最終処分量							55		41	

表 109 GHGインベントリのうち「有機性廃棄物のコンポスト化に伴い排出されるCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O量」の算出に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」のコンポスト化に向かう量(平成24年度速報値)

	動植物性残さ
GHGインベントリ算出に必要なコンポスト化に向かう量(千t/年)	2,720

#### 4.4 動植物性残さ<sup>13</sup>のうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正について

##### (1) 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の現状の算出方法

##### (ア) 廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの処理方法の扱い

平成23年度速報値算定に用いた廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの算出方法は以下のとおりである。

廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの量 =

廃棄物等のうちの動植物性残さの量<sup>※1</sup>

－ 製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物のうちの動植物性残さの量<sup>※2</sup>

※1：経済産業省副産物調査発生量

※2：産業廃棄物排出・処理状況調査における製造業、電気・ガス業分の動植物性残さの排出量

出典) 「平成24年度廃棄物統計の精度向上及び迅速化のための検討調査報告書」P.11より作成

廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの量には、コンポスト化以外に、肥料化、飼料化、メタン化、油脂及び油脂製品化、炭化製品化（燃料及び還元剤）、エタノール原材料化等に向かう量があるが、現在の循環利用量調査では、全量をコンポスト化に向かう量と見なしている。

##### (イ) 一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の把握状況

循環利用量調査から温室効果ガスインベントリ作成用に提供するデータの中には、一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が含まれていない。このため、温室効果ガスインベントリでは独自に「日本の廃棄物処理，環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課」から一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量を把握している。

<sup>13</sup> 本項の動植物性残さには、一般廃棄物の厨芥、産業廃棄物の動植物性残さ、廃棄物等の「等」の食品由来の副産物を含む。

(ウ) 製造業以外の業種から排出された廃棄物等の「等」の動植物性残さからコンポスト化に向かう量の把握状況

経産省副産物調査における動植物性残さの排出業種※以外の業種から排出された廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの量については、循環利用量調査では把握されていない。従って、食品小売業・食品卸売業・外食産業等から排出された廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量については、現在の循環利用量調査では把握されていない。

※ 食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、化学工業、なめし革・同製品・毛皮製造業、機械器具製造業

表 110 現在の循環利用量調査における廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の把握状況

廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの排出業種	把握状況
食料品製造業、飲料製造業、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業	把握済
食品卸売業・食品小売業・外食産業等	未把握

**【廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条第4項】**

・第2条 法第2条第4項第1号の政令で定める廃棄物は、次のとおりとする。

- ・1～3 (省略)
- ・4 食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物

**【厚生省環境衛生局環境整備課長通知 環整45号 公布日：昭和46年10月25日（廃棄物の処理及び清掃に関する法律の運用に伴う留意事項について）】**

・別紙(10) 令第2条第4号に掲げる産業廃棄物「動植物性残さ」という。産業廃棄物に該当するものは、日本標準産業分類による中分類12及び13(小分類135を除く。)、小分類206及び細分類2093に該当する事業の事業活動に伴って生ずる動植物性残さであって、あめかす、のりかす、醸造かす、発酵かす、魚及び獣のあら等が含まれるものであること。魚市場、飲食店等から排出される動植物性残さ又は厨芥類は、事業活動に伴って生じた一般廃棄物として取り扱うものであること。

※ 日本標準産業分類 平成5年(1993年)10月改定(第10回改定)

- ・中分類12：食料品製造業
- ・中分類13：飲料・たばこ・飼料製造業
- ・小分類135：たばこ製造業
- ・小分類206：医薬品製造業
- ・細分類2093：香料製造業

### (エ) コンポスト化に向かう量とそれ以外の処理に向かう量での温室効果ガス排出係数の違い

温室効果ガスインベントリでは、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の作成する国際的ガイドライン<sup>14</sup>に基づき、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量に起因する温室効果ガス排出量を算定している。

廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの量については、コンポスト化に向かう量以外に、飼料化、メタン化、油脂及び油脂製品化、炭化製品化、エタノール原材料化等に向かう量があるが、これらに起因する温室効果ガス排出は、IPCCのガイドライン上、温室効果ガス排出量の算定対象活動とはなっていない（温室効果ガス排出係数及び算定方法が設定されていない）。このため、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化以外の処理に向かう量については、温室効果ガス排出量の算定において考慮する必要はない。

### (オ) 確認結果のまとめ

表 111 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の現状の算出方法

指摘番号	現在の対応状況
(ア)	廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの全量をコンポスト化に向かう量と扱っているため、実際にはコンポスト化以外の処理に向かう量もコンポスト化に向かう量として扱っている。
(イ)	循環利用量調査からインベントリへの提供データに含まれていないが、インベントリ側で独自に一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量を把握している。
(ウ)	食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出された廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量は、循環利用量調査で把握されていない。
(エ)	インベントリでは、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化以外の処理に向かう量に起因する温室効果ガス排出は、報告の対象となっていない。

<sup>14</sup> Revised 1996 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories 及び Good Practice Guidance and Uncertainty Management in National Greenhouse Gas Inventories

## (2) 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量に関する現時点で推計可能なデータ

表 112に、現時点で推計可能な動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量に関するデータを示す。現行の循環利用量調査において、動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量として用いているデータは網掛けで示す。

表 112 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量に関する現時点で推計可能なデータ

記号	区分	排出源	循・般	循・産	循・副	循・農
A	一般廃棄物	家庭及び事業活動	◎			
B	産業廃棄物	食料品製造業、飲料製造業		○	△	◎※1
C		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業		○	△	
D	廃棄物等の「等」	食料品製造業、飲料製造業			△	◎※1
E		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業			△	
F		食品卸売業、食品小売業、外食産業				◎※2
G		廃棄物等の「等」のうち、上記（食料品製造業、飲料製造業、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）以外の産業				

### ・見出し中の凡例

- ・「循・般」：循環利用量調査において、一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・産」：循環利用量調査において、産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・副」：循環利用量調査において、副産物調査（経産省）及び産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・農」：循環利用量調査において、食品循環資源の再生利用等実態調査（農水省）を用いて推計したデータ

### ・記号の凡例

- ・◎：動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量を引用
- ・○：動植物性残さのうちコンポスト化に向かう割合を推計
- ・△：動植物性残さ発生量の全量をコンポスト化に向かう量と扱って設定
- ・斜線：各調査及び統計で把握対象外

※1：Bの量とDの量の合算値として把握可能。

※2：食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出された一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が含まれる。

### (ア) 一般廃棄物処理事業実態調査（循・般）

循環利用量調査において、一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量は、一般廃棄物処理事業実態調査を用いて把握している（A）。

### (イ) 産業廃棄物排出・処理状況調査（循・産）

循環利用量調査において、産業廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量は、産業廃棄物排出・処理状況調査を用いて推計している（B及びC）。

### (ウ) 副産物調査（循・副）

食料品製造業、飲料製造業、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの量は、副産物調査に基づき推計している。この廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの排出量からコンポスト化に向かう量を把握することはできないため、循環利用量調査においては、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの排出量の全量をコンポスト化に向かう量と見なしている（D及びEの量）。

## (I) 食品循環資源の再生利用等実態調査（循・農）

食品循環資源の再生利用等実態調査（以下、農水省調査という。）からは、食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出された動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量を業種別に把握可能である。ただし、一般廃棄物／産業廃棄物／廃棄物等の「等」に分けてデータを把握できないため、BとDについては、B+Dの合計量のみ把握可能である。また、Fについては、食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出された一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が含まれる。

### (3) 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正

#### (ア) 検討にあたっての考慮事項

動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量は温室効果ガスインベントリの算定に用いられるが、インベントリ算定のルール上、インベントリに使用する統計データは下記ルールに従い、より正確かつ未推計もしくは過少推計を避けるように算出する必要がある。

#### 【インベントリ算定ルールのポイント】

（出典：Guidelines for review under Article 8 of Kyoto Protocol (FCCC/KP/2005/8Add.3) をもとに整理）

- ・（ルールその1）温室効果ガス排出量の算定は、できるだけ正確に行う必要がある。例えば、温室効果ガス排出量算定に用いる統計データに複数の選択肢がある場合は、最も正確な排出量が得られるデータを選択する。
- ・（ルールその2）第一約束期間（2008～2012年）中の温室効果ガス排出量の過少報告を防ぐため、インベントリ算定に用いるデータは「温室効果ガス排出量の観点から保守的」である必要がある。例えば、統計に基づく把握が難しいデータについては、何らかの前提をもとにデータを作成する必要がある。ただし、その際、「部分的な未推計」もしくは「過少推計」の発生は避けることとされている。

#### (イ) 算出方法

##### ① 現行の循環利用量調査における動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量

表113に、平成22年度実績の各種統計における動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量を示す。

表113 各種統計における動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量 (H22年度、単位：千t)

記号	区分	排出源	循・般	循・産	循・副	循・農
A	一般廃棄物	家庭及び事業活動	165			
B	産業廃棄物	食料品製造業、飲料製造業		1180 ※4	1180	2180 ※1
C		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業		17 ※4	17	
D	廃棄物等の「等」	食料品製造業、飲料製造業			1988 ※3、4	2180 ※1
E		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業			29 ※3、4	
F		食品卸売業、食品小売業、外食産業				269 ※2
G		廃棄物等の「等」のうち、上記（食料品製造業、飲料製造業、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）以外の産業				

・見出し中の凡例

- ・「循・般」：循環利用量調査において、一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・産」：循環利用量調査において、産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・副」：循環利用量調査において、副産物調査（経産省）及び産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）を用いて推計したデータ
- ・「循・農」：循環利用量調査において、食品循環資源の再生利用等実態調査（農水省）を用いて推計したデータ
- ・斜線：各調査及び統計で把握対象外

※1：Bの量とDの量の合算値として把握可能

※2：食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出された一般廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が含まれる

※3：動植物性残さのうちコンポスト化以外に向かう量も含んだ値

※4：参考1の方法を用い、「食料品製造業、飲料製造業」分と「飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業」分を推計

#### 【現行】動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量

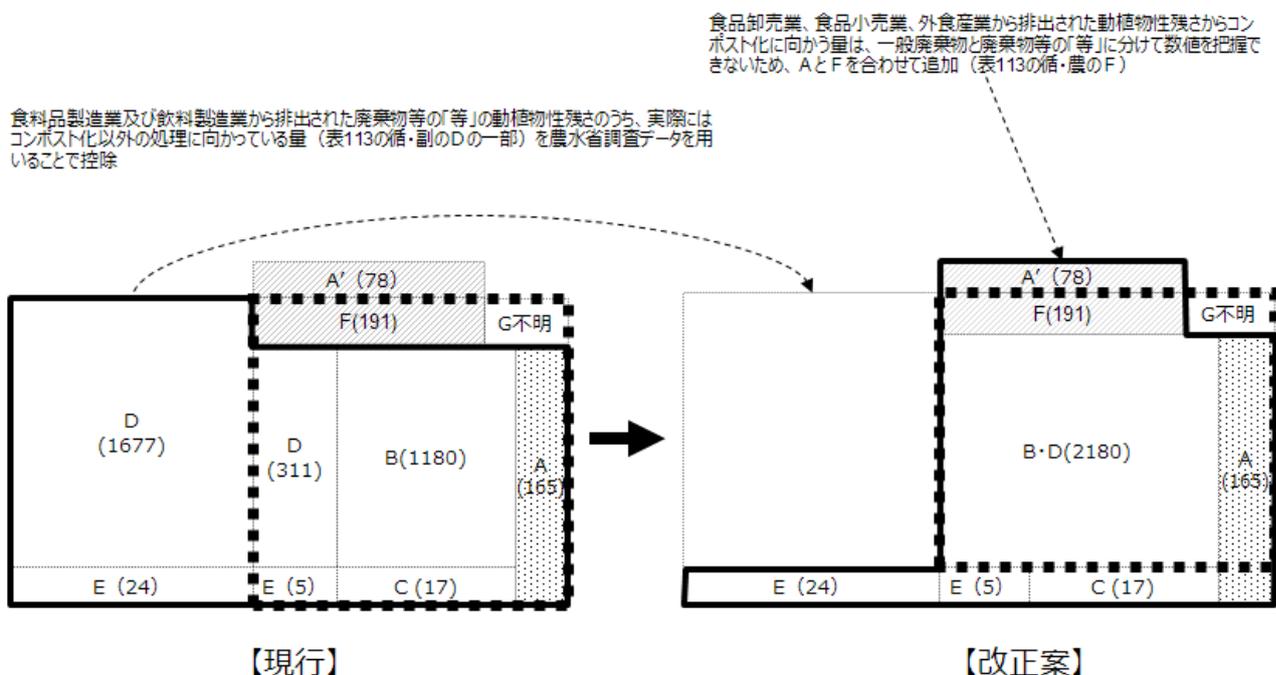
$$=A（循・般）+B（循・産）+C（循・産）+D（循・副）+E（循・副）$$

②動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の把握方法の改正

改正後の算出方法は、表 111の状況を踏まえ、下記のとおりとする。

【改正後】動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量（下線部は変更箇所）

$$= A \text{ (循・般)} + B \text{ 及び } D \text{ (循・農)} + C \text{ (循・産)} + E \text{ (循・副)} + F \text{ (循・農)}$$



・図中のアルファベットの記号は、表113の記号に対応。  
 ・図中のデータは、それぞれの大小関係を比較するために様々な前提条件を置いて推計したH22年度試算値であり、相当程度の不確実性を含んでいる。

【凡例】



図 22 算定方法の改正による動植物性残さのコンポスト化に向かう量の把握範囲の変化  
 （数値はH22年度試算値（単位：千t））（試算値の計算方法はP.113参考2参照）

【改正前後の動植物性残さのコンポスト化に向かう量の変化】

現行：実際のコンポスト化に向かう量 + D (1,677) + E (24) - F (191) - G (不明) =  
 実際のコンポスト化に向かう量 + 1,510 - G (不明)

改正後：実際のコンポスト化に向かう量 + A' (78) + E (24) - G (不明) =  
 実際のコンポスト化に向かう量 + 102 - G (不明)

算出方法の改正により、現行の動植物性残さのコンポスト化に向かう量（実際のコンポスト化に向かう量 + 1,510 - G 千t）が（実際のコンポスト化に向かう量 + 102 - G 千t）に改正される。その結果、計算される動植物性残さのコンポスト化に向かう量が、実際のコンポスト化に向かう量に（1,510 - 102 = 1,408 千t）近づくこととなり、改正後の算出方法はインベントリ算定ル

ール1（統計データに複数の選択肢がある場合は、最も正確な温室効果ガス排出量が得られるデータを選択する）を満たしている。また、現行の算出方法は、図 22のF（191）千t及びG（不明）を過少推計しているが、改正によってF（191）千tの未推計分が解消されることとなり、改正後の算出方法はインベントリ算定ルール2（温室効果ガス排出量の過少推計の防止）も満たしている。

表 114 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の把握方法の改正理由

課題	改正理由	備考
食品製造業及び飲料製造業から排出される廃棄物等の「等」のうち動植物性残さには、コンポスト化以外の処理に向かう量も含まれている。	これまで、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さの全量をコンポスト化に向かう量と扱っていたが、改正後の算出方法により、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が把握される。	改正後の算出方法により、現行の動植物性残さのコンポスト化に向かう量が、実際のコンポスト化に向かう量に1,408千t近づくこととなり、改正後の算出方法はインベントリ算定ルール1（統計データに複数の選択肢がある場合は、最も正確な温室効果ガス排出量が得られるデータを選択する）を満たしている。
製造業以外の廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量は把握されていない。	これまで把握されていなかった食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量が、改正後の算出方法により把握される。	また、現行の算出方法は、図 22のF及びGを過少推計しているが、改正後の算出方法によって図 22のA'の78千tが重複計上となるものの、Fの191千tの未推計分が解消されることとなり、改正後の算出方法はインベントリ算定ルール2（温室効果ガス排出量の過少推計の防止）も満たしている。

③改正後の算出方法と算出結果のまとめ（動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正）

今後は、一般廃棄物統計（A、従来と変更無し）、農水省調査（B・D・F）、産業廃棄物統計（C）及び副産物調査（E）を用いて、動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量を計上する（表115）。温室効果ガスインベントリ向けに、一般廃棄物・産業廃棄物・廃棄物等の「等」の動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量として、表116の値を提供する。

表 115 農水省調査における動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量

	単位	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
食品廃棄物等の再生利用への仕向量	千t	3,946	5,060	5,549	5,793	6,664	6,707	6,796	14,975	15,064	14,191
うち、肥料化への仕向量の割合	%	36.0%	37.0%	40.0%	39.0%	39.0%	39.0%	37.0%	---	---	---
食品循環資源の肥料化量（コンポスト化に向かう量）※	千t	1,421	1,872	2,220	2,259	2,599	2,616	2,514	2,840	2,800	2,449

出典：食品循環資源の再生利用等実態調査，農林水産省（[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/zyunkan\\_sigen/index.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/zyunkan_sigen/index.html)）

※「食品廃棄物の再生利用への仕向量」に「肥料化への仕向量の割合」を乗じて推計。

2008年度以降は、食り法に基づく定期報告値（年間100t以上の事業者）及び推計値（100t未満の事業者）が計上されている。

表 116 温室効果ガスインベントリに提供する動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量  
（単位：千t）

記号	区分	排出源	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
A	一般廃棄物	家庭及び事業活動	66	66	71	66	99	115	129	136	152	165
B	産業廃棄物	食料品製造業、飲料製造業	998	1,335	1,629	1,749	1,815	1,692	1,529	2,533	2,495	2,180
C		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業	3	3	8	9	8	9	20	20	17	17
D	廃棄物等の「等」	食料品製造業、飲料製造業										
E		飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業	16	14	32	34	40	45	42	42	20	29
F		食品卸売業、食品小売業、外食産業	428	528	571	527	760	934	973	307	304	269
G		廃棄物等の「等」のうち、上記（食料品製造業、飲料製造業、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）以外の産業										
合計			1,510	1,946	2,311	2,385	2,723	2,793	2,693	3,037	2,989	2,660
【参考】平成24年度までの循環利用量調査における動植物性残さのコンポスト化に向かう量			1,648	1,682	1,871	1,964	2,198	2,220	2,715	2,722	2,959	3,379
差分			-138	264	440	422	525	574	-22	315	30	-719

Dの食料品製造業及び飲料製造業から排出された廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量は、Bに含まれて計上されている。

【参考1】医薬品製造業及び香料製造業から排出される産業廃棄物のうちの動植物性残さ及び廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の推計方法について

A. 飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される産業廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の推計方法

【推計方法】

産業廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量に、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される動植物性残さの排出量割合を乗じ、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される産業廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量を推計する。

【推計式】

$$\text{産業廃棄物のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量} \times \frac{\text{飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業からの動植物性残さの排出量}}{\text{動植物性残さの排出量（全業種）}}$$

B. 飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の推計方法

【推計方法】

廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量<sup>15</sup>に、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される動植物性残さの排出量割合を乗じ、飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業から排出される廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量を推計する。

【推計式】

$$\text{廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量} \times \frac{\text{飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業からの動植物性残さの排出量}}{\text{動植物性残さの排出量（全業種）}}$$

<sup>15</sup> 従来と同様、経産省副産物調査から把握される産業廃棄物及び廃棄物等の「等」の動植物性残さの量から、環境省産業廃棄物から把握される産業廃棄物の動植物性残さの量を減じて算定

## 【参考2】動植物性残さのコンポスト化に向かう量の試算方法について

### A. 副産物調査を用いて推計している廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量の試算方法

副産物調査を用いて推計している廃棄物等の「等」の動植物性残さの量に、農水省調査から把握する食料品製造業から排出された動植物性残さがコンポスト化に向かう割合（H22年度：15.6%）を乗じ、廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量を試算する。

#### 【試算式（食料品製造業、飲料製造業）】

副産物調査を用いて推計している廃棄物等の「等」の動植物性残さの量（1,988千t）×15.6%＝  
廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量（311千t）

#### 【試算式（飼料製造業、医薬品製造業、香料製造業）】

副産物調査を用いて推計している廃棄物等の「等」の動植物性残さの量（29千t）×15.6%＝  
廃棄物等の「等」のうちの動植物性残さからコンポスト化に向かう量（5千t）

なお、農水省調査から把握される食料品製造業から排出された動植物性残さがコンポスト化に向かう割合は、産業廃棄物分と廃棄物等の「等」分を合算した量に対する割合であり、本来用いるべき、廃棄物等の「等」に対する割合ではないことから、上記によって得られる計算結果はあくまで試算値として扱う必要がある。

### B. 食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される一般廃棄物のうちの動植物性残さのコンポスト化に向かう量の試算方法

農水省調査を用いて把握される食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される動植物性残さの量に、農水省調査を用いて把握される食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される動植物性残さの無償または自己負担で委託処理する割合（入手可能な直近年度のH18年度：29%）を乗じて、食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される一般廃棄物のうちの動植物性残さのコンポスト化に向かう量を試算する。

#### 【試算式】

食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される動植物性残さの量（269千t）×29%＝  
食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される一般廃棄物のうちの  
動植物性残さのコンポスト化に向かう量（78千t）

なお、農水省調査を用いて把握される食品卸売業、食品小売業、外食産業から排出される動植物性残さの無償または自己負担で委託処理する割合は、H18年度以降は集計・公表されていないことから、上記によって得られる計算結果はあくまで試算値として扱う必要がある。

#### 4.5 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等について

##### (1) コンポスト化に向かう廃棄物等の排出係数についてIPCCガイドラインにおける定義

2006年IPCCガイドライン(2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories, Volume 5 Waste)は、コンポスト化に向かう全ての有機物の量に排出係数を乗じてCH<sub>4</sub>及びN<sub>2</sub>O排出量を算定することと定めている(原料及び副資材を含めたコンポスト化に向かうすべての有機性の廃棄物量の総量を把握し、ガイドラインで設定しているデフォルト排出係数を乗じる算定方法となっている)。

IPCCガイドラインにおける活動量の定義：

「生物処理(コンポスト化)によって処理された有機性の廃棄物の総量」

EQUATION 4.1  
CH<sub>4</sub> EMISSIONS FROM BIOLOGICAL TREATMENT

$$CH_4 \text{ Emissions} = \sum_i (M_i \cdot EF_i) \cdot 10^{-3} - R$$

Where:

CH<sub>4</sub> Emissions = total CH<sub>4</sub> emissions in inventory year, Gg CH<sub>4</sub>  
M<sub>i</sub> = mass of organic waste treated by biological treatment type *i*, Gg  
EF = emission factor for treatment *i*, g CH<sub>4</sub>/kg waste treated  
*i* = composting or anaerobic digestion  
R = total amount of CH<sub>4</sub> recovered in inventory year, Gg CH<sub>4</sub>

図 23 2006年IPCCガイドラインにおけるコンポスト化に伴うCH<sub>4</sub>排出量算定式

##### (7) 我が国の温室効果ガス排出量の算定方法

現在、我が国の温室効果ガス排出量の算定方法では、循環利用量調査等で把握されたコンポスト化に向かう廃棄物等の量に、2006年IPCCガイドラインのデフォルト排出係数を乗じてコンポスト化に伴うCH<sub>4</sub>及びN<sub>2</sub>O排出量を算定しており、活動量となる廃棄物等の量に副資材が含まれていない場合でも、排出係数や算定式上の考慮はしていない。

しかしながら、我が国の排出係数の設定は、①温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に設置した廃棄物分科会での専門家による検討、②温室効果ガス排出量算定方法検討会での他の分科会座長も含めた専門家による承認によって、決定されるものである(国連へ提出しているインベントリ報告書に記載)。

従って、各国がインベントリでコンポスト化に伴うCH<sub>4</sub>及びN<sub>2</sub>O排出量を算定する際は、排出係数側で副資材としてコンポスト化に向かう有機物の量を考慮して排出係数を設定することも可能と考える。

(イ) 循環利用量調査における原料及び副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の把握状況

循環利用量調査における原料及び副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握状況を以下に示す。

表 117 循環利用量調査報告書における原料及び副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握状況

種類	原料	副資材
一般廃棄物	○把握済（厨芥類）	○把握済（木竹草類）※1
産業廃棄物	○把握済（動植物性残さ）	×未把握（「素材原料（その他製品原料）」に含めて計上）※2
廃棄物等の「等」	○把握済（食品循環資源）	×未把握

※1：把握されているのは副資材としてコンポスト化に向かう一般廃棄物の量のみであり、一般廃棄物コンポスト化施設で使用される廃棄物等以外を原料として製造された副資材の量は循環利用量調査報告書では把握対象外である。

※2：副資材としてコンポスト化に向かう量のみを把握することはできないため、「素材原料（その他製品原料）」の一部として計上している。従って、温室効果ガス排出量算定の際の活動量としては使用されていない。

(ウ) インベントリにおける原料及び副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等からのCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出量の算定状況

①一般廃棄物

「日本の廃棄物処理」を用い、コンポスト化に向かう一般廃棄物の全量を把握している。ここに、「循環利用量調査」のコンポスト化に向かう一般廃棄物の組成（表4-1-19）<sup>16</sup>を乗じ、原料としてコンポスト化に向かう厨芥及び副資材としてコンポスト化に向かう木竹草類の量を推計し、CH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出量を算定している。

②産業廃棄物

「循環利用量調査」より、原料としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の動植物性残さの量を把握している。副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の量は把握しておらず、副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物から発生するCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>Oは未算定となっている。

③廃棄物等の「等」

「循環利用量調査」より、原料としてコンポスト化に向かう廃棄物等の「等」の食品循環資源の量を把握している。副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の「等」の量は把握しておらず、副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の「等」から発生するCH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>Oは未算定となっている。

<sup>16</sup> 「廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書（廃棄物等循環利用量実態調査編）」表 4-1-19 ごみ堆肥化施設の組成別の再資源化、減量化量等

表 118 インベントリにおける原料及び副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等からの  
CH<sub>4</sub>・N<sub>2</sub>O排出量の算定状況

種類	原料	副資材
一般廃棄物	○算定済（厨芥類）	○算定済（木竹草類）
産業廃棄物	○算定済（動植物性残さ）	×未算定
廃棄物等の「等」	○算定済（食品循環資源）	×未算定

### (イ) 当面の対応

廃棄物分科会から示された「下水道汚泥以外のコンポスト化される産業廃棄物が活動量に含まれていない。」との課題については、平成 23 年度において検討を行い、食料品製造業及び飲料製造業からの再生利用された産業廃棄物のうちのコンポスト化された産業廃棄物の量について試算結果を出したところである。また、今年度「動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法」を検討し、改正後の算出方法を示したところである。

ただし、現在の循環利用量調査では、副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の量を把握できておらず、その量を、現時点において直ちに把握することは困難である。

このため、副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の量について、循環利用量調査改善検討会は、平成 24 年度速報値の算出の時点においては取り扱わないこととし、今後、把握の必要性を含め検討することとする。

なお、我が国の排出係数の設定は、温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に設置した廃棄物分科会で副資材としてコンポスト化に向かう有機物の量を考慮して排出係数を設定すべく検討するか否か、今後注視することとする。

## 5 参考資料

### 5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について

以下は、「平成 25 年度 廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書(廃棄物等循環利用量実態調査編)」の「1.3 本調査で用いた用語について」から抜粋した内容である。

#### (1) 廃棄物

一般廃棄物及び産業廃棄物の排出及び処理量については、一般廃棄物が「一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)」、産業廃棄物が「産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)」にて、毎年度の状況把握が行われている。

この調査で把握されているものを、「廃棄物」とした。

なお、平成 23 年度の一般廃棄物処理事業実態調査では、災害廃棄物処理に係るごみ処理状況等についても、各都道府県・市町村・一部事務組合ごとに集計を行っている。同調査では、災害廃棄物等処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったものを、「災害廃棄物」としている。

#### (2) 「等」

(1)の廃棄物統計データ以外であって、以下の潜在的な廃棄物(副産物)を、「等」として把握した。

①事業活動に伴う産業系の副産物であって、有償売却などの行為により廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下、「廃棄物処理法」という。)の廃棄物の定義から除外される金属スクラップ、紙くずなど。

②事業活動に伴う産業系の副産物のうち、事業系一般廃棄物(廃棄物処理法の業種指定廃棄物の定義から除外されるもの)であって、市町村等の計画処理量に含まれていない、稲わら、麦わら、もみがら、古紙など。

#### (3) 廃棄物等

廃棄物と「等」を合算したもの。

## 5.2 平成24年度速報値（廃棄物等の「等」のアルミ缶）の算出手法と算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定手順

廃棄物等の「等」のアルミ缶の推計式は以下のとおりである。

$$\text{平成24年度速報値} = \text{平成24年度原単位(推計値)} \times \text{平成24年度の経済活動指標(実績値)}$$

上記式における平成24年度原単位について、どちらの経済活動指標（アルミ缶材出荷量または使用済み飲料缶（UBC）価格）を用いた原単位とするか、及びどの推計手法（表119に示した推計手法A, B, C）を用いて推計するかを、下記の手順に基づき検討する。

### 【平成24年度速報値の算出に用いる経済活動指標と原単位推計手法の選定手順】

1) 推計手法A, B, Cを用いて、経済活動指標別の下記2種類の平成23年度の原単位を推計する。

①アルミ缶材出荷量を経済活動指標として用いた原単位

②使用済み飲料缶(UBC)価格を経済活動指標として用いた原単位

2) 1)で得られた平成23年度の原単位推計値を用いて、経済活動指標別かつ推計手法別に、平成23年度推計値(発生量)を下記式で推計する。

$$\text{平成23年度推計値(発生量)} = \text{平成23年度原単位(推計値)} \times \text{平成23年度の経済活動指標}$$

3) 2)で得られた経済活動指標別かつ推計手法別の平成23年度推計値(発生量)と、今年度循環利用量調査における平成23年度確定値(発生量)から乖離率<sup>※</sup>)を算出する。

$$\text{※乖離率(\%)} = \left| \frac{\text{平成23年度推計値(発生量)} - \text{平成23年度確定値(発生量)}}{\text{平成23年度確定値(発生量)}} \right|$$

4) 平成23年度確定値(発生量)との乖離率が最も低い値となる原単位(推計値)の経済活動指標及び推計手法を、平成24年度速報値推計に用いる原単位とする。

表 119 原単位推計手法

分類	方法
推計手法A	昨年度原単位を利用
推計手法B	直近3カ年の原単位を用い、4つのモデル式から最適式を選択
推計手法C	直近5カ年の原単位を用い、4つのモデル式から最適式を選択

なお、表119の推計手法のうち、推計手法B, Cは表120に示した4つのモデル式（直線式、指数曲線式、反比例式、成長式）から得られた計算対象年度の値と確定値から決定係数(R<sup>2</sup>)を求め、4つのモデル式から最適な（決定係数の値が高い）モデル式を選択した。

表 120 推計手法B, Cに適用するモデル式

モデル式	モデル式の特徴
(1)直線式 Y=a*X+b	過去の伸び率が将来も継続するモデル式
(2)指数曲線式 Y=a*exp(b*X)	将来的に伸び率が徐々に増加するモデル式
(3)反比例式 Y=a/X+b	将来値が逡減するモデル式
(4)成長式 Y=K/(1+exp(-a*X+b))	設定した目標値に向かって収束するモデル式

※ X:年次、Y:推計値、a,b:係数、K:目標値(推計に用いる原単位のうちの最大値の110%の値と仮定)、exp:eを底とするべき乗

※ B式、C式は上記(1)~(4)の組み合わせがあることから、以降B式の(1)をB-1式というように略する